

まちづくり3ヵ年計画

第4次実施計画

令和5年～令和7年

第2次串本町長期総合計画
串本町

目 次

串本町実施計画策定の基本方針	1
施策体系別計画	3
基本目標Ⅰ 安全・安心のまち	5
1 災害に強いまちづくりの推進	7
2 生活の安心安全体制の充実	18
3 住宅環境の整備	26
4 地域交通網の充実	30
5 水道施設の整備	33
6 ICT基盤の整備促進	36
基本目標Ⅱ 健やかで笑顔あふれるまち	39
1 地域医療・保健・福祉の充実	41
2 高齢化社会への対応	56
3 出会い・結婚支援	63
4 出産・子育て支援	65
基本目標Ⅲ 郷土愛あふれる教育のまち	79
1 学校教育の充実	81
2 生涯学習・スポーツの推進	88
3 青少年健全育成の推進	94
4 文化交流の推進	97
5 歴史・文化・芸術の振興	99
基本目標Ⅳ いきいきと活力あふれるまち	101
1 農林水産業の活性化	103
2 商業・産業の活性化	111
3 観光振興による地域経済活性化	116
4 UIJターン串本暮らしの推進	121
5 地域資源を活かした交流の推進	122
6 若者の就職支援と後継者育成	125

基本目標Ⅴ 自然と共生やさしいまち	1 2 7
1 循環型社会の形成促進	1 2 9
2 環境保全対策の推進	1 3 1
基本目標Ⅵ 手を取りあい共に歩むまち	1 3 5
1 町民協働のまちづくり推進	1 3 7
2 人権尊重・男女共同参画社会の形成	1 4 0
3 時代に合った効率的な行政運営	1 4 5
各課別事業一覧	1 4 9
企画課	1 5 1
総務課	1 5 2
産業課	1 5 3
教育課	1 5 4
福祉課	1 5 5
こども未来課	1 5 6
住民課	1 5 7
建設課	1 5 8
水道課	1 5 9
税務課	1 6 0
消防本部	1 6 1
くしもと町立病院	1 6 2
実施済事業	1 6 3

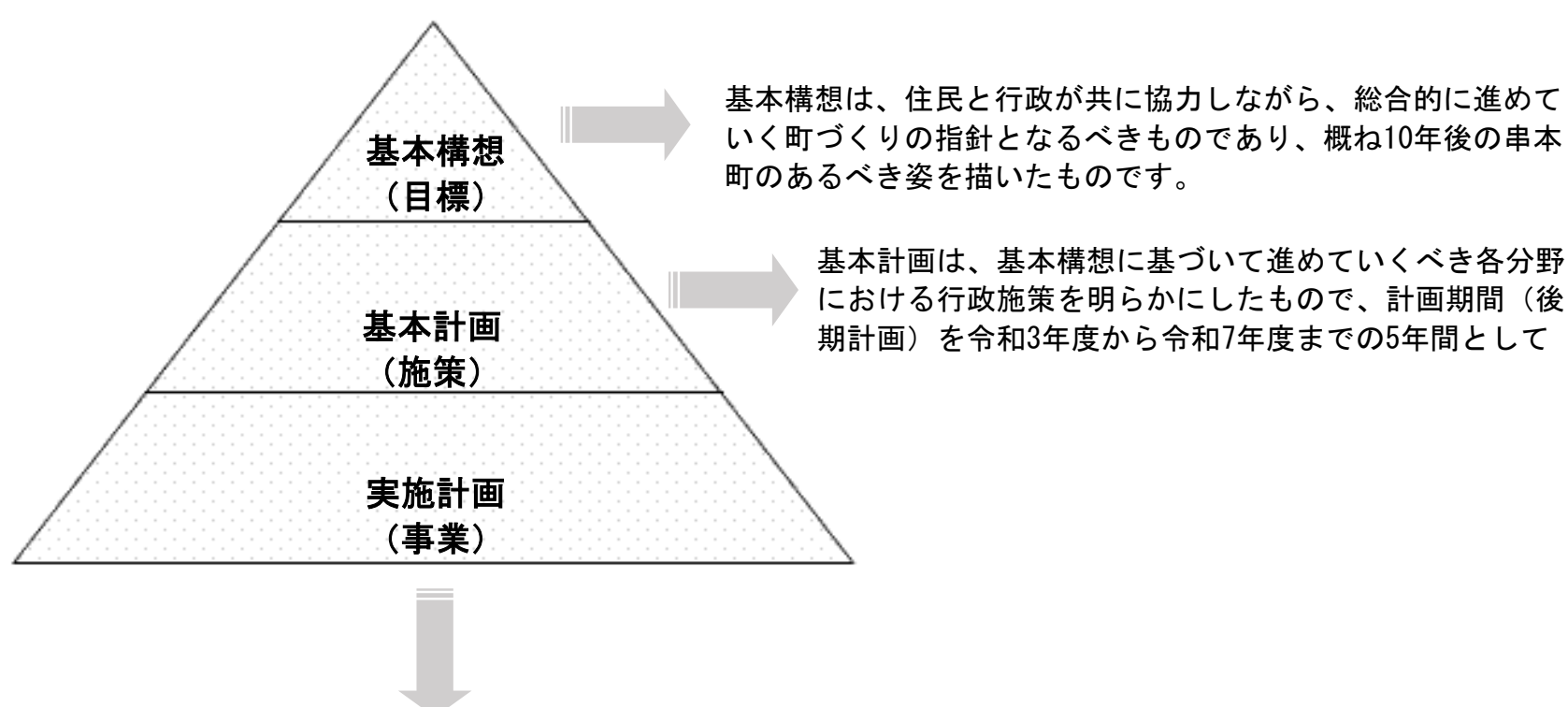
串本町実施計画策定の基本方針

1. 実施計画策定の目的

この実施計画は、「串本町長期総合計画」の中で「基本計画」として掲げた諸施策及び「串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく諸施策を計画的・効果的に実施するために、事業内容や実施年度などを具体化し、計画期間における事業展開を明らかにするために策定するものです。

2. 実施計画の位置づけ

実施計画は、町の総合計画（基本構想、基本計画、実施計画によって構成される）の中で、次のとおり位置づけられます。

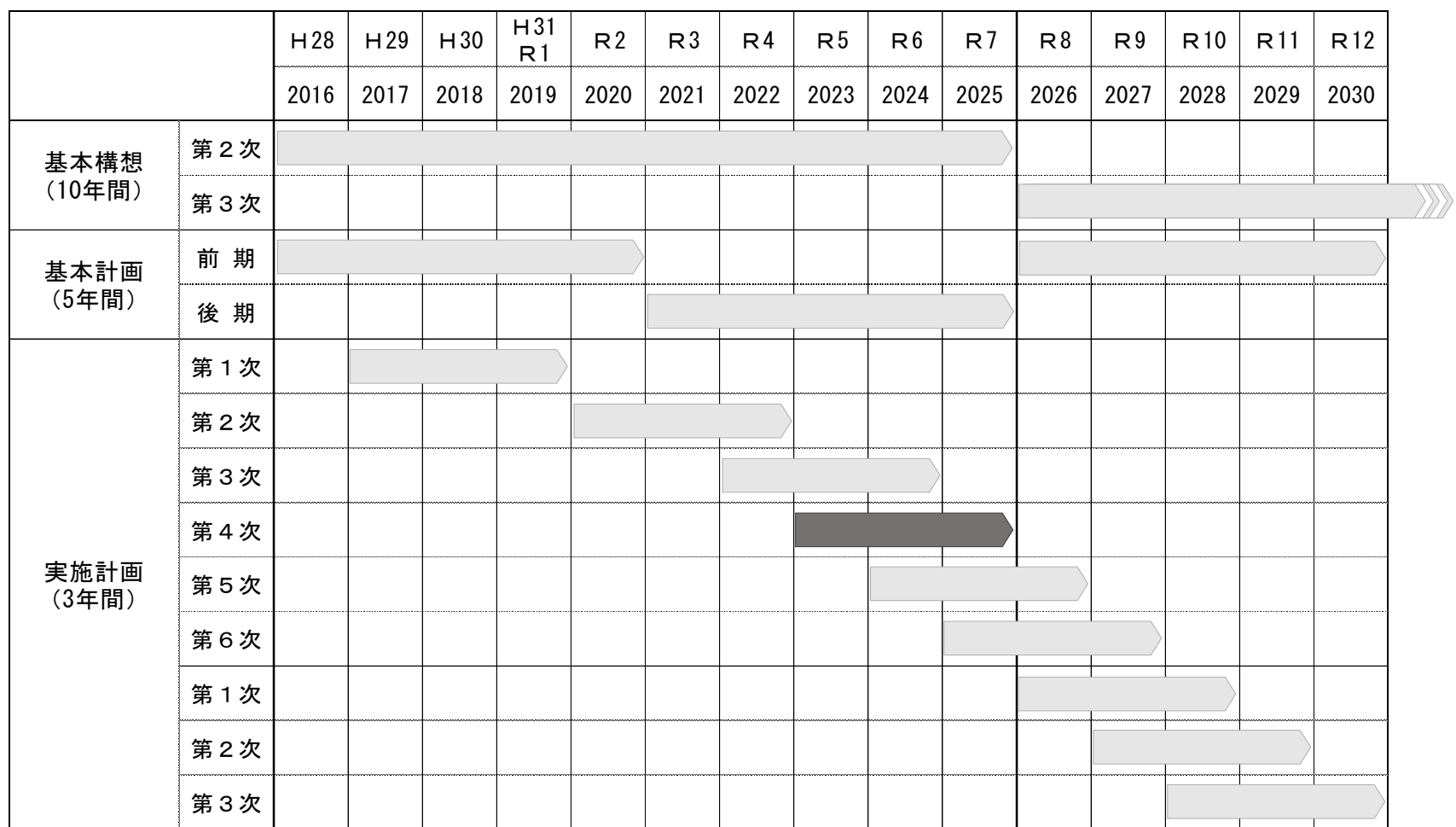


実施計画は、基本計画に示した基本的方向・目標や施策展開に基づいて、計画期間に実施する主要な事業を示す計画です。実施計画は、3カ年の具体的な施策事業の計画として予算編成や事業実施の指針としての役割をもっています。

- ① 第4次実施計画の計画期間は令和5年度から令和7年度までの3年間とし、事業量や事業費を可能な限り年次別に明示し、主要な施策の道筋を明らかにします。
 - ② 今後3カ年の財政収支の予測を行い、計画事業の実現性を確保します。
 - ③ 串本町まち・ひと・しごと創生総合戦略を強く推し進めることにより、地域経済を豊かにし、人口の増加につなげていく必要があります。
 - ④ 社会経済情勢等の変化に的確に対応し、最新の実施計画とするために毎年度ローリング方式により改訂していく形式としています。
- 今年度は、第4次実施計画（令和5年度～7年度）として改訂を行います。

3. 実施計画の期間

第4次実施計画の計画期間は令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの3年間です。基本構想及び基本計画の計画期間との相関関係は下図のとおりとなります。



4. 実施計画の対象とする事業

実施計画は、町の財政負担を伴う主要な事業を対象とします。ただし、財政負担を伴わない事業の中でも、町づくりの推進姿勢を明らかにするために事業展開を示す必要があると考えられるものについては、計画の中へ盛り込むこととします。

施策体系別計画

この章の見方

- ・「第2次串本町長期総合計画」の「基本計画」に示された施策順に事業を掲載しています。
- ・事業年度を次のように表しています。

事業年度	»	5	6	7	»
------	---	---	---	---	---

- ※○印のついている年度は事業を実施する年度です。また [»] は実施計画期間以前から実施している事業、あるいは実施計画終了後も継続することを表しています。
- ・担当課名は令和5年度の名称で表示しています。
 - ・各事業の事業費については、計画策定段階における概算額であり、実際の各年度の予算額及び決算額とは必ずしも一致しません。
 - ・実施計画の象徴的な成果目標が、総合戦略の数値目標・K P I となっており、実施計画の改訂作業を進めると同時に、総合戦略の評価・検証も同時に行える作り込みとなっています。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関連性については、中段の総合戦略「数値目標」及び「K P I」欄に記載しています。
 - ・「達成度」については、成果目標の実績値のみで判断するのではなく、事業全体の達成度として以下の判断基準にて評価記載しています。

- 0% 目標達成に向けた検討を行うことができなかった。
- 25% 目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。
- 50% 目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。
- 75% 目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。
- 100% 目標通り達成できた。

基本目標Ⅰ

安全・安心のまち

基本目標Ⅰ	1	災害に強いまちづくりの推進
	2	生活の安心安全体制の充実
	3	住宅環境の整備
	4	地域交通網の充実
	5	水道施設の整備
	6	ICT基盤の整備促進

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	防災対策ハード面の充実	

事業名	避難路整備事業
所管	総務課

事業の内容				
目的		大規模な地震津波災害が発生した場合に、住民を安全に避難させるために必要な避難路（避難誘導灯を含む）の整備を行う。		
事業の概要		各地区からの要望について建設課等関係課と協議を行い、実施箇所を選定して避難路整備を行う。 また、町で整備した避難誘導灯について、経年劣化等の理由から、計画的に蓄電池の交換を行う。 避難路104本。避難場所4カ所、誘導灯42基（更新含む）、避難手すり12、避難標識3、その他（バリカ、擁壁など）14。付帯設備含め179件。 （R5.3末時点）		
成果目標		R7年度までに避難路整備数を195件とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,422	1,862	2,200	2,200	2,200
財 源 見 込	国・県 支出金	122	122			
	一般財源	2,300	1,740	2,200	2,200	2,200
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			避難路整備数 152件	避難路整備数 180件	避難路整備数 185件	避難路整備数 190件	避難路整備数 195件
実績			避難路整備数 175件	避難路整備数 179件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	避難路整備について、目標数を達成した。				
	進捗 状況	R4 (2022)	地区からの要望を基に、4件整備を行った。				
	今後の 取組み方針等		今後も地区からの要望を基に、関係課と協議を行いながら、実施箇所を選定し、整備を行う。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
						防災対策ハード面の充実	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	農村地域防災減災事業						
所管	産業課						

事業の内容							
目的		農業用ため池について長期の経年の供用により老朽化が進行しているものがある。近く発生が予測される南海・東南海地震や近年の異常気象によるため池の決壊により下流域へ甚大な被害をおよぼす懸念があるため、危険度の高いため池を改修し地域の安全性の向上と農業の活性化を図る。					
事業の概要		防災重点ため池に位置づけられているため池について、廃止に向けた整備を実施する。					
成果目標		【ため池の廃止】 大船池 R2完了 ひょうたん池 R5完了予定 岩渕大池 R7着手予定					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	8,000	22,000	—	8,000
財源見込	国・県支出金		8,000	22,000		8,000
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			ため池廃止測量設計 1件	ため池廃止工事 1件		ため池廃止測量設計 1件
実績			測量設計完了			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	ひょうたん池廃止事業における国・県からの、計画認定及び事業採択を受ける。			
	進捗状況	R4(2022)	ひょうたん池廃止事業における測量・設計業務完了。			
	今後の取組み方針等		決壊により下流域へ甚大な被害をおよぼす懸念があるため池については、農村地域の防災力向上を図るため、地元区と協議し、改修または廃止事業を推進していく。			

事業年度	➤	⑤	⑥	⑦	➤	基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
						防災対策ハード面の充実	

事業名	(仮称)串本町立串本統合小学校新設事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		現在の串本小学校と橋杭小学校は施設の老朽化や近い将来発生が予測される南海トラフ地震の津波被害が想定されることから、高台への移転が必要となっている。よって、(仮称)串本町立串本統合小学校を西の丘高台に建築する。なお、串本統合小学校は小規模となる地域の実情を踏まえ、教育課題の解決方法と施設の在り方を考え、未来思考で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体が学びの場となる施設の建築を検討する。		
事業の概要		R4年度基本設計。R5年度実施設計。R6年度・7年度建築工事。 R8年度4月に(仮称)串本町立串本統合小学校の開校を目指し、新しい時代の学びの施設環境を検討し学校づくりを進めていく。 敷地面積約25,000㎡。 延床面積4,546.8㎡(校舎、屋内運動場、学童保育施設等を含む)		
成果目標		学校は災害時には避難場所となることから、サンゴ台、橋杭、串本、その他の地域住民の方々が屋内運動場を一時避難所として利用できるよう計画を進めていきます。また、GIGAスクール構想の実施に伴い、新たな学びに適した学校施設等、学校全体が学びの場となるよう計画を進めていきます。 串本統合小学校へのスクールバス導入と併せて、コミュニティバス担当課等と交通体系の検討を行い、運行コスト削減をはかり、児童の利便性の向上を目指します。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)					
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024) R7(2025)
事業費			64,900	387,600	3,590,000
財源見込	国・県支出金				
	一般財源		64,900	387,600	3,590,000
	その他				

進捗状況／今後の取組み方針					
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計画	
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024) R7(2025)
目標			基本計画、基本設計の策定	実施設計	建築 建築
実績			概ね計画通りに進めることができた。		
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
		%	90%	%	% %
説明	【済】	R3(2021)			
	進捗状況	R4(2022)	基本設計実施設計をプロポーザル方式にて設計者を選定し、文科省の「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」を活用し、学校建築の専門家、防災の専門家、学校関係者、保護者代表等を交えた協議会を開催。統合小学校の基本計画を策定する。なお、基本設計については一部を翌年に繰り越し、令和5年8月に完了する予定。		
	今後の取組み方針等		令和5年度より実施設計を進めます。また、建築にあたっての保護者説明会等の実施、校名校歌校章の選定方法の検討を行います。		

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》	防災対策ハード面の充実	

事業名	地籍調査事業
所管	建設課

事業の内容				
目的		来るべき南海トラフ巨大地震に備え、同地震による津波浸水想定区域の地籍調査を重点的に行うことにより、災害後の復旧を円滑にし、個人の土地財産を保全する。		
事業の概要		一筆ごとの地番・地目・土地所有者を調査し、筆界の位置と地積(面積を)測量する。現地調査を行うことにより土地の現況・筆界が明確となる。		
成果目標		津波浸水想定区域3地区／1年 1年間での調査面積 0.8km ²		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		74,070	72,219	92,157	72,000	72,000
財源見込	国・県 支出金	55,552	36,213	44,733	53,302	53,302
	一般財源	18,518	36,006	47,424	18,698	18,698
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			津波浸水想定区域2～3地区 (調査面積 1.7km ²)	津波浸水想定区域3地区 (調査面積 0.8km ²)	津波浸水想定区域3地区 (調査面積 0.84km ²)	津波浸水想定区域3地区 (調査面積 1.0km ²)	津波浸水想定区域3地区 (調査面積 0.8km ²)
実 績			津波浸水想定区域内4地区 (調査面積0.84km ²)	津波浸水想定区域内 地区 (調査面積 0.53km ²)			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	津波浸水想定区域内の4地区を現地調査した。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	津波浸水想定区域内の3地区を現地調査した。				
	今後の 取組み方針等		第6次国土調査事業10箇年計画及び津波浸水想定区域内における地籍調査事業5箇年計画に基づき、年間3箇所の地区を調査する。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
						防災対策ソフト面の充実	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	ブロック塀等撤去改善補助事業
所管	総務課

事業の内容				
目的		大規模な地震津波災害が発生した場合に、ブロック塀等が倒壊して道路を塞ぐことを防ぎ、住民が安全に避難できる避難経路を確保する。		
事業の概要		町内道路に面したブロック塀及び土地所有者を対象として、ブロック塀等撤去費の9割、撤去後に生垣等を整備する場合は整備費の5割を補助する。		
成果目標		年間20件実施 R6年度までに323件とする。 H31年度までの累計 148件(予定) R3年度までの累計 263件		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		10,828	6,730	8,000	8,000	8,000
財源見込	国・県 支出金	5,414	3,364	4,000	4,000	2,666
	一般財源	5,414	3,366	4,000	4,000	5,334
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			10件	20件	20件	20件	20件
実績			41件	27件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	ブロック塀等撤去(生垣づくり含む)41件実施				
	進捗 状況	R4 (2022)	ブロック塀等撤去(生垣づくり含む)27件実施				
	今後の 取組み方針等		住民に対し、町広報誌にてブロック塀等撤去改善補助事業に関する周知を行う事で、撤去に対する意識向上を図り、危険ブロックの解消及び避難経路の確保に努める。				

						基本目標 I	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
						防災対策ソフト面の充実	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	大規模防災訓練の実施						
所管	総務課						

事業の内容							
目的		南海トラフ巨大地震や大津波による広域かつ甚大な被害が予想されることから、住民や関係機関等による合同訓練を実施することにより大規模災害に備える。					
事業の概要		各地区や町内小中学校、官公署等連絡協議会等と協力しながら、地域の実情に即したより実践的な訓練を実施する。					
成果目標		年間2回実施する。					
総合戦略	数値目標	★	大規模防災訓練の実施		大規模防災訓練 年 2回実施(5年間累計 10回)		
	KPI	★					

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目標			2回	2回	2回	2回
実績			0回	2回		
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
			50%	100%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	実施回数0回(新型コロナウイルス感染症の影響による)			
	進捗状況	R4 (2022)	令和5年2月4日 町内一斉津波避難訓練 実施 令和5年2月4日 串本・古座川官公署連絡協議会津波災害対応訓練 実施			
	今後の取組み方針等		新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、住民及び関係機関との協力体制を執りながら感染症対策を講じた形での訓練を執り行う。			

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
						防災対策ソフト面の充実	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	防災出前講座事業						
所管	総務課						

事業の内容							
目的		防災は日頃からの心構えと備えが重要であることから、学習会等の啓発活動により防災に対する住民の意識を高め維持してもらうことを目的とする。					
事業の概要		担当職員が、各地区・自主防災組織・学校・事業所・公民館・老人会・地域活動団体等を訪問して学習会を開催、啓発活動を行う。					
成果目標		年間20回以上開催					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			20回	20回	20回	20回	20回
実績			5回	4回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			25%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	実施回数5回(新型コロナウイルス感染症の影響による)				
	進捗 状況	R4 (2022)	実施回数4回(新型コロナウイルス感染症の影響による)				
	今後の 取組み方針等		新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、感染症対策を講じた上で住民の防災意識を高めるため、防災出前講座による啓発活動を行う。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》	防災対策ソフト面の充実	

事業名	自主防災組織活動支援事業
所管	総務課

事業の内容				
目的		災害発生直後は公的機関による被害者支援等に限界があり、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の取組が大変重要であることから、各地区で自主防災組織を結成することにより地震や風水害など災害時に地域住民が相互に助け合い、被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。		
事業の概要		各地区の自主防災組織活動（備蓄食料・資機材の購入、避難路・備蓄倉庫整備）に関し、補助金等による支援を行い、町内全域での防災意識の向上を図る。また、自主防災組織を設立していない地区に対して設立に向けた支援活動を行う。		
成果目標		令和5年3月31日現在、町内全41地区のうち40地区で設立。今後、設立していない地区に対して設立に向けた支援活動を行う。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		4,529	4,201	5,000	5,000	5,000
財源見込	国・県 支出金	1,350	891	2,500	2,500	2,500
	一般財源	3,179	3,310	2,500	2,500	2,500
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目 標			組織率 100% ※町内全41地区で設立	組織率 100% ※町内全41地区で設立	組織率 100% ※町内全41地区で設立	組織率 100% ※町内全41地区で設立
実 績			組織率 95.47% ※町内全41地区のうち 38地区で設立	組織率 99.19 % ※町内全41地区のうち 40 地区で設立		
達成度 (%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
			75%	100%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	自主防災組織を設立していない地区に対し、組織設立に向けて啓発活動を行い、1つの地区で組織が設立した。			
	進 捗 状 況	R4 (2022)	自主防災組織を設立していない地区に対し、組織設立に向けて啓発活動を行い、2つの地区で組織が設立した。			
	今後の 取組み方針等		組織率「100%」を達成するために、R4年度より引き続き、組織を設立してない地区に対し、啓発活動を行う。			

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	»	5	6	7	»	防災対策ソフト面の充実	

事業名	家具転倒防止器具取付事業
所管	総務課

事業の内容				
目的		南海トラフ地震の震源域から近く激しい揺れが起こることが予想されていることから、家庭でできる最も身近な減災対策である家具固定について、自身による作業が困難である高齢者等の要配慮者を対象として実施、住民の安全を図る。		
事業の概要		要配慮者(65歳以上のみの独居世帯、要介護4以上の介護認定者の属する世帯等)を対象に、タンスや冷蔵庫など1世帯あたり5組以内の家具固定を無料で実施する。(取付については委託業務)		
成果目標		年間36世帯(3世帯／月)の取付を目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		41	41	290	290	290
財源見込	国・県 支出金	20	20	145	145	145
	一般財源	21	21	145	145	145
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			48世帯	36世帯	36世帯	36世帯	36世帯
実績			5世帯	5世帯			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	広報による啓発活動等を実施したが、実績件数が目標数より下回った。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	広報による啓発活動等を実施したが、実績件数が目標数より下回った。				
	今後の 取組み方針等		引き続き、広報による啓発活動を実施し、また申請件数が増加するよう啓発方法を検討していく。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》	耐震診断及び耐震改修の強化	

事業名	一般住宅耐震診断補助事業						
所管	総務課						

事業の内容							
目的		南海トラフ地震の震源域から近く激しい揺れが起こることが予想されており、S56年5月以前に建築された木造住宅の被害が大きいという阪神淡路大震災の調査結果から、地震から住民の命を守り家族や近隣住民が迅速に避難できるよう木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い町づくりを進める。					
事業の概要		H12年5月31日以前に建築された町内にある住宅を対象として、耐震診断を実施する。 木造住宅は全額補助。非木造住宅について、S56年5月31日以前に建築された建物が対象で、2/3補助(上限89千円)、1/3は自己負担とする。					
成果目標		年間20戸以上を目標とする。(48,000円／戸)					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		144	1,152	960	960	960
財源見込	国・県支出金	108	864	720	720	720
	一般財源	36	288	240	240	240
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		20戸	20戸	20戸	20戸	20戸
実績		3戸	24戸			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	木造住宅耐震診断3戸			
	進捗状況	R4(2022)	木造住宅耐震診断24戸。和歌山県がチラシで呼びかけたことで増加。			
	今後の取組み方針等		目標達成に向けて木造住宅耐震診断を広報誌及び同梱チラシにて周知し、地震に対する住宅の安全性及び迅速な避難手段の確保のため耐震診断申請を促進する。			

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	»	5	6	7	»	耐震診断及び耐震改修の強化	

事業名	一般住宅耐震改修補助事業
所管	総務課

事業の内容				
目的		南海トラフ地震の震源域から近く激しい揺れが起こることが予想されており、S56年5月以前に建築された木造住宅の被害が大きいという阪神淡路大震災の調査結果から、地震から住民の命を守り家族や近隣住民が迅速に避難できるよう木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強い町づくりを進める。		
事業の概要		H12年5月31日以前に建築された町内にある住宅（木造家屋）を対象として、耐震診断により耐震性がないと診断された住宅の耐震補強設計及び耐震改修工事費を補助する。 （※非木造住宅については、S56年5月31日以前に建築された住宅が対象となる。）		
成果目標		耐震改修 3戸以上／年 （1,166,000円／戸）		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,166	1,124	5,830	5,830	5,830
財 源 見 込	国・県 支出金	833	791	4,165	4,165	4,165
	一般財源	333	333	1,665	1,665	1,665
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			3戸	3戸	3戸	3戸	3戸
実績			1戸	1戸			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	耐震補強設計と耐震改修の総合的实施 1戸				
	進捗 状況	R4 (2022)	耐震補強設計と耐震改修の総合的实施 1戸				
	今後の 取組み方針等		耐震診断により住宅の地震に対する耐震性を把握した上で、避難及び家屋倒壊防止等の安全性向上のため町広報誌、チラシ等への補助メニューの掲載での周知活動、耐震診断により倒壊の可能性が高い住宅所有者で耐震未改修である場合、DM等により耐震改修を促す。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
						消防施設・設備の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	消防施設整備事業
所管	消防本部

事業の内容				
目的		串本町消防本部、串本町消防団の資機材については、第1次長期総合計画で老朽化した資機材の更新を実施してきたところであるが、第2次長期総合計画においても引き続きポンプ車、小型動力ポンプ付軽積載車を更新し、地域の消防力の強化を図る。		
事業の概要		予算を有効に活用し、消防署配備消防ポンプ自動車(小型動力ポンプ付軽積載車含む)、小型動力ポンプ付軽積載車にあっては15年、消防団配備消防ポンプ自動車(小型動力ポンプ付軽積載車含む)、小型動力ポンプ付軽積載車にあっては、20年を目処に更新配備し消防力の維持を図る。		
成果目標		R4年度 消防本部指揮車1台 小型動力ポンプ付軽積載車4台 R5年度 小型動力ポンプ付軽積載車1台 R6年度 消防ポンプ自動車1台 小型動力ポンプ付軽積載車1台 R7年度 消防ポンプ自動車2台 消防本部積載車1台 消防本部広報車1台		
総合戦略	数値目標	消防施設整備事業	消防力の充実強化を図る。(5年間累計 16台更新) 消防本部車両(救急車10年、消防自動車15年)、消防団車両は、20年を目処に随時車両更新。 ＜消防本部車両 17台 消防団 33台 所有／R2(2020)年度＞	
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		35,870	36,434	6,500	26,500	50,000
財源見込	国・県 支出金	13,873				
	一般財源	197	10,930	1,950	7,950	15,000
	その他	21,800	25,504	4,550	18,550	35,000

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			救急車 1台 小型動力ポンプ付軽積載車 3台	消防本部指揮車 1台 小型動力ポンプ付軽積載車 4台	小型動力ポンプ付軽積載車 1 台	消防ポンプ自動車 1台 小型動力ポンプ付軽積載車 1 台	消防ポンプ自動車 2台 消防本部積載車 1 台 消防本部広報車 1 台
実 績			救急車 1台	消防本部指揮車 1台 小型動力ポンプ付軽積載車 4台			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	小型動力ポンプ付軽積載車の配備については、新型コロナウイルス感染症の影響により、部品調達が困難を極め、R4年度に繰り越すこととなった。R4年5月末に予定していた3台が納車となった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	小型動力ポンプ付軽積載車の配備については、R4年5月に3台、R5年3月に1台が納車。指揮車についてもR5年3月に納車され運用を開始している。				
	今後の 取組み方針等		数年来の半導体不足等の影響で部品、車両調達が厳しくなっているため早めに入札を実施していく。R5年度は消防団配備の小型動力ポンプ付軽積載車2台の予定であったが1台の更新としている。消防団車両について今後は分団統合も視野に入れつつ、必要な車両を精査しながら配備していく。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
						消防施設・設備の充実	
事業年度	②	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	消防水利整備事業
所管	消防本部

事業の内容				
目的		「消防力の整備指針」に則った消防水利の基準を元にし、断水時における水利状況、建物・人口密集地域等を熟考。用地確保場所の選定を進め、震災により被害想定が大とされる地域を重点に、改修、更新をし震災に耐えうる防火水槽の整備を行うとともに、民家密集地及び老朽化消防水利の整備を目的とする。		
事業の概要		消火栓の民家密集地への適正配備を行い、漏水等による消火栓の改修を行っていく。 震災時に懸念される火災には、大規模地震にも耐えうる防火水槽が必需となるため、今後耐震防火水槽の整備を検討する。		
成果目標		効果、効率的な防火対策のため、全町的な適正配置・整備に努める。3年間で耐震防火水槽・消火栓を4基程度を新設、既存の消火栓については年3か所改修整備する。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,884	4,400	4,400	17,900	5,900
財 源 見 込	国・県 支出金				4,155	
	一般財源	2,884	4,400	4,400	13,745	5,900
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			耐震防火水槽・消火栓 1基 既存消火栓改修整備 3か所	耐震防火水槽・消火栓 1基 既存消火栓改修整備 3か所	既存消火栓改修整備 3か所	耐震防火水槽・消火栓 2基 既存消火栓改修整備 3か所	耐震防火水槽・消火栓 1基 既存消火栓改修整備 3か所
実績			既存消火栓改修整備 5か所 既存防火水槽改修整備 1か所	既存消火栓改修整備 4か所			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	耐震防火水槽1基を予定していたが、当該地区住民減少等の費用対効果を考慮した結果、簡易型10トン水槽に変更し2基設置した。 当初の目標どおり達成したが、緊急に修繕する必要がでた消火栓2基、防火水槽1基を追加で改修整備した。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	車両更新等別事業計画もあり、予算削減に伴い耐震防火水槽・消火栓の新設は行わなかった。 消火栓改修工事は実施した。				
	今後の 取組み方針等		令和5年度に計画していた耐震防火水槽1基を令和6年度整備に変更。今後3年間で新設消火栓2基、耐震防火水槽を1基予定している が、地区住民数及び町有地等を熟考した上で設置する。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
						消防施設・設備の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	公共施設(古座消防署)高台移転
所管	消防本部

事業の内容			
目的		建設予定地は高台とし、東海・東南海・南海3連動地震や南海トラフ巨大地震が発生しても津波災害を受けず、消防機能を維持することができます。また、災害発生時に進出拠点にできる上野山防災広場が隣接しており、防災航空隊やドクターヘリをはじめとする航空部隊とも容易に連携することができ紀南地方のヘリポート基地にも期待できます。防災拠点を一箇所に集中させ、防災機能を向上させることを目的とします。	
事業の概要		現庁舎は、東海・東南海・南海3連動地震や、南海トラフ巨大地震の津波浸水区域内に建設されており、さらに土砂災害警戒区域にも該当します。また、S56年に建設され42年が経過していることから、耐震もされておらず、建物全体的に老朽化が進み、多数の改修工事が発生しているのが現状で、様々な問題を改善しなければならない。 災害発生時の復旧・復興の拠点となるべく耐震性に優れ、防災設備及び防災対策の体制が充実した新庁舎を建設する。	
成果目標		庁舎建設基本計画を基に、津波被害を受けない安全な高台への移転を行う。R6年度着工を目標とする。 R6年度 建築工事着工 R8年度 新庁舎移転開庁、旧庁舎は解体または賃貸借による利活用。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			9,807	186,155	400,000	
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源		9,807	55,846	120,000	
	その他			130,309	280,000	

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				用地測量委託(補正)	用地造成工事・地質調査 基本・実施設計委託	庁舎建設工事・外構工事	庁舎建設工事・外構工事 備品入札 各種設備等移転
実績				用地測量設計委託 (9月補正) 3月末完了	用地造成工事・地質調査 基本・実施設計委託 (6月補正)		
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)					
	進 捗 状 況	R4 (2022)	予定どおり用地測量委託を実施した。				
	今後の 取組み方針等		企画課、建設課等の関係各課と協議を重ねながら令和8年4月の開署を目指す。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
						消防施設・設備の充実	
事業年度		②	⑤	⑥	⑦	⑧	
事業名		消防指令業務共同運用					
所管		消防本部					
事業の内容							
目的		消防指令業務は、119番通報の受信、出動指令、情報伝達など、迅速かつ的確な対応が求められています。従来は、各消防本部ごとに消防指令業務を整備し運用してきましたが、大規模火災や大規模地震、大雨豪雨災害等の複雑多様化する災害に対応するため、これまでの消防業務の枠を越えた対応が必要不可欠となることから近隣市町村と共同運用するものです。また、指令業務の専従化や人員の効率化による組織体制の強化、指令センターの機器・装置などを集約することによる整備(和歌山県消防救急デジタル無線活動波)や維持管理などに係る経費の削減を目的とする。					
事業の概要		和歌山県での消防指令業務の現在の運用状況は、和歌山広域消防指令センター(和歌山市消防局、那賀消防組合、海南市消防本部、紀美野町消防本部)、橋本・伊都地域消防指令センター(橋本市消防本部・伊都消防組合消防本部・高野町消防本部)、田辺西牟婁地区消防指令センター(田辺市消防本部・白浜町消防本部)が共同運用し、その他の消防本部はそれぞれが119番を受信している。この事業は、上記、田辺西牟婁地区消防指令センターへ、新たに串本町消防本部および日高広域消防本部が加わり、再編し、令和8年度の共同運用を目指している。					
成果目標		R4年度 勉強会発足 R5年度 各市町村最終決定(5月) 法定協議会規約議決(9月) 法定協議会設立(10月) R6年度・R7年度 指令システム整備 R8年度 消防指令業務運用開始					
総合戦略	数値目標						
	KPI						
事業費概算(単位:千円)							
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
事業費			—	—	150,000	—	
財源見込	国・県支出金						
	一般財源				45,000		
	その他				105,000		
進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画			
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
目標			9月 勉強会発足	10月 法定協議会設立	指令システム整備	指令システム整備	
実績			発足し勉強会を実施12回／半年				
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。					
		%	100%	%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)					
	進捗状況	R4(2022)	日高広域消防事務組合、田辺市消防本部、白浜町消防本部、串本町消防本部の4消防本部から担当者での勉強会を実施。				
	今後の取組み方針等		R5年度法定協議会設立。 R8年4月運用開始を目指す。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
						消防施設・整備の充実	

事業年度	②	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	和歌山県消防救急デジタル無線更新
所管	消防本部

事業の内容				
目的		消防救急デジタル無線については、活動波（各消防本部が使用することを目的）と、共通波（各都道府県または全国で使用するを目的）に分けて、全国的にアナログからデジタルに変更され、和歌山県消防救急デジタル無線運営協議会（和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課）を設置して、構築費用37億円をかけてH28年から運用が開始されています。活動波と共通波の機器整備や部分更新を実施しながら、15年で全更新を予定して運用中です。		
事業の概要		和歌山県消防救急デジタル無線運営協議会では、15年間の使用を目指して機器整備や部分更新を実施していく中で、機器メーカーから、通信に重要な機器（IP伝送装置）の15年間保守は難しいと思われるとの意見がだされたことから、13年での更新を模索中に、全県エリアでの消防指令業務共同運用案が立ち上がり、同時に更新することで緊急防災・減災事業債の適応見込みで9年～10年での全更新を協議中であった。しかし、令和4年度に全県エリアでの上記運用案が頓挫したため、同時更新は立ち消えとなった。そこで、新たに立ち上がった南和歌山エリア（日高広域消防事務組合、田辺市消防本部、白浜町消防本部、当町の4消防本部）での指令共同運用案で活動波は同時更新、共通波は令和4年度から和歌山県主導で、共に緊急防災・減災事業債の適応となるよう9年～10年での全更新を協議中。		
成果目標		和歌山県消防救急デジタル無線（共通波、活動波）全更新実施。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			—	5,012	150,000	
財源見込	国・県支出金					
	一般財源			1,504	45,000	
	その他			3,508	105,000	

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				機器の整備と修理、全更新及び必要予算の確保	機器の整備と修理、全更新及び必要予算の確保 共通波実施設計	デジタル無線（活動波） デジタル無線（共通波） 機器の整備と修理、全更新及び必要予算の確保	機器の整備と修理、全更新及び必要予算の確保
実績				令和5年度共通波実施設計予算確保			
達成度（％）			0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％……目標通り達成できた。				
				100％			
説明	【済】	R3 (2021)					
	進捗状況	R4 (2022)	令和5年度予算で共通波実施設計予算確保。事業開始。				
	今後の取組み方針等		共通波は令和6年3月末で設計事業終了予定。令和5年8月に工事費概算が県から提示される予定で緊防債適応として整備予算を確保し事業を進める。 活動波については指令共同運用開始と共に更新。令和8年4月の事業開始を目指す。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
						消防組織体制の充実	
事業年度	②	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	消防団活性化事業
所管	消防本部

事業の内容				
目的		消防組織法に基づき設置されている消防団は、地域防災の要であり力である。最近の動向としては、団員は減少傾向にあり、団を上げて増員に向け鋭意努力しているところであるが、結果に至らないのが現状である。今後とも粘り強く団員の増員に努力するとともに、特に女性消防団員の普及啓発に取り組み、地域の防災力の維持と充実強化を図る。		
事業の概要		企業や消防団員を通じて、女性消防団員を募集。イベント等に積極的に向いての広報活動、リーフレットや広報媒体を活用し消防団への加入促進を図る。また同時に、より効率、効果的な防災力を目指し消防団の再編等を深慮。限られた人員で最大限の効果を発揮できるよう事業を行う。		
成果目標		効果、効率的な地域防災力維持のため、消防団員の増員を図り、全町的な適正配置に努め、高い事業効果を得る。 女性消防団員 14名（R5年度までに）		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		5,048	5,048	5,048	5,048	5,048
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	5,048	5,048	5,048	5,048	5,048
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			女性消防団員 16名	女性消防団員 14名	女性消防団員 14名	女性消防団員 14名	女性消防団員 14名
実績			女性消防団員 9名	女性消防団員 8名			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症の影響もあり勧誘活動を自粛し、町広報誌で勧誘した。				
	進捗状況	R4 (2022)	目標値を下付修正したが1名の減となった。				
	今後の取組み方針等		R3年12月に消防団条例一部改正に伴い、消防団員の定数が420名から370名に変更となった。女性消防団員の目標を、従来の16名から14名に変更。現在数名の候補者に各分団から声かけをしている。引き続き女性消防団員の確保を目指していく。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	交通安全対策の推進	

事業名	交通安全運動啓発事業
所管	総務課

事業の内容				
目的		交通安全及び交通事故防止の観点から、町民の交通安全に対する意識向上を図る。		
事業の概要		交通安全運動啓発 四季の交通安全啓発運動 毎月1日、15日の交通安全街頭指導 高齢者運転免許返納の取組（自主返納した者の申請によりコミュニティバス回数券4,400円分を交付） チャイルドシートの購入補助金（購入金額の1／2、上限1万円）		
成果目標		交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察・県と連携を密にしながら、啓発活動を行う。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		876	732	1,014	1,014	1,014
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	876	732	1,014	1,014	1,014
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察・県と連携を密にしながら、啓発活動を行う。	交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察・県と連携を密にしながら、啓発活動を行う。	交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察・県と連携を密にしながら、啓発活動を行う。	交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察・県と連携を密にしながら、啓発活動を行う。	交通事故の件数について、対前年数値の減少を目標にして事業を展開していくとともに、警察・県と連携を密にしながら、啓発活動を行う。
実績		串本警察署管内事故発生件数 事故件数：23件 死者数：1人 傷者数：26人	新宮警察署管内事故発生件数 ※R4.4.1より新宮警察署と統合。 事故件数：70件 死者数：3人 傷者数：81人			
達成度（％）		0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％……目標通り達成できた。				
		100％	100％	％	％	％
説明	【済】	R3（2021）	・交通事故の件数について、前年より減少した。 ・啓発運動や補助事業などを実施し、交通安全に向けて毎年度取り組んでいるものである。 チャイルドシート購入補助金実績：28件、運転免許自主返納事業実績：5件			
	進捗状況	R4（2022）	・啓発運動や補助事業などを実施し、交通安全及び交通事故防止を図る取り組みを行った。 チャイルドシート購入補助金実績：29件、運転免許自主返納事業実績：20件			
	今後の取組み方針等		引き続き関係機関と連携しながら、交通安全及び交通事故防止に努めていく。			

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						2	生活の安心安全体制の充実
事業年度						交通安全対策の推進	
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							
事業年度							

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						3	住宅環境の整備
事業年度	》	5	6	7	》	公営住宅整備の促進	

事業名	公営住宅の建替事業及び長寿命化事業
所管	総務課

事業の内容			
目的		公営住宅等長寿命化計画に基づき、効率的な維持管理を継続し、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を図る。	
事業の概要		小規模団地の点在、老朽化、居住水準の低下及び高齢化等対応への機能不足がみられる状態にあるため、公営住宅等長寿命化計画に基づき、建替・耐震化・改善・廃止を進める。	
成果目標		公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な事業実施を行う。 改善：(R1)公営住宅等長寿命化計画を更新 (R2)上田ノ岡団地2棟浄化槽取替 (R3)S53和深改良住宅長寿命化修繕(外壁屋上塗装) (R5)上田ノ岡団地外壁屋上塗装改善事業 (R4)植松団地長寿命化修繕(外壁屋上塗装) (R6)リバーハイツ古座AB外壁塗装等改善事業 (R4)S56前地公営住宅外壁改修工事 (R7)リバーハイツ古座C外壁塗装等改善事業 廃止：(R2)津荷団地1棟取壊し (R5)尾の裏団地2戸取壊し (R2)須江分散(大島水谷)団地1棟取壊し	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		32,208	63,768	70,700	50,000	35,000
財源見込	国・県 支出金		12,009	27,210	25,000	17,500
	一般財源		31,759	43,490	25,000	17,500
	その他	32,208	20,000			

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計画		
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標	・S53和深改良住宅長寿命化修繕(外壁屋上塗装)		・植松団地長寿命化修繕(外壁屋上塗装) ・S56前地公営住宅外壁改修工事	・上田ノ岡団地長寿命化(外壁屋上塗装) ・尾の浦団地2戸取壊し	・リバーハイツ古座AB棟長寿命化(外壁塗装等)18戸	・リバーハイツ古座C棟長寿命化(外壁塗装等)12戸
実績	・S53和深改良住宅長寿命化修繕(外壁屋上塗装)		・植松団地長寿命化修繕(外壁屋上塗装) ・S56前地公営住宅外壁改修工事			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	建設課担当者と連携がとれ問題なくスムーズに目標どおり達成できた。			
	進捗状況	R4(2022)	・植松団地長寿命化工事 契約R4.8.31 完成R5.3.9 ・S56前地公営住宅外壁改修工事 契約R4.10.11 完成R5.3.10			
	今後の取組み方針等		・建替の予定がないため、改善事業を行い良好な状態を維持していく。 ・耐用年数が過ぎているものは用途廃止を検討していく。			

						<table><tr><td>基本目標Ⅰ</td><td>安全・安心のまち</td></tr><tr><td>3</td><td>住宅環境の整備</td></tr><tr><td colspan="2">空き家等対策の推進</td></tr></table>	基本目標Ⅰ	安全・安心のまち	3	住宅環境の整備	空き家等対策の推進	
基本目標Ⅰ	安全・安心のまち											
3	住宅環境の整備											
空き家等対策の推進												
事業年度		»	5	6	7	»						
事業名		空き家利活用の推進事業										
所 管		産業課										
事業の内容												
目 的		空き家の発生抑制の為、所有者等に適切な管理を促すとともに、意識啓発及び地域住民の情報提供等の周知啓発に努める。また、地域資源としてとらえU・Iターン希望者等への定住促進対策、体験型観光等の観光者への宿泊施設等、地域活性化へつながるような取組の推進に努める。										
事業の概要		空き家現況調査に基づき管理空き家について所有者等に空き家バンクへの登録を紹介し、移住希望者等に空き家バンク物件の紹介を行い活用を推進する。										
成果目標		空き家の利活用 空き家バンクへの登録 10件／年間										
総合戦略	数値目標											
	KPI											
事業費概算(単位:千円)												
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)						
事業費		—	—	—	—	—						
財源見込	国・県支出金											
	一般財源											
	その他											
進捗状況／今後の取組み方針												
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画								
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)						
目標		空き家利活用 空き家バンク登録 10件	空き家利活用 空き家バンク登録 10件	空き家利活用 空き家バンク登録 10件	空き家利活用 空き家バンク登録 10件	空き家利活用 空き家バンク登録 10件						
実績		空き家利活用 空き家バンク登録 11件 内、マッチング実績 2件	空き家利活用 空き家バンク登録 10件 内、マッチング実績 4件									
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。										
		100%	100%	%	%	%						
説明	【済】	R3 (2021)	目標件数を達成済。									
	進捗状況	R4 (2022)	目標件数を達成済。									
	今後の取組み方針等		昨年度同様、今年度についても新規登録物件の開拓を行う。									

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						3	住宅環境の整備
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	空き家等対策の推進	

事業名	空き家情報の収集
所管	住民課

事業の内容			
目的		町民の生活環境の保全を図るとともに、空き家等の利活用の促進等、地域活性化へつなげていくことを目的とし、「快適なまち」「安全で安心なまち」「活気のあるまち」を目指す。	
事業の概要		空き家の発生抑制のため所有者等に適切な管理を促すとともに、意識啓発及び地域住民の問題意識の醸成を目的とした情報提供等の周知啓発に努める。また、地域資源としてとらえU・Iターン希望者等への定住促進対策、体験型観光等の観光者への宿泊施設、地域住民の交流の場（地域コミュニティ施設など）等への利活用を検討し、地域活性化へつなげるような取組の推進に努める。 推進体制の整備として、庁内をはじめ所有者等、町民、関係機関、民間業者などとの連携を強化しながら地域全体で協働出来る推進体制を整備する。	
成果目標		空き家所有者へ適正な管理促進の通知（草木等の繁茂及び害虫等の発生）	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目 標						
実 績						
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。			
			100%	100%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	所有者への通知15件			
	進 捗 状 況	R4 (2022)	所有者への通知16件			
	今後の 取組み方針等		継続して、適正な管理促進を行っていく。			

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち					
						3	住宅環境の整備					
事業年度						④	⑤	⑥	⑦	⑧	空き家等対策の推進	
事業名		空家等対策事業										
所管		建設課										
事業の内容												
目的		不良空き家等に関する対策として、除却に対する費用の一部を補助することにより、町民の生活環境の保全を図ることを目的とする。										
事業の概要		不良空き家の除却に対して、補助金交付申請の基準値を満たし、危険度判定値が高いものから順に15名に補助率2/3かつ上限額50万円を補助。										
成果目標		年間15戸										
総合戦略	数値目標											
	KPI	★	空家等対策事業				不良空家等除却補助金交付 15戸／年(5年間累計 75戸)					
事業費概算(単位:千円)												
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		
事業費		7,000		6,903		7,500		7,500		7,500		
財源見込	国・県支出金	3,500		3,451		3,750		3,750		3,750		
	一般財源	3,500		3,452		3,750		3,750		3,750		
	その他											
進捗状況／今後の取組み方針												
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画						
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		
目標		年間 15戸		年間 15戸		年間 15戸		年間 15戸		年間 15戸		
実績		年間 14戸		年間 14戸								
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。										
		100%		100%		%		%		%		
説明	【済】	R3(2021)	公募数としては19件あったが、内補助金交付の申請基準に満たないものが5件のため、R3年度募集が14戸に留まった。									
	進捗状況	R4(2022)	公募数としては17件あったが、内補助金交付の申請基準に満たないものが3件のため、R4年度募集が14戸に留まった。									
	今後の取組み方針等		継続して取り組んでいく。									

							基本目標Ⅰ	安全・安心のまち	
							4	地域交通網の充実	
							交通手段の維持と利便性向上		
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧			
事業名		コミュニティバス運行事業							
所管		企画課							
事業の内容									
目的		串本町コミュニティバスを運行することにより、串本町民等の交通手段の確保と住民福祉の向上に資すること。							
事業の概要		運行は民間事業所に委託し、全4路線(佐部・上田原線、大島線、潮岬・出雲線、和深線)とも、串本町役場を起点として、くしもと町立病院、JR串本駅を経由し、各終点へ向かう路線となっている。 乗車1回の料金は高校生以上が200円、町内在住の中学生以下は無料、障害者手帳等(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳)を所持している方、介護保険の要介護者等(要介護、要支援、事業対象者の認定を受けた方)及びその介護者は100円。JR串本駅～串本町役場間も100円。フリー乗降区間も14ヵ所設けている。							
成果目標		住民の意見を伺いながら安全で使い勝手のよいコミュニティバス運行に取り組む。 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより住民や観光客の利用増加が見込まれるが、今後の先行きが不透明であることから、年間の利用者数の目標は、R4の利用実績(約10.6万人)と同程度の10万人とする。							
総合戦略	数値目標								
	KPI								
事業費概算(単位:千円)									
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)
事業費		60,064		55,648		55,902		55,902	55,902
財源見込	国・県支出金	6,359		3,346		3,346		3,346	3,346
	一般財源	26,233		24,830		25,084		25,084	25,084
	その他	27,472		27,472		27,472		27,472	27,472
進捗状況／今後の取組み方針									
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画			
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)
目標		利用者数 12万人		利用者数 9万人		利用者数 10万人		利用者数 10万人	利用者数 10万人
実績		利用者数 約8.9万人		利用者数 約10.6万人					
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。							
		75%		100%		%		%	%
説明	【済】	R3(2021)	コロナ禍の影響で、町民が不要・不急な外出を控えたり、町外からの観光客が減少したと考えられ、目標の利用者数を下回った。						
	進捗状況	R4(2022)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着いてきたことにより、年間を通して町民や観光客の利用者数が増加した。 また、コミュニティバスの料金を無料化した令和5年1～3月の期間においても利用者数が大幅に増加し、目標の利用者数を上回った。						
	今後の取組み方針等		コミュニティバスは自動車を運転できない高齢者等が、日常生活に必要な買い物や、病院へ行くためのインフラであるため、利用者数が減少しても運行を維持することが必要である。R2の国勢調査の人口では、H27年(コミュニティバスが運行を開始した年)からの5年間で約1,600人の人口が減少しているため、利用者数の減少は避けられないが、コロナ禍が収束に向かえば、ある程度の利用者数の回復が見込めるため、今後のコロナ禍の状況を注視する必要がある。						

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち							
						4	地域交通網の充実							
						交通手段の維持と利便性向上								
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧								
事業名		JR利用促進啓発事業												
所管		企画課												
事業の内容														
目的		地域の公共交通におけるJR西日本の役割は重要なものであり、利用促進へつながる取組を進め産業や観光などによる地域の活性化を目的とする。												
事業の概要		紀勢本線に関連する地域が会員となる「紀勢本線活性化促進協議会」に協力し、紀勢本線の活性化に向けた取組を行う。 1.住民の鉄道利用について、広報紙等を活用してその啓発に努める。 2.主催するイベントなどへの来場案内の際は、JRなどの公共交通機関を積極的に利用するよう呼びかける。 3.職員の出張等に伴う利用交通手段として可能な限りJRを活用する。 ※紀勢本線活性化促進協議会負担金(5千円) ※和歌山大学きのくに線活性化プロジェクト(うみえるマップ発行)への負担金 輸送密度2,000人/日未満に該当する紀勢本線新宮白浜区間の沿線市町村、県、JR西日本が会員となる「紀勢本線活性化促進協議会新宮白浜区間部会」に協力し、路線の維持や地域の活性化のため、移動特性やニーズを把握した取組を行う。												
成果目標		JRの利用促進の啓発に努め、運行本数や快適性向上などの要望を行うとともに、R5年度以降に予定されているロケット発射時のマイカーの渋滞緩和対策として、JRの積極的な利用を促進する。												
総合戦略	数値目標													
	KPI													
事業費概算(単位:千円)														
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)				
事業費		5		5		5		200		200				
財源見込	国・県支出金													
	一般財源		5		5		5		200		200			
	その他													
進捗状況／今後の取組み方針														
事業年度		評価・検証【済】			評価・検証			計画						
		R3(2021)			R4(2022)			R5(2023)			R6(2024)		R7(2025)	
目標														
実績														
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。												
		50%		75%		%		%		%		%		
説明	【済】	R3(2021)	利用促進については、JR利用を呼びかける広報誌は、コロナウイルス感染症の影響を受け、掲載を自粛したものの広報くしもと2月号にて「サイクルトレイン」の便利なサービスを紹介。要望活動では、毎年10～12月にJRに対し、バリアフリー化等の快適性向上を要望。また、ロケット発射は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年に延期されたため利用促進を行っていない。											
	進捗状況	R4(2022)	利用促進については、JR利用を呼びかける職員向け庁内Web掲示板へ掲載、「JR西日本ネット予約e5489」会員登録職員向け説明会の開催、広報くしもと10月号にて「サイクルトレイン」の便利なサービスを紹介。要望活動では、毎年10～12月にJRに対し、バリアフリー化等の快適性向上を要望。また、ロケット発射は、新型コロナウイルス感染症やロシア侵攻などの影響で、部品調達ができないため令和5年に延期されたが、ロケット「カイロス」初号機を応援し打上げを盛り上げるため、和歌山県・串本町・那智勝浦町・JR西日本和歌山支社が連携し、特急くろしおへロケットロゴマークをラッピングした「ロケットカイロス号」の運行が令和5年3月31日より開催された。											
	今後の取組み方針等		引き続きJR利用促進の啓発や「紀勢本線活性化促進協議会新宮白浜区間部会」での路線の維持や活性化への取組を行い、あわせてロケット発射時の交通渋滞緩和の対策に取り組みたい。											

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						4	地域交通網の充実
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	道路網の整備促進	

事業名	長寿命化修繕事業（橋梁道路構造物）
所管	建設課

事業の内容				
目的	損傷が大きくなってから対策を行う「事後保全的な維持管理」ではなく、定期的な点検により橋梁の状態を把握し、損傷が大きくなる前に予防的な補修を行う「予防保全的な維持管理」に転換を図り、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕に係る費用の縮減を図る。			
事業の概要	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に点検、修繕設計、修繕工事を実施する。			
成果目標	定期的な橋梁の点検。 危険度判定Ⅲ以上の橋梁については判定後5年以内に修繕を行う。			
総合戦略	数値目標		長寿命化修繕事業（橋梁道路構造物）	橋梁修繕数 19件（5年間累計）※橋梁点検結果等により変動する。
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		147,000	113,342	57,000	27,000	120,000
財 源 見 込	国・県 支出金	91,090	67,864	18,893	15,536	72,000
	一般財源	55,910	45,478	38,107	11,464	48,000
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証【済】	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目標			定期的な橋梁の点検。 危険度判定Ⅲ以上の橋梁 については判定後5年以内 に修繕を行う。	定期的な橋梁の点検。 危険度判定Ⅲ以上の橋梁 については判定後5年以内 に修繕を行う。	定期的な橋梁の点検。 危険度判定Ⅲ以上の橋梁 については判定後5年以内 に修繕を行う。	定期的な橋梁の点検。 危険度判定Ⅲ以上の橋梁 については判定後5年以内 に修繕を行う。
実績			点検 36橋 修繕工事 7橋	点検 89橋 修繕工事 6橋		
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。			
			100%	100%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	橋梁点検 36橋(全193橋中) 橋梁修繕工事 7橋(新田橋、土地木橋、エチ橋、観音橋、沖出橋、二川橋、江田橋)			
	進 捗 状 況	R4 (2022)	橋梁点検 89橋(全190橋中) 橋梁修繕工事 6橋(安指橋、大迫平橋、根木地橋、熊谷橋、冠者口橋、宮平橋)			
	今後の 取組み方針等		(R5) トンネル点検 2本(横間トンネル、横通路トンネル) 橋梁修繕設計 2橋(太鼓橋、丸ノ元橋) 橋梁修繕工事 2橋(田子大橋、亀の甲橋)			

						基本目標Ⅰ	安心・安全のまち
						5	水道施設の整備
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	水道施設の維持更新	

事業名	管路更新整備事業
所管	水道課

事業の内容			
目的		老朽管更新や耐震適合化などを計画的に進め、安全、安心な水道水の供給を目的とする。	
事業の概要		R2～3年度 串本低区配水池から二色地区との相互送配水を可能にすることにより、西ノ岡配水池を廃止する。あわせて給水原価の低い水を配水することにより、費用削減を目指す。 R2年度以降 新古田浄水場からコメリ前までの送水管改修を段階的に取り組む。この改修により、地震等の災害時における串本低区配水池への送水を可能にする。	
成果目標		地震等の災害時の断水日数削減と復旧の迅速化。 膜ろ過処理水から緩速ろ過処理水への転換(500㎡／日)により経費削減を見込む。 漏水調査の強化の取組とあわせ、老朽管の更新により、有収率80%台達成を目指す。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		381,780	249,082	68,439	68,527	68,527
財源見込	国・県 支出金	95,445	62,270	21,609	21,903	21,903
	一般財源	190,503	22,418	46,830	46,624	46,624
	その他	95,832	164,394			

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			管路更新 206,189千円 緊急連絡管 175,591千円	石綿管更新 12,276千円	石綿管更新 13,816千円 送水管更新 54,623千円	石綿管更新 13,904千円 送水管更新 54,623千円	石綿管更新 13,904千円 送水管更新 54,623千円
実 績			緊急連絡管 175,591千円	石綿管更新 18,553千円			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			50%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	R2に続き、串本低区配水池から二色地区との相互送配水を可能にする緊急連絡管事業を実施。総延長1,104.57mのうち、残り約79%の866mを完成させ事業完了となる。費用対効果はR4以降。 管路更新事業は実施していない。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	該当地区において、L=176.1mの石綿管更新工事を実施。現場の状況により、その時点での最適距離まで工事を行ったため、事業費(単独)が当初予定額より増加している。				
	今後の 取組み方針等		生活基盤施設耐震化等交付金を活用しながら事業を進める。R5以降は、水道管路耐震化等推進事業として、石綿管更新及び基幹送水管の水管橋部分を先行して更新し、その他の管路についてはR10以降順次実施する。(県に提出済み。)				

						基本目標Ⅰ	安心・安全のまち				
						5	水道施設の整備				
事業年度						経営の健全化					
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧					
事業名		水道料金の適正化									
所管		水道課									
事業の内容											
目的		水道料金の適正化を行い、経営の安定化を図る。									
事業の概要		施設や設備の合理化、効率化の推進を行い、様々な事業及び資産維持費を試算する中で、赤字が継続、内部留保金が大きく減少する場合は、水道料金、手数料、分担金等の見直しを図り、経営の安定化を目指す。									
成果目標		赤字が継続する状況になれば、老朽管更新及び資産維持費を見込んだ総括原価を適正に試算し、水道料金の見直しを検討する。									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		—		—		—		—		—	
財源見込	国・県支出金										
	一般財源										
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標											
実績											
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。									
		100%		100%		%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)	黒字決算で25,205,875円の純利益を計上。特に対策を実施していない。								
	進捗状況	R4(2022)	黒字決算で15,691,866円の純利益を計上。特に対策を実施していない。								
	今後の取組み方針等		R3は新たな事業として「串本の水」の販売を開始した。それによりボトルドウォーター収益が一時的に上昇しているが、R4はロケット事業遅延により十分な宣伝効果が得られていないことから製造をしていないため収入減となっている。留保資金、特に現金預金については高速道路関係事業が必須となることから減少傾向にあり、加えて、人口減少と共に収入減が予測される為、毎年継続的に経営の安定化を図るよう努める。								

						基本目標Ⅰ	安心・安全のまち		
						5	水道施設の整備		
						経営の健全化			
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧			
事業名		有収率向上による経費の削減							
所管		水道課							
事業の内容									
目的		有収率取組の向上を通して、変動費用（動力費、薬品費等）の削減を行う。							
事業の概要		管路の漏水調査を強化する。あわせて配水流量管理を強化、漏水の早期発見に努める。							
成果目標		有収率80％台を達成し、動力費及び薬品費の経費について、5％の削減を目指す。 R4年度以降、削減率3.0％へ下方修正。							
総合戦略	数値目標				有収率向上による経費の削減			R7(2025)年度までに有収率80％を目指す。	
	KPI	★							
事業費概算(単位:千円)									
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)
事業費		—		—		—		—	—
財源見込	国・県支出金								
	一般財源								
	その他								
進捗状況／今後の取組み方針									
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計 画			
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)
目標		有収率 80％ 経費削減 ▲5％		有収率 80％ 経費削減 ▲3.0％		有収率 80％ 経費削減 ▲3.0％		有収率 80％ 経費削減 ▲3.0％	有収率 80％ 経費削減 ▲3.0％
実績		有収率 73.41％ 経費削減 ▲2.8％		有収率 67.86％ 経費削減 ▲2.7％					
達成度(％)		0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％……目標通り達成できた。							
		50％		50％		％		％	％
説明	【済】	R3(2021)	昨年と比較し、貸倒引当金の繰り入れがなかったため、昨年と同レベルの▲2.8の削減。						
	進捗状況	R4(2022)	今年度は、光熱費の高騰による経費増加が予想以上で、対前年比1.6％の増額となった。しかし、他の項目で経費削減を実施したため黒字で純利益を上げることができた。 有収率については、大規模な配水管の漏水の発見により一時的に著しく低下した期間があった為、年間を通して対前年比▲5.55％となっていたことが原因と思われる。						
	今後の取組み方針等		R5以降はR4の経費を基に推移していた約3.0％の削減率を目標に経営の安定を図る。なお、今後も光熱費高騰による経営圧迫が懸念される為、費用分析は毎年行うこととし、目標値もその都度見直す。 有収率については、水道管の老朽化に伴い年々下降傾向にあるため現在行っている漏水調査のレベルを維持するとともに、R5以降で地域集中型の調査を行うことも視野に入れている。						

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						6	ICT基盤の整備促進
						ICT教育の推進	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	教育施設の老朽化PC・ソフトウェアの更新						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		更新時期を迎えるパソコン等(校務用及び教育用)について、計画的に整備を進め、教職員の業務の効率化を図るとともに、学校における情報教育環境の充実に努め、児童生徒の情報活用能力等の育成を図る。					
事業の概要		校務用PC等はR4年8月末で更新から丸5年となるので、R4年度に更新した。 教育用端末は、GIGAスクール構想により、1人1台タブレット端末を整備したため、そちらを使用していく。 教育用サーバーは、R5年度中に更新が必要となる。					
成果目標		校務用のPC、ソフトウェア、セキュリティシステム等はR5年度中、教育用PCについては、R5年度までに計画的に整備する。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		27,077	29,426	21,433	15,051	15,051
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	27,077	29,426	21,433	15,051	15,051
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	計画的に整備を行う。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	計画的に整備を行う。				
	今後の 取組み方針等		教育用PCについては、1人1台タブレット端末を整備したことにより、更新しない予定。 校務用PCについては、機器の状態にもよるが、約6年毎に更新が必要となる。				

						基本目標 I	安全・安心のまち
						6	ICT基盤の整備促進
事業年度	》	5	6	7	》	ICT教育の推進	

事業名	ICT講習会等知識・能力習得支援事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		昨今の高度情報通信技術の急激な発展・進歩に対応するため、インターネットその他の情報通信ネットワーク等の初歩的な知識を身につけてもらい、地域情報発信力の醸成を行うことを目的とする。		
事業の概要		パソコン教室(エクセル・パワーポイント)、タブレット教室、ドローン学習会等開催		
成果目標		2回／年 以上開催		
総合戦略	数値目標	ICT講習会等知識・能力習得支援事業	パソコン教室等開催 2回／年以上(5年間累計 10回以上)	
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		45	45	45	45	45
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	45	45	45	45	45
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			2回	2回	2回	2回	2回
実 績			2回	2回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	目標達成。パソコン教室2回実施(串本町文化センター:参加人数15人／串本町立町民文化センター:参加人数10人)				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	目標達成。パソコン教室2回実施(串本町文化センター:参加人数15人／串本町立町民文化センター:参加人数10人)				
	今後の 取組み方針等		引き続き講座を開催することで、地域の方の初歩的知識の習得につなげたい。				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						6	ICT基盤の整備促進
						情報発信体制の整備	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	行政サービスの情報化推進
所管	企画課

事業の内容				
目的		人々の生活を支えるツール・基盤となっているパソコンやスマートフォンを活用した各種行政サービスの電子申請化や、ホームページなどによる情報発信の推進を目的とする。		
事業の概要		マイナポータル等を利用した各種行政サービスのさらなる電子申請化をはかり、ホームページなどでより多くの情報が発信できるよう推進をはかる。		
成果目標		コンビニ交付や電子申請化等の各種行政サービスの電子化については、マイナンバーカードの発行状況をふまえながら調査・研究していく。 情報発信の推進については、各種行政データについてオープンデータ化を推進することで、より多くの情報を発信する。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		836	6,601	502	502	502
財源見込	国・県 支出金		2,635			
	一般財源	836	3,966	502	502	502
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	50%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	・一部の業務について、オープンデータを公開することができた ・一部の業務について、オンライン化することができた				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	・オープンデータについて、既存オープンデータの更新及び公開継続を実施できたが、新規オープンデータを公開することができなかった ・一部の業務について、オンライン化することができた				
	今後の 取組み方針等		更なるオープンデータ化、オンライン化を計っていく。				

基本目標Ⅱ

健やかで笑顔あふれるまち

基本目標Ⅱ	1	地域医療・保健・福祉の充実
	2	高齢化社会への対応
	3	出会い・結婚支援
	4	出産・子育て支援

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	医療機器等整備事業
所 管	くしもと町立病院

事業の内容			
目 的		くしもと町立病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、救急告示病院の指定を受けて二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。また、治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。 計画的に医療機器を更新することで、充実した医療サービスを提供していくことを目的とする。基本計画の主要施策である「町立病院を安定的に存続させるための対策実施」に係る事業。	
事業の概要		毎年度、計画的に老朽化した医療機器の更新又は新規導入を行う。 多額の経費を要する電子カルテシステムの更新は6年ごとに実施する予定である。前回はH29年度に実施しており、次回はR5年度に予定。	
成果目標		医療機器の購入費用が多額となることで、財源となる企業債の発行額、元利償還金が増大し、財政を圧迫する要因となるため、費用を抑制する必要がある。H30年度に策定し、和歌山県に提出した公立病院経営健全化計画書の収支計画における医療機器の更新費用は、R4年度は50,000千円、R5年度以降電子カルテシステム更新分を除く通常分は100,000千円としている。更新費用については当該額を下回ることとし、機器は10年以上使用した後に更新することを目標とする。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		48,670	50,000	400,000	100,000	100,000
財源見込	国・県支出金	22,858	2,750	42,750	2,750	2,750
	一般財源	170	50	50	50	50
	その他	25,642	47,200	357,200	97,200	97,200

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		50,000千円	50,000千円	400,000千円	100,000千円	100,000千円
実績		48,670千円	53,244千円			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	通常購入分は24,688千円に抑えることができ、新型コロナウイルス感染症対策として、国県交付金を財源とした臨時的な購入分23,982千円を含めても、総額48,670千円に抑えることができた。			
	進捗状況	R4(2022)	総額は53,244千円となり、目標額の50,000千円を超過したが、コロナ対策として、全額を国庫補助金で購入した電子カルテ用端末 1,650千円や、R4.7月に新規で開設した介護医療院用のベッド 1,958千円(全額、国庫補助金)を除く、通常購入分は49,636千円となったため、目標額内で抑えることができた。			
	今後の取組み方針等		新病院建設から10年以上が経過し、当時購入した医療機器の大半は耐用年数を超えて使用されており、MRIやCTなど高額な機器を含む多くの医療機器が更新時期を迎えている。そのため、R5年度以降は通常分で100,000千円程度の更新費用を見込み、R5年度は電子カルテシステム(約300,000千円の見込)の更新も予定しているため、400,000千円を目標額とする。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	修学資金貸付事業
所 管	くしもと町立病院

事業の内容			
目 的		くしもと町立病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、救急告示病院の指定を受けて二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。また、治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。 当病院に勤務することを希望し、医療技術職の資格を取得するために養成学校に通うものに対して修学資金を貸し付けることで、当病院の医療技術職員を確保し、安定した地域医療サービスを提供することを目的とする。基本計画の主要施策である「地域医療を支える医療スタッフの確保」に係る事業。	
事業の概要		医療技術職の資格を取得するために養成学校に入学を希望する学生のうち、資格取得後、当病院へ就業を希望するものに対し、無利子で月額5万円を貸し付ける。貸付期間は、貸付決定の際に定める月から在学している養成学校を卒業するまでの月とする。養成学校を卒業後、1年以内に医療技術職の免許を取得し、当病院において貸与期間以上従事した時は貸付金の返還を免除する。	
成果目標		貸付制度の活用促進を図り、毎年度1名以上に対し貸付金を貸与する。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,400	3,000	3,000	3,000	3,000
財源見込	国・県支出金					
	一般財源					
	その他	2,400	3,000	3,000	3,000	3,000

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		1名以上に修学資金の貸し付けを行う	1名以上に修学資金の貸し付けを行う	1名以上に修学資金の貸し付けを行う	1名以上に修学資金の貸し付けを行う	1名以上に修学資金の貸し付けを行う
実績		4名に修学資金の貸し付けを行うことができた	3名に修学資金の貸し付けを行うことができた			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	4名に修学資金の貸し付けを行うことができた。			
	進捗状況	R4(2022)	3名に修学資金の貸し付けを行うことができた。			
	今後の取組み方針等		今後も1名以上の学生に貸し付けを行い、毎年度1名以上の新規採用を行う。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1 2	地域医療・保健・福祉の充実 高齢化社会への対応
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》	保健・医療の充実/高齢者の生活支援	

事業名	訪問看護事業(地域包括ケアシステムの構築)						
所管	くしもと町立病院・福祉課						

事業の内容							
目的		くしもと町立病院は、地域の中核病院、新宮二次保健医療圏における二次医療を行う病院、救急告示病院の指定を受けて二次救急医療を行う病院としての役割を担っている。また、治療のみならず、健康増進、疾病予防、リハビリ、健康診断まで包括的な医療を提供している。 訪問看護室を設置し、訪問看護・訪問リハビリを実施することで、在宅医療体制の整備構築を推進することを目的とする。地域包括支援センター等とも連携し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指していく。基本計画の主要施策である「在宅医療体制の整備構築」に係る事業。					
事業の概要		訪問看護ステーションを設置して3名の看護師、1名の理学療法士を配置し、継続的に訪問看護・訪問リハビリを実施していく。					
成果目標		毎年度800件以上の訪問看護・訪問リハビリを実施する。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		46,999	48,225	48,225	48,225	48,225
財源見込	国・県支出金	9,891	9,561	9,561	9,561	9,561
	一般財源	30,759	31,669	31,669	31,669	31,669
	その他	6,349	6,995	6,995	6,995	6,995

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		800件	800件	800件	800件	800件
実績		813件	855件			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	813件実施			
	進捗状況	R4 (2022)	855件実施			
	今後の取組み方針等		今後も毎年度800件以上を目標に、継続的に訪問看護・訪問リハビリを実施していく。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	新たな感染症対策の徹底による医療提供体制の確保
所管	くしもと町立病院

事業の内容			
目的		新型コロナウイルス感染症や、新たな感染症の脅威から医療提供体制の崩壊を防ぐため、院内感染対策の徹底・受入体制の整備を行う。	
事業の概要		認定を受けた感染制御実践看護師を始め、多職種で構成される感染対策委員会を中心に、個人防護具による医療従事者の感染防止、検査機器を活用した自院におけるPCR検査・抗原検査の実施、発熱外来の設置のほか、陽性患者受入病床の確保など感染対策の徹底と医療提供体制の確保を行う。	
成果目標		新型コロナウイルス患者受入病床を4床確保 (ただし、新型コロナの感染症法上の分類が、令和5年5月8日に5類感染症に移行されていることから、今後の病床数の確保については、状況に応じて臨機応変に対応することとする。)	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			37,336	37,336	37,336	37,336
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源		37,336	37,336	37,336	37,336
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			・新型コロナウイルス患者受入病床を5床確保 ・感染制御認定看護師1名の配置	・新型コロナウイルス患者受入病床を4床確保 ・感染制御認定看護師1名の配置	・新型コロナウイルス患者受入病床を4床確保 ・感染制御認定看護師1名の配置	・新型コロナウイルス患者受入病床を4床確保 ・感染制御認定看護師1名の配置
実績			・新型コロナウイルス患者受入病床を5床確保 ・感染制御認定看護師1名の配置			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%			
説明	【済】	R3(2021)				
	進捗状況	R4(2022)	R4年度は通年で受入病床を5床確保し、延べ463日の入院患者を受け入れた。			
	今後の取組み方針等		医療提供体制の崩壊を防ぐため、今後も発熱外来の設置、自院におけるPCR検査・抗原検査の実施による感染拡大の防止、陽性患者受入病床の確保など感染対策の徹底と医療提供体制の確保を行う。ただし、新型コロナの感染症法上の分類が、令和5年5月8日に5類感染症に移行されていることから、今後の病床数の確保については、状況に応じて臨機応変に対応する。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	特定健診事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		年々高齢化が進んでいく中で、疾病構造では生活習慣病が増加している。3大死因(がん、虚血性心疾患、脳血管疾患)は生活習慣が主な原因であり、メタボリックシンドロームの予防のために特定健診を受診することが重要である。特定健診を受診することで、生活習慣病の早期発見・早期治療の向上を図るものである。		
事業の概要		国保担当課(住民課)との連携による特定健診、特定保健指導の実施 H30年度より、和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムが策定され、糖尿病が重症化し透析に移行する者を増加させない(医療費の抑制)ことを目的に事業を実施。		
成果目標		国保担当課(住民課)と連携し、特定健診受診率の目標を34%(R4年度)とし、生活習慣病を予防する。		
総合戦略	数値目標	★	特定健診事業	特定健診 受診率 31.9%(R1(2019)) → 40%(R7(2025))
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		23,434	23,016	29,761	29,761	29,761
財源見込	国・県 支出金	10,270	12,242	15,031	15,031	15,031
	一般財源	13,164	10,774	14,730	14,730	14,730
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			受診率 31.9%	受診率 34%	受診率 36%	受診率 38%	受診率 40%
実績			受診率 32.5%	受診率 29.9%			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	健(検)診案内方法を、世帯宛での希望調査票から個人宛てに健診案内と受診券を送付する方法に変更し、受診勧奨を行った(以後も継続している)。R2年度と同様に業者委託により受診勧奨ハガキの送付と電話勧奨を行い、さらに健康づくり講演会を2回実施した。また、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に出向き受診勧奨を行い、希望者の申込受付を行った。				
	進捗状況	R4 (2022)	R4年度も業者委託により電話勧奨と受診勧奨ハガキを送付したが、実施方法を変更した。先に電話勧奨を行い特定健診を受診しない理由別に対象者を5種類に分類し、受けない理由にあった受診勧奨ハガキを作成し送付した(例:通院中、忙しいなど)。また健康づくり講演会の実施や担当職員による電話勧奨、町内スーパーでの受診勧奨を行った。				
	今後の取組み方針等		委託による電話勧奨と受診勧奨ハガキを送付する。健康づくり講演会を開催する。R5年度は、受診勧奨ハガキのマンネリ化防止のため委託業者を変更。電話勧奨については、国保連合会の在宅保健師に委託。健康づくり講演会を2回開催予定。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	
事業年度	»	5	6	7	»		

事業名	健康増進事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活のあり方やその他健康に関することと、心身の健康に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行うことで、家庭における健康管理に資すること。		
事業の概要		・健康増進法による事業の実施 健康相談、健康教育、訪問指導、健康診査（骨粗しょう症検診、歯周病検診含む）		
成果目標		・健康相談、健康教育事業を通して健康増進に関する正しい知識の普及・啓発を図り、町民自らが健康増進に努められるように支援する。 ・健康管理システム活用による、相談、教育等の事務効率化を図る。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		4,181	1,871	1,640	1,640	1,640
財源 見込	国・県 支出金	2,117	1,016	1,093	1,093	1,093
	一般財源	2,064	855	547	547	547
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	集団健診で精密検査が必要となった方には、保健師2名が自宅へ訪問し受診勧奨を行った。 集団健康教育では「慢性閉塞性肺疾患」についての講演会を実施し、正しい知識の普及、啓発を行った。 社会福祉協議会の協力を得てサロンへの声掛け、周知行い、依頼のあったサロンへ出向き、健康についての講話やインボディ測定等を行った。 月1回保健師、栄養士による個別健康相談を実施し、血圧測定、尿検査を実施、日々の過ごし方等助言、指導を行った。				
	進捗 状況	R4 (2022)	集団健康教育として「オーラルフレイル予防」と題し、医師、認定看護師、理学療法士、言語聴覚士、栄養士による講演会を開催し知識の普及・啓発を行った。依頼のあった高齢者サロンに出向き、病態別の講話や頭の体操等を行った。 月1回保健師、栄養士による個別健康相談を実施し、血圧測定、尿検査を実施、日々の過ごし方等助言、指導を行った。				
	今後の 取組み方針等		引き続き関係機関の協力を経て、健康教育や講演会(集団健康教育)等を行い、健康についての正しい知識の普及、啓発に努める。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	

事業年度	⌘	⑤	⑥	⑦	⌘
------	---	---	---	---	---

事業名	がん検診事業
所管	福祉課

事業の内容				
目 的		国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっている現状に対し、がん検診による早期発見・早期治療を推進し、がんによる死亡者を減少させるものとする。		
事業の概要		・健康増進法による事業の実施 集団及び個別(委託医療機関)による各種がん検診 (胃がん50歳以上・隔年、大腸がん40歳以上・毎年、肺がん40歳以上・毎年、子宮頸がん20歳以上・隔年、乳がん40歳以上・隔年)		
成果目標		・健康管理システム活用による各検診の事務効率化を図るとともに、各種がん検診受診率の目標を県平均以上とする。 【H29年度和歌山県受診率データより】 胃がん 11.5% 大腸がん 10.1% 肺がん 9.9% 子宮頸がん 20.9% 乳がん 20.6%		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		25,925	18,830	27,719	25,354	25,354
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	25,216	18,545	26,860	24,495	24,495
	その他	709	285	859	859	859

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			胃がん 11.5% 大腸がん 10.1% 肺がん 9.9% 子宮頸がん 20.9% 乳がん 20.6%	胃がん 11.5% 大腸がん 10.1% 肺がん 9.9% 子宮頸がん 20.9% 乳がん 20.6%	胃がん 11.5% 大腸がん 10.1% 肺がん 9.9% 子宮頸がん 20.9% 乳がん 20.6%	胃がん 11.5% 大腸がん 10.1% 肺がん 9.9% 子宮頸がん 20.9% 乳がん 20.6%	
実 績			胃がん 10.6% 大腸がん 12.1% 肺がん 11.0% 子宮頸がん 15.6% 乳がん 16.3% (地域保健実績報告より)	胃がん 5.4 % 大腸がん14.4% 肺がん13.6 % 子宮頸がん 7.8 % 乳がん 8.8 % (町独自データより)			
達成度 (%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	50%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	健(検)診案内方法を、世帯宛てから個人宛てに変更し、受診券も同封することで健診案内に受診勧奨も兼ねた。(以後も継続している) 大腸、肺以外受診率は県の平均に達しなかったが、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場で個人毎に声掛け行い受診勧奨、検診申込受付を行い256名の受診につなげた。また、転入者にも個人宛てに検診案内を郵送し、受診勧奨を行った。 ピンクリボン運動の一環で、街頭啓発を行った。(乳がん触診体験や、啓発ティッシュ配布等)				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	町内スーパーにて健(検)診の啓発、受診勧奨を行った。 また、女性若い年齢層に増加してきている乳がんや子宮頸がん検診について、節目無料検診対象の方(25・30・40歳)に個別通知にて受診勧奨を行った。 ピンクリボン運動の一環で、街頭啓発を行った。(乳がん触診体験や、啓発ティッシュ配布等)				
	今後の 取組み方針等		検診受診率向上に向けて、広報や啓発活動等受診勧奨を引き続き行っていく。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1 4	地域医療・保健・福祉の充実 出産・子育て支援
						保健・医療の充実/各種相談・教室・健診等体制の充実	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	予防接種事業
所管	福祉課

事業の内容				
目 的		各種感染症に対し、免疫をもたない個人を対象に感染予防又は重症化の防止として、集団に対しては流行・蔓延を防ぎ、住民の健康を守ることを目的とする。		
事業の概要		・予防接種法に基づく定期接種の対象である乳幼児、児童・生徒、成人、高齢者に対し実施。 ・高齢者を対象としたインフルエンザ、肺炎球菌予防接種は毎年度実施。 ・乳幼児については定期接種となる予防接種が増加し、R2年度より全てを個別接種で実施。 ・成人男性に対しては、対象年齢となる方に風しんの抗体検査および予防接種を実施。 ・風しん予防接種の費用助成をR4年度からは町単で実施。また、R1年度より子どもインフルエンザ予防接種費用助成を実施。		
成果目標		・接種対象者が各予防接種の対象年齢中に確実に接種を受けられるようにする。 ・接種対象者が接種期間内に受けられるよう十分な接種機会を設け、保護者に対し予防接種に関する知識の普及、乳幼児健診での声掛けや個別通知電話などで接種勧奨を行う。 ・高齢者インフルエンザ予防接種率が60%以上継続できることを目指す。 ・風しん予防接種について、特に抗体化の低い対象者に対する費用助成事業をPRLし、接種勧奨を実施する。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		40,669	38,939	55,468	55,468	55,468
財源見込	国・県 支出金	659	203	291	291	291
	一般財源	40,010	38,736	55,177	55,177	55,177
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		高齢者インフルエンザ予防接種率 60%	高齢者インフルエンザ予防接種率 60%	高齢者インフルエンザ予防接種率 60%	高齢者インフルエンザ予防接種率 60%	高齢者インフルエンザ予防接種率 60%
実績		高齢者インフルエンザ予防接種率 60.8%	高齢者インフルエンザ予防接種率 65.1%			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	高齢者インフルエンザ予防接種について対象者7,182人に対して9月末に個別通知を実施。4,367人が接種した。			
	進捗状況	R4 (2022)	高齢者インフルエンザ予防接種について対象者6,639人に対して9月末に個別通知を実施。4,320人が接種した。			
	今後の取組み方針等		引き続き9月末に対象者に対して、高齢者インフルエンザ予防接種の個別通知を行う。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						保健・医療の充実	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶		

事業名	国民健康保険運営事業						
所管	住民課・税務課						

事業の内容							
目的		国保制度の改革にて、都道府県が国保財政の責任主体となり、市町村の国保事業は県への納付金を基準に運営することとなった。将来的な県内保険料(税)率の統一も視野に含め、医療費適正化等、新制度の内容に応じた財政対策を講じる。					
事業の概要		国保事業費納付金は、医療費・年齢構成・所得・被保険者数・保険者努力による国や県の補助金等に応じて算定されるため、この納付額をできるだけ少なくするための対策を講じる。 ①特定健診の受診率向上 ②国保特別交付金(主に保険者努力支援分)の確保 ③税収納率の維持					
成果目標		①データヘルス計画で定めている受診率 ②(保険者努力支援金は点数制であるが、昨年度の実績等により減点されることも考慮し)昨年度と同水準の県内順位 ③現状維持					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,502,250	2,438,907	2,334,609	2,334,609	2,334,609
財 源 見 込	国・県 支出金	1,805,006	1,728,788	1,696,485	1,696,485	1,696,485
	一般財源	697,244	710,119	638,124	638,124	638,124
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		①毎年度、前年度以上 ②-1(保険者努力支援金は点数制であるため) 毎年度、獲得点数が前年度以上 -2(毎年内容が見直されるため) 毎年度、新規条件を達成 ③現状維持	①データヘルス計画で定めている受診率(38%) ②(保険者努力支援金は点数制であるが、昨年度の実績等により減点されることも考慮し) 昨年度と同水準の県内順位 ③現状維持	①データヘルス計画で定めている受診率(40%) ②(保険者努力支援金は点数制であるが、昨年度の実績等により減点されることも考慮し) 昨年度と同水準の県内順位 ③現状維持	①データヘルス計画で定めている受診率(R5年度計画策定) ②(保険者努力支援金は点数制であるが、昨年度の実績等により減点されることも考慮し) 昨年度と同水準の県内順位 ③現状維持	①データヘルス計画で定めている受診率(R5年度計画策定) ②(保険者努力支援金は点数制であるが、昨年度の実績等により減点されることも考慮し) 昨年度と同水準の県内順位 ③現状維持
実績		① 32.5% ②-1 634点 ②-2 概ね達成 ③ 89.56%	① 29.9% ② 昨年度と同水準(県内1位) ③ 90.36%			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	集団健診を実施できたことや、受診勧奨に注力したことにより前年度以上を達成できた。 保険者努力支援制度については、R2同様で、昨年度以上の点数は難しかったが、県内順位として1位(毎年県内上位)となっている。 徴収率については、新型コロナウイルス感染症の影響等から前年度を下回っているが、概ね現状維持できている(国民健康保健税徴収率89.56%)。			
	進捗状況	R4(2022)	特定健診については、受診勧奨(電話勧奨、勧奨通知の送付、健康づくり講演会の実施等)を精力的に行ったが、目標の受診率に達することができていない。 保険者努力支援制度については、県内順位として1位(毎年県内上位)となっている。 徴収率については、概ね現状維持できている(国民健康保健税徴収率90.36%)。			
	今後の取組み方針等		特定健診受診率向上につながる取組を継続し、医療費適正化につなげていくことで、安定した国保運営を行っていく。 国民健康保健税徴収率向上に努める。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						障害者福祉の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	地域生活支援事業
所管	福祉課

事業の内容			
目 的		障害者及び障害児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を計画的に実施し、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。	
事業の概要		【対象者】 ・障害者総合支援法、児童福祉法に規定する者 【地域生活支援事業】 ・相談支援事業 ・成年後見制度利用支援事業 ・意思疎通支援事業 ・日常生活用具給付事業 ・移動支援事業 ・手話奉仕員養成研修事業 ・地域活動支援センター事業 ・地域活動支援センター機能強化事業 ・巡回支援専門員整備事業 ・身体障害者自動車改造費助成事業 ・日中一時支援事業 ・手話講座事業	
成果目標		障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず住民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。 小・中学校の手話講座や、一般住民向けの手話講座の実施を目標に設定。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		31,241	31,536	34,386	34,386	34,386
財源見込	国・県 支出金	13,790	12,613	13,990	13,990	13,990
	一般財源	17,451	18,923	20,396	20,396	20,396
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			学校教育の場における 手話講座の実施 2校	学校教育の場における 手話講座の実施 2校	小・中学校の手話講座の実施 3校 一般住民向けの手話講座の実施 10名	小・中学校の手話講座の実施 3校 一般住民向けの手話講座の実施 10名	小・中学校の手話講座の実施 3校 一般住民向けの手話講座の実施 10名
実績			3校	2校			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	計画していた各事業は実施できた。また新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、学校の協力もあり2校で手話講座を実施。その後、更に1校の申込みがあり計3校での手話講座実施となった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	計画していた各事業は問題なく実施できた。また、新型コロナウイルス感染症の影響が依然大きい中、学校の協力により、目標である2校での手話講座を実施できた。				
	今後の 取組み方針等		R4年度と同様に事業を実施し、障害児・者の福祉の増進を図る。特に手話講座の取組について住民の方により広く知ってもらうため、手話講座実施の際には本町の広報係へ取材及び広報への掲載を提案する。今年度は新たに一般住民向けの手話講座事業を行うので、委託先の事業所との契約書の作成および締結を行い、チラシや広報にて積極的に周知し、より多くの参加者を募る。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	障害者福祉の充実	

事業名	福祉タクシー事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		重度心身障害者(児)に対し、福祉タクシーの利用料金の一部を助成することにより、重度心身障害者(児)の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進に寄与し、もって福祉の向上を図ることを目的とする。		
事業の概要		福祉タクシー利用券を交付する。 【対象者】 身体障害者手帳1級か2級、又は第1種の在宅介助を要する者。療育手帳A判定の者のうち在宅の者。精神障害者保健福祉手帳1級の者のうち在宅の者。 【助成範囲】 1枚につき福祉タクシー基本料金相当額。(年間1人12枚) 【利用方法】 1回の乗車につき利用券1枚を渡し、手帳を提示する。本人と他の者との同乗の場合も利用可。		
成果目標		重度心身障害者(児)の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進に寄与する。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		570	391	450	450	450
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	70	91	50	50	50
	その他	500	300	400	400	400

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			前年度実績のデータ集計を行い、利用していない方に向けてアンケートを実施する。	アンケート調査または聞き取りを行い、結果の分析を行う。	アンケート調査の集計をし、結果の分析を行う。	アンケート結果に基づき、事業の見直しに向けて準備を行う。	アンケート結果に基づき、事業の見直しに向けて準備を行う。
実 績			前年度実績の分析後、アンケート実施のための準備を行った。 発行件数 688件 利用人数 90人	前年度実績の分析後、アンケート調査を行った。 発行件数 685件 利用人数 87人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	施設入所等利用実績のない人には連絡し、真に必要な人にタクシー券がいきわたるよう努めた。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	前年度実績の分析後、アンケート調査を実施することができた。				
	今後の 取組み方針等		アンケート調査の集計をし、結果の分析を行う。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち				
						1	地域医療・保健・福祉の充実				
事業年度						障害者福祉の充実					
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧					
事業年度		障害者自立支援給付事業									
所 管		福祉課									
事業の内容											
目 的		障害者及び障害児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず町民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。									
事業の概要		【対象者】 ・障害者総合支援法、児童福祉法に規定する者 【自立支援給付サービス】 ・介護給付 ・訓練等給付 ・自立支援医療 ・補装具費 ・障害児給付									
成果目標		・障害者等の地域生活への移行を進める観点から、福祉施設入所者又は新たな入所希望者について、相談支援事業所等と連携を図り、自立訓練事業等の障害福祉サービスを活用し、地域生活に向けての検討を行い、グループホーム又は一般住宅等への移行を推進することで施設入所者数の減少を図り、より多くの障害者の自立支援を目指す。 ・発達がゆっくりな子ども達が、通園等の障害福祉サービスを通じ、集団生活の中での人とのかかわりあいなど基本的な生活習慣の確立、社会的に自立することを目指す。									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		628,600		623,372		637,984		637,984		637,984	
財源見込	国・県 支出金	471,451		467,529		478,476		478,476		478,476	
	一般財源	157,149		155,843		159,508		159,508		159,508	
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計 画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標											
実績											
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。									
		75%		75%		%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)		地域への移行や親元からの自立などにあたり、一人暮らし体験としての申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。実施に至らず。							
	進捗状況	R4(2022)		地域への移行や親元からの自立に向け、一人暮らし体験ができる県指定の地域生活支援拠点施設があり、新型コロナウイルス感染症の影響等により利用実績はなかったが、緊急時受入事業として1名の利用があった。							
	今後の取組み方針等		新宮・東牟婁自立支援協議会等の取組を経て、各市町村又は各圏域において総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の強化を引き続き実施する。								

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						障害者福祉の充実	
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑨	
事業名		心身障害児(者)福祉年金等支給事業					
所管		福祉課					
事業の内容							
目的		○心身障害児(者)福祉年金 社会保障の理念に基づき、心身障害児(者)に福祉年金を支給し、その生活の安定に寄与する等福祉の増進を図ることを目的とする。 ○心身障害児福祉手当 障害児の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的とする。 ○心身障害児奨学金支給 障害児の就学の奨励を図ることを目的とする。					
事業の概要		○心身障害児(者)福祉年金 【対象者】 (者)身体障害者手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている20歳以上の者のうち障害程度等級が1級の者、又は療育手帳の交付を受けている20歳以上の者。ただし、年間所得が10万円以上ある者を除く。 (児)身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている20歳未満の児童。 【支給額】 年額30,000円 ○心身障害児福祉手当 【対象者】 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている満19歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある者。ただし、児童手当受給年齢の心身障害児及び串本町重度心身障害児(者)医療費の支給に関する条例による医療費の支給を受けることができる者は除く。 【支給額】 年額48,000円(在宅)、年額14,400円(在宅以外) ○心身障害児奨学金 【対象者】 本町に居住し、本町の住民基本台帳に記録されている者で、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている満19歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある特別支援学校に通学する者。 【支給額】 年額15,600円					
成果目標		利用案内をすすめ、障害をお持ちの方の生活安定を目指し、就学の奨励を行う。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						
事業費概算(単位:千円)							
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
事業費		11,610	11,610	11,610	11,610	11,610	
財源見込	国・県支出金						
	一般財源	2,210	2,210	2,210	2,210	2,210	
	その他	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400	
進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画			
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
目標		対象者に適切に支給する。	対象者に案内し、適切に支給する。	対象者に案内し、適切に支給する。	対象者に案内し、適切に支給する。	対象者に案内し、適切に支給する。	
実績		年度当初に制度の案内を行った。 手帳交付時、住所変更の際に、利用案内を行った。 福祉年金 327件 (内 者:313件 児:14件) 福祉手当 0件 奨学金 12件	年度当初に制度の案内を行った。 手帳交付時、住所変更の際に、利用案内を行った。 福祉年金 321件 (内 者:311件 児:10件) 福祉手当 2件 奨学金 13件				
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。					
		100%	100%	%	%	%	
説明	【済】	R3(2021)	対象者に利用案内を送付し、適切に支給を行った。				
	進捗状況	R4(2022)	対象者に利用案内を送付し、適切に支給を行った。				
	今後の取組み方針等		対象者を把握し、利用案内を送付して適切に支給を行う。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						地域福祉の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	串本町社会福祉協議会助成事業
所管	福祉課

事業の内容			
目的		串本町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく福祉事業を運営し、地域の社会福祉の向上・増進を図り、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し継続的な地域福祉活動を行っているため、同協議会活動に対し助成を行うものである。	
事業の概要		串本町社協の運営及び地域福祉事業に対する補助金を交付する。 ＜串本町社会福祉協議会＞（R5年3月31日現在） 理事 8名、 監事 2名、 評議員 15名、 福祉委員 327名 会員 3,286名 ボランティア登録者 674名 （職員体制）串本事業所 83名 古座事業所 30名	
成果目標		利用者のニーズにあった福祉サービスの提供など、同協議会が果たす役割は非常に大きく、毎年応分の助成が必要である。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	目標どおり達成できた。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	目標どおり達成できた。				
	今後の 取組み方針等		安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し継続的な地域福祉活動を行っていくため同協議会活動に対し助成を引き続き行う。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						1	地域医療・保健・福祉の充実
						地域福祉の充実	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	民生委員児童委員協議会助成事業						
所管	福祉課						

事業の内容							
目的		串本町民生委員児童委員協議会の活動は、社会奉仕の精神をもって常に町民の立場に立って相談に応じたり必要な援助を行うなど、社会福祉の増進に寄与するため、同協議会に対し助成を行うものとする。					
事業の概要		民生委員児童委員の調査、相談及び支援活動を尊重し、地域福祉の推進につながる同協議会の円滑な活動及び各委員の活動を継続させていく。 ＜串本町民生委員児童委員協議会＞ ・委員構成 73名（民生委員69名、主任児童委員4名） ・委員任期 3年（R4年12月1日～R7年11月30日まで）					
成果目標		地域住民の利益や権利を守り、地域福祉の増進を図るため、常に住民の立場に立った活動が一層求められている。また、組織的、計画的な活動の実践とともに、個人情報やプライバシー保護に十分配慮しながら相談・支援活動を行っている。 よって、串本町民生委員児童委員協議会が地域福祉の増進に果たす役割は大きいことから、毎年応分の助成を行うことが必要である。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		5,773	4,558	4,944	5,773	5,773
財源見込	国・県支出金	4,557	4,494	4,557	4,812	4,812
	一般財源	1,216	64	387	961	961
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標						
実績						
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	欠員となっている民生委員(7名)の解消ができなかったが、R4年12月の一斉改選に向けて定員の見直しを行った。			
	進捗状況	R4(2022)	欠員となっている民生委員(6名)の解消ができなかった。			
	今後の取組み方針等		今後も地域福祉の推進につながる同協議会の円滑な活動及び各委員の活動を継続させていく。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						2	高齢化社会への対応
						高齢者の生活支援	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	配食サービス事業
所管	福祉課

事業の内容			
目 的		虚弱等によって調理が困難な高齢者に対して配食サービスを実施することで、高齢者の自立した生活を支援するとともに、配食時の安否確認により緊急事態の早期発見・対応につなげる。	
事業の概要		<利用対象者> おおむね65歳以上で身体虚弱等の理由により食事の調理が困難な単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者。 <事業内容> 指定居宅サービス事業者が調理した食事を利用者の居宅へ配送するとともに利用者の安否を確認する。 1日2食の範囲内で、普通食1食につき500円、療養食1食につき600円を利用者が自己負担。 安否確認に対する委託料として、1食あたり300円を町から事業者へ支払う。	
成果目標		高齢者一人暮らし、高齢者のみの世帯又はそれに準ずる世帯に属する高齢者及び身体障害者等について、配食サービスによる食生活の援助及び安否確認を行い、在宅での生活を支援するものである。 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるよう、今後も本事業を継続していく必要がある。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		78,318	74,331	80,000	80,000	80,000
財源見込	国・県支出金	16,919	16,070	17,325	17,325	17,325
	一般財源	12,379	11,757	12,675	12,675	12,675
	その他	49,020	46,504	50,000	50,000	50,000

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標						
実績						
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	配食数合計 97,656食 延べ利用者数(月ごとの利用者数の合計) 3,834人			
	進捗状況	R4 (2022)	配食数合計 92,755食 延べ利用者数(月ごとの利用者数の合計) 3,765人			
	今後の取組み方針等		令和4年度の配食数、利用者数が減少したものの、依然として配食サービスの需要は高い。また、令和5年4月死亡者の5人に1人が、同年5月死亡者の3人に1人が配食サービス利用者であることから、高齢の町民にとって重要なサービスであるため、事業を継続する。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						2	高齢化社会への対応
						高齢者の生活支援	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	隣保館デイサービス事業						
所 管	福祉課						

事業の内容							
目 的		田子地区～和深地区の65歳以上の元気老人を対象に、福祉の向上や人権のための住民交流の拠点として、老人の自立支援や生きがい等の地域福祉を高めていくため、隣保館デイサービス事業の利用拡大を図る。					
事業の概要		田子地区～和深までの65歳以上の元気な老人等で、介護保険が非該当の方を対象に、毎週火曜日（1回15人）に隣保館デイサービス事業を実施する。 ・日常生活訓練 日常生活動作、歩行、家事訓練等 ・創作、軽作業 アートフラワー、工作、四季の催し物作成 ・レクリエーション カラオケ、軽運動（ストレッチや室内でのボーリング・グラウンドゴルフなど）、頭の体操、給食等					
成果目標		田子地区～和深地区の65歳以上の元気老人の福祉の増進を図る事業として、串本町社会福祉協議会と連携しながら地域住民の積極的な参加を促進し、1回あたりの利用者13人～15人を目指す。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,544	2,544	2,736	2,736	2,736
財源見込	国・県 支出金	893	893	893	893	893
	一般財源	1,651	1,651	1,843	1,843	1,843
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計 画		
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標	1回当り利用者 14人～15人		1回当り利用者 13人～15人	1回当り利用者 13人～15人	1回当り利用者 13人～15人	1回当り利用者 13人～15人
実績	1回当り利用者 8人～9人		1回当り利用者 8人～9人			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	登録者9人で実施。検温・手指消毒・マスクの着用・換気などの新型コロナウイルス感染症対策をしながら通年実施した。利用者については、前年度に引き続き勧誘等による増加に努めたが、登録には至らなかった。			
	進捗状況	R4(2022)	登録者9人で実施。検温・手指消毒・マスクの着用・換気などの新型コロナウイルス感染症対策をしながら通年実施した。利用者については、前年度に引き続き勧誘等による増加に努めたが、登録には至らなかった。			
	今後の取組み方針等		串本町社会福祉協議会と連携しながら、継続して実施する。また利用者の増加にも引き続き取り組む。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						2	高齢化社会への対応
						高齢者の生活支援	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶		

事業名	介護保険事業計画策定事業
所管	福祉課

事業の内容			
目的		高齢期を迎えた町民がいつまでも住み慣れた地域で健康にいきいきと暮らすことができ、また、社会支援が必要となったときに適切なサービスが受けられる地域社会づくりを目指し、高齢者福祉施策及び介護保険事業の計画的な推進を図るため、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するものである。	
事業の概要		【計画策定】 ・策定委員の委嘱 ・策定委員会の開催 ・計画書の印刷製本 【計画期間】 第8期介護保険事業計画：R3年度～R5年度、第9期介護保険事業計画：R6年度～R8年度、第10期介護保険事業計画：R9年度～R11年度 【記載事項】 圏域の設定、種類ごとの介護サービス量の見込み、施設の必要定員総数、地域支援事業、認知症支援策、医療との連携、高齢者の居住に係る施策との連携、生活支援サービス など	
成果目標		老人福祉法及び介護保険法の規定により、介護保険給付の円滑な実施のため、3年を1期とする介護保険事業計画を策定する。 (計画期間初年度の前々年度にアンケート調査、前年度に計画策定)	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	1,595	2,750	—	1,595
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源		1,595	2,750		1,595
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)					
	進捗 状況	R4 (2022)	アンケート調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査)を実施				
	今後の 取組み方針等		R5年度において、R6年度～R8年度を計画期間とする第9期介護保険事業計画を策定する。 R7年度には、R9年度～R11年度を計画期間とする第10期介護保険事業計画の策定に着手する。(アンケート調査)				

						基本目標Ⅱ 基本目標Ⅲ	健やかで笑顔あふれるまち 郷土愛あふれる教育のまち
						2 2	高齢化社会への対応 生涯学習・スポーツの推進
						高齢者の活躍場所の拡大支援/スポーツ活動支援	
事業年度	»	5	6	7	»		

事業名	各種高齢者スポーツ大会事業						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		高齢者の諸活動への参加を促すため、諸施策を推進し、高齢者が年齢に応じた社会的能力を高め、積極的な社会参加や役割分担を行い、生きがいのある生活を樹立することを目的とする。					
事業の概要		本州最南端グラウンドゴルフ交歓大会、サン・ナンタンゲートボール大会、本州最南端寿野球大会の開催					
成果目標		本州最南端グラウンドゴルフ交歓大会参加者 サン・ナンタンゲートボール大会参加者 本州最南端寿野球大会参加チーム 前年度の参加者、チーム数を上回ることを目標とする。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	1,990	1,990	1,590	1,590
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源		1,990	1,990	1,590	1,590
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		グラウンドゴルフ交歓大会400名 ゲートボール大会 200名 寿野球大会 200名	グラウンドゴルフ交歓大会400名 ゲートボール大会 200名 寿野球大会 200名	グラウンドゴルフ交歓大会400名 ゲートボール大会 200名 寿野球大会 200名	グラウンドゴルフ交歓大会400名 ゲートボール大会 200名	グラウンドゴルフ交歓大会400名 ゲートボール大会 200名
実績		グラウンドゴルフ交歓大会 0名 ゲートボール大会 0名 寿野球大会 0名	グラウンドゴルフ交歓大会0名 ゲートボール大会 0名 寿野球大会 0名			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止。			
	進捗状況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止。			
	今後の取組み方針等		中止が続いたため、再開後に参加者が減少することが予想されるため、より一層参加者募集に力を入れて取り組む。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						2	高齢化社会への対応
						高齢者の活躍場所の拡大支援	

事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶
------	---	---	---	---	---

事業名	串本町シルバー人材センター助成事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		串本町シルバー人材センターの活動については、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、高齢者等の生きがいづくり、地域社会への貢献等、健康で働く意欲のある方に就業の機会・場を提供し、高齢者がこれまで長年培ってきた能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、同センターに対し助成を行うものとする。		
事業の概要		高齢者の雇用の安定に関する法律に基づき、高齢者等の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の活性化、福祉の向上に資するため、臨時的かつ短期的な就業を希望する方に就業の機会を提供する団体を育成することを目的とし、事務局体制の強化確立が図られるまでの間、助成を行う。 【R4年度事業実績】 ・就業延べ人員 12,595人（請負分 8,574人、派遣分 4,021人） ・事業収入 34,377,071円		
成果目標		串本町シルバー人材センターは、H18年2月設立後、事務局体制も整備され、安定化の兆しが見られるが、今後、更に事業活動内容を精査し、組織の強化、経営の安定化が求められることから、それまでの間、応分の助成を行っていくことが必要である。 R4年度から就業延べ人数9,000人以上を目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			就業延べ人数 7,600人以上	就業延べ人数 9,000人以上	就業延べ人数 9,000人以上	就業延べ人数 9,000人以上	就業延べ人数 9,000人以上
実績			10,790人	12,595人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	就業延べ人数 10, 790人				
	進捗 状況	R4 (2022)	就業延べ人数 12, 595人				
	今後の 取組み方針等		高齢者等の健康で生きがいのある生活の実現と就業を希望する方に安定的な就業の機会を提供する団体を育成する。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						2	高齢化社会への対応
						高齢者に優しい社会の実現	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌵		

事業名	緊急通報システム運営事業						
所管	福祉課						

事業の内容							
目的		一人暮らしの高齢者等の急病や事故等の緊急事態に対処するとともに平時の安否確認を実施するため、緊急通報システムの装置を設置することにより、日常生活における不安の解消及び安全の確保を図ることを目的とする。					
事業の概要		実施主体は串本町とし、本事業を民間事業者へ委託して実施するものとする。 【対象者】 住民基本台帳に記録されている在宅の65歳以上の方で、①身体状況が「疾病等により日常生活上注意を要する状態であり、継続して安否の確認が必要」「身体障害者手帳1級から2級」「要介護3以上」のいずれか、②世帯状況が「一人暮らし」「高齢者のみ又はこれに準ずる世帯」「同居人はいるが、同居人が定期的・継続的に仕事等で長時間外出するため、実質的に一人暮らし」のいずれかに該当する方。 【受信センター】 受託者は、緊急通報システム受信等の設備を整えとともに、保健師や看護師等の専門スタッフが24時間体制で利用者からの通報・相談を受け、その状況を迅速に把握し、適切な措置・対応を講じるため、受信センターを置く。 【利用者負担】 装置の電気代及び利用者からのシステム通話料は自己負担とする。故意・過失による装置の紛失・故障について補てん・修理費を負担するものとする。					
成果目標		本事業を通じ、一人暮らしにおける不安を払拭し、安心して日々の生活が送れることに寄与するため、今後も継続して実施することが必要である。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,014	2,067	2,456	2,456	2,456
財源見込	国・県 支出金	1,163	1,194	1,418	1,418	1,418
	一般財源	851	873	1,038	1,038	1,038
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標						
実績						
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	利用者数合計 100人(R4.3.31時点)			
	進捗状況	R4(2022)	利用者数合計 108人(R5.3.31時点) 「串本町緊急通報システム運営事業実施要綱」の一部改正(R5.4.1施行) →実際の運用に合わせ、対象者についての規定を整理			
	今後の取組み方針等		本事業を通じ、一人暮らしにおける不安を払拭し、安心して日々の生活が送れることに寄与するため、今後も継続していく。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						2	高齢化社会への対応
						高齢者に優しい社会の実現	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	敬老会事業
所管	福祉課

事業の内容				
目 的		多年にわたり社会に貢献された高齢者の方々に敬意を表し、長寿を祝福するため、敬老会を開催する。また、90歳以上の方について、年齢に応じた記念品を贈呈する。		
事業の概要		毎年、敬老の日の前後に長寿をお祝いする敬老会を開催する。また、90歳以上の高齢者に対し、年齢区分に応じた記念品を贈呈する。 本事業については、各区及び婦人会等に委託して実施する。 【敬老会】 ・委託料 対象人数×1,000円 ・対象者 75歳以上の高齢者 【記念品】 ・90歳以上94歳未満 商品券 3,000円 ・95歳以上100歳未満 商品券 5,000円 ・100歳以上 商品券10,000円		
成果目標		長寿をお祝いする住民意識の高揚を図るとともに老人福祉の向上につなげるため、今後も継続して実施することが必要である。		
総合戦略	数値目標	敬老会事業	町内各地区と協力し、年1回敬老会事業を開催する(5年間累計 5回)	
	KPI			
	★			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		5,823	5,519	7,430	7,430	7,430
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	5,823	5,519	7,430	7,430	7,430
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			敬老会事業 1回	敬老会事業 1回	敬老会事業 1回	敬老会事業 1回	敬老会事業 1回
実績			敬老会事業 1回	敬老会事業 1回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	各地区等に委託した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、従来とは異なったかたちで実施。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	一部は各地区等に委託し、対応困難な地区は町で対応するなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、従来とは異なったかたちで実施。なお、一部費用は、新型コロナウイルス対応事業費の内数となっており分離困難なため、実績額には老人福祉費の該当部分のみを計上している。				
	今後の 取組み方針等		従来の敬老会事業の形で実施していく。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						3	出会い・結婚支援
						若者出会いの場創出支援	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	であいふれあい事業
所 管	企画課

事業の内容				
目 的		現在、日本全体の傾向と同じく、本町も晩婚化・未婚化の傾向が強まりつつある。経済的な理由もある一方で、若者の結婚に対する意識の変化、出会いの機会の欠如などが考えられる。 都市部と比較すると民間の婚活イベントの開催が少ない地域であるため、町が婚活イベントを実施することで、新たな男女の出会いの場を提供し、結婚に対する意識の醸成を目的とする。		
事業の概要		串本町に縁のある男性(在住・在勤・両親が在住)と全国各地の女性を対象とした、観光や体験をしながら親睦を深める事業を企画する事業所に委託し実施する。		
成果目標		H28年度からR1年度にかけて実施している年1回の婚活イベントでは、募集定員を男女各25名とし、H28年度は8組、H29年度とH30年度はそれぞれ10組、R1年度は7組のカップルが成立。 この結果を受け、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、引き続き年1回のイベントで男女それぞれ20名以上ずつの参加を目指す。また、参加者がイベント後も串本町を訪れたくなるよう、観光や体験イベントで町をアピールできる内容を企画する。		
総合戦略	数値目標			婚活イベント開催1回／年(5年間累計 5回)
	KPI	★	であいふれあい事業	

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	1,903	0	0
財 源 見 込	国・県 支出金			333		
	一般財源			570		
	その他			1,000	0	0

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			婚活イベント 1回	婚活イベント 1回	婚活イベント 1回	婚活イベント 1回	婚活イベント 1回
実績			婚活イベント 0回	婚活イベント 0回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	実施に向けての検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、婚活イベントを中止。 今後の方向性について検討。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	実施に向けての打ち合わせ・検討等を行ったが、国内での新型コロナウイルス感染症感染拡大が顕著となり、やむなく婚活イベントを中止した。 令和5年度の開催に向けて関係機関との協議を実施。				
	今後の 取組み方針等		新型コロナウイルス感染症等の状況も鑑みつつ、出会いの場の提供を行うとともに、アンケート結果等を考慮しながら、参加された方に串本町の魅力をより知っていただくために観光や体験型イベントを企画する。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						3	出会い・結婚支援
						結婚生活支援	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	結婚祝い金事業
所管	企画課

事業の内容				
目的		町民及び婚姻後本町に住民登録をし、居住する夫婦に対し、その結婚を奨励祝福し、結婚祝い金(以下「祝い金」という。)を支給することにより、町の活性化に資する。		
事業の概要		【支給対象者】 ・H22年12月1日以降に婚姻届を提出し、婚姻日から起算して90日以内であること。 ・住民基本台帳法に基づく本町の住民基本台帳に記載され、引き続き町内に在住する意思を有すること。 ・町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育料、各種町営施設使用料、各種手数料、各種貸付金並びに水道料金を滞納していないこと。 ・過去において、夫婦のいずれかが、この祝い金の支給を受けていないこと。 【祝い金の額等】 1組につき5万円を串本町商工会が発行する商品券で支給。		
成果目標		R2内閣府「少子化社会に関する国際意識調査」によると、結婚生活について不安に感じることにについて聞いたところ、日本では「結婚生活にかかるお金」が最も多いことから、これまで同様祝い金を給付することで経済的な支援を実施し、支給件数はH29年からR3年実績数の平均である25／年を目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,050	850	1,500	1,500	1,500
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	1,050	850	1,500	1,500	1,500
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			支給件数 32件	支給件数 25件	支給件数 25件	支給件数 25件	支給件数 25件
実績			支給件数 21件	支給件数 17件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	21件支給				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	17件支給				
	今後の 取組み方針等		引き続き婚姻届出者及び婚姻予定者にむけて施策の周知を行う。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						出産支援体制の充実	

事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»
------	---	---	---	---	---

事業名	不妊不育治療費助成事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		○一般不妊治療費助成事業 不妊や不育に悩む夫婦に対し、体外受精及び顕微授精を除く不妊治療及び不育治療（一般不妊治療）に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、もって一般不妊治療を受けやすい環境づくりに資することを目的とする。 ○未熟児養育医療 生後速やかに適切な処置を講ずることが必要な未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ることを目的とする。 ○生殖補助医療先進医療費助成事業（令和5年度より新規実施） 保険適用の不妊治療のうち生殖補助医療と併用して実施される先進医療に要した費用への一部助成をすることにより、その経済的負担の軽減を図ることを目的とする。		
事業の概要		○一般不妊治療費助成 【対象治療】 医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療及び不育治療 【対象経費】 一般不妊治療に要する費用の自己負担分 【助成額】 上限30,000円 ○未熟児養育医療費助成 養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行い、又はこれに代えて養育医療に要する費用を支給する。当該措置を受けた者は、徴収金を支払う。 ○生殖補助医療先進医療費助成 【対象治療】 先進医療として告示されている不妊治療とし、保険適用の生殖補助医療と併用して実施した治療 【対象経費】 先進医療に要する費用の自己負担分 【助成額】 上限50,000円		
成果目標		本人の身体的、精神的負担の軽減や、より安心、安全な妊娠、出産に資するという観点から、今後も引き続き支援が必要である。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費				691	691	691
財源見込	国・県 支出金			342	342	342
	一般財源			317	317	317
	その他			32	32	32

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			%	%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)					
	進捗 状況	R4 (2022)					
	今後の 取組み方針等		生殖補助医療(特定不妊治療)が保険適用となり、令和4年度で特定不妊治療助成事業が終了となった。しかし、保険適用外の不妊治療もあることから、引き続き不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、生殖補助医療先進医療費助成事業を制定。 今後、広報等で事業の周知を行っていく。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨	出産支援体制の充実	

事業名	出産祝金事業
所管	こども未来課

事業の内容				
目的		少子化対策と出産に対する経済的負担の軽減を図るため、出産祝金を支給し、将来の地域づくりを担う出生児の健全な育成を図ることを目的とし、第3子以降の出産に対し出産祝金を支給する。		
事業の概要		第3子に対しては10万円、第4子以降に対しては30万円の出産祝金を支給する。		
成果目標		町の出生数は減少傾向にあるが、第3子以降の出生数は横ばいであるので、少子化対策として事業を継続する。 第3子以降出産祝金 12件／年		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,500	2,800	2,500	2,500	2,500
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	1,500	2,800	2,500	2,500	2,500
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		第3子以降出産祝金 15件	第3子以降出産祝金 12件	第3子以降出産祝金 12件	第3子以降出産祝金 12件	第3子以降出産祝金 12件
実績		第3子以降出産祝金 9件	第3子以降出産祝金 15件			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	第3子:6名 第4子:2名 第5子:1名 合計9名 (町内の出生は49名)			
	進捗状況	R4(2022)	第3子:9名 第4子:4名 第5子:2名 合計15名 (町内の出生は39名)			
	今後の取組み方針等		町の出生数は減少傾向にあるが、第3子以降の出生数は横ばいであるので、少子化対策として事業を継続していく。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						各種相談・教室・健診等体制の充実	
事業年度	》	5	6	7	》		

事業名	産前・産後各種教室の支援整備事業
所管	福祉課

事業の内容				
目 的		妊産婦の不安や悩みを解消し、正しい知識を身につけて、安心して出産や子育てができるように支援する。また、同じ時期のお母さん同士の情報交流を促進し、出産後も親子そろって交流を続けられることを目的とする。また、妊産婦だけでなく夫やパートナーに対しても知識の普及や啓発、交流促進等を行う。		
事業の概要		○産前産後サポート事業 H31年度より実施。保健師・助産師・管理栄養士等をスタッフとし各会のなかで妊産婦の不安や悩みを聞き出し適切な情報提供や指導を行いながら不安や悩みの解消を図り、安心して出産や子育てに臨めるよう支援する。また、妊産婦同士の交流の場としても実施し妊産婦の孤立化防止に努める。		
成果目標		○産前産後サポート事業 15回／年		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		112	118	216	216	216
財源見込	国・県 支出金	53	57	108	108	108
	一般財源	59	61	108	108	108
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			産前産後サポート事業 14回 パパママ教室 6回	産前産後サポート事業 11回 パパママ教室 12回	産前産後サポート事業 15回	産前産後サポート事業 15回	産前産後サポート事業 15回
実 績			産前産後サポート事業 12回 パパママ教室 0回	産前産後サポート事業 13回 パパママ教室 0回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	産前産後サポート事業は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部中止とした。 パパママ教室はくしもと町立病院で実施しており、コロナ禍により入院患者への感染拡大を防ぐために外部の出入りを禁止していたため全面中止。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	産前産後サポート事業のマタニティヨガは対象者が少ないうえに、仕事を続けている方が多いことから、申込がなかったため2回中止とした。それ以外の各会については、事後アンケートからも好評であったが、やはり産前は仕事を続けている妊婦が多いため、妊婦の参加は少なかった。				
	今後の 取組み方針等		産前産後サポート事業は今後も引き続き、妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みなどをママ友・専門家・先輩ママに何でも相談できる場、お母さん同士の仲間づくりの場として開催する。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						各種相談・教室・健診等体制の充実	

事業年度	»	5	6	7	»
------	---	---	---	---	---

事業名	こんにちは赤ちゃん訪問事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげ、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的とする。		
事業の概要		・生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、育児等に関する様々な不安や悩みを聞き相談に応じるほか、子育て支援に関する情報提供等を行う。 ・親子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげる。 ・訪問結果により、支援が必要と判断された家庭について、適宜、関係者によるケース会議を行い、養育支援訪問事業をはじめとした適切なサービスの提供につなげる。		
成果目標		・訪問率を100%とする。ただし、里帰り等で訪問できなかった場合は電話連絡等で状況を把握し、未把握児を作らない。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		22	6	4	4	4
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	22	6	4	4	4
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			訪問率 100%	訪問率 100%	訪問率 100%	訪問率 100%	訪問率 100%
実績			訪問率 94%	訪問率 93%			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	訪問率94%の実績となっているが、残り6%については訪問ではなく、子育て世代包括支援センターへ母子で来所にて対応した。すべての乳児・母と対面できている。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	訪問率93%の実績となっているが、残り7%については訪問ではなく、子育て世代包括支援センターへ母子で来所にて対応した。すべての乳児・母と対面できている。				
	今後の 取組み方針等		4か月児健診を迎えるまでに、すべての家庭を訪問し、育児等に関する様々な不安や悩みを傾聴し相談に応じる。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						各種相談・教室・健診等体制の充実	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	乳幼児健康診査事業
所 管	福祉課

事業の内容				
目 的		乳幼児期の心身の健康や発達の状況を定期的に診査し、疾患や障害の可能性を早期に発見・把握し対応することを目的とする。		
事業の概要		○4か月児健診 1回／月（身体測定、内科診察、発達確認、保健指導、離乳食指導） ○10か月児健診 1回／月（身体測定、内科診察、発達確認、保健指導、離乳食指導、ブックスタート） ○1歳8か月児健診 1回／2月（身体測定、内科診察、歯科診察、発達確認、保健指導、ブラッシング指導） ○2歳6か月歯科健診・相談 1回／2月（身体測定、歯科診察、発達確認、保健指導、ブラッシング指導） ○3歳6か月児健診 1回／2月（身体測定、内科診察、歯科診察、発達確認、保健指導、ブラッシング指導）		
成果目標		・乳幼児健診後のフォローアップを確実に行之、支援の必要な母子を支援する。 保健所の発達相談などの支援事業や、親子教室への勧奨、精密検査による早期発見、治療など。 ・R4年度 受診率100%を目標とする（健診未受診者に対してはハガキや電話等受診勧奨や、園等各関係機関と連携し対象児の状況把握を実施し、未把握児ゼロを目指す）。		
総合戦略	数値目標		乳幼児健康診査事業	乳幼児健診 受診率97.5%（R1(2019)）→ 100%（R7(2025)）
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,042	2,242	2,329	2,329	2,329
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	2,042	2,242	2,329	2,329	2,329
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			受診率 97.5%	受診率 100%	受診率 100%	受診率 100%	受診率 100%
実績			受診率 96.4%	受診率 99.5%			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	受診率は100%ではないが、未受診者に対しては電話連絡し、個別問診は実施している。また、未受診者に対しては、園と連携し受診につなげている。 新型コロナウイルス感染症流行拡大期には、感染予防のため就園児の計測を簡素化し、ブラッシング指導を中止した。				
	進捗状況	R4 (2022)	受診率は100%ではないが、未受診者に対しては電話連絡し、個別問診は実施している。また、未受診者に対しては、園と連携し受診につなげている。				
	今後の取組み方針等		疾病又は異常の早期発見に努め、年齢に応じた発達を評価し、保護者とともに一人ひとりの成長発達に添った対応方法を考え、発達・生活の見通しを立てる。 乳幼児期における心身の発達の遅れやつまずきの見過ごしをゼロにする。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						各種相談・教室・健診等体制の充実	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	発達相談指導事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		乳幼児健診後の発達フォロー児の保護者が児の発達課題・発達段階について理解し、育てにくさへの「気づき」を支援することで児の豊かな発達を保障することを目的とする。		
事業の概要		・発達相談指導事業 H29年度、H30年度、H31年度 17回／年 ・公立こども園、子育て支援センター、通園施設等の協力による発達、発育の気になる親子対象の親子教室「きらきらくらぶ」、「おひさまくらぶ」 ・保健所事業への参加 医師による発達相談（年2回）、言葉の相談（年3回）、作業療法（年8回）		
成果目標		・発達相談 15回以上開催維持		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		984	1,397	1,716	1,716	1,716
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	984	1,397	1,716	1,716	1,716
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			発達相談 15回	発達相談 15回	発達相談 15回	発達相談 15回	発達相談 15回
実 績			発達相談 17回	発達相談 18回			
達成度 (%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	発達相談予約枠が満員になったことおよび新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により発達相談回数を2回追加。 発達フォローが必要な児について保護者からの相談、乳幼児健診、こども園との情報共有により把握して適切な時期に発達フォローを行った。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	児童発達支援施設での発達相談枠設定により発達相談回数を3回追加。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業の中止や日程変更を行うことがあった。発達フォローが必要な児について保護者からの相談、乳幼児健診、親子教室、こども園との情報共有により把握して適切な時期に発達フォローを各関係機関の協力のもと行った。				
	今後の 取組み方針等		引き続き、発達フォロー児の保護者が児の発達課題・発達段階について各専門の先生に相談して理解を深め、子育てを楽しめるように必要な事業につなげる。 各関係機関と情報共有・協力体制をとり、発達フォロー対象親子に必要な支援が必要な時期に受けられるようにする。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち				
						4	出産・子育て支援				
						職業と家庭生活の両立支援					
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧					
事業名		学校給食実施事業の維持・拡充									
所 管		教育課									
事業の内容											
目 的		安全・安心な学校給食を安定して提供できるよう努めるとともに、給食施設、設備等の維持及び改善に取り組む。									
事業の概要		安定して給食の提供を行えるようになってきたので、維持・充実に努める。また施設、設備については定期的な保守点検や経年劣化等による必要な修繕・交換等を行い、維持に努める。									
成果目標		給食の安定供給を目指す。									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		140,070		141,970		161,402		161,402		161,402	
財源見込	国・県支出金			13,062							
	一般財源	140,070		128,908		161,402		161,402		161,402	
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計 画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標											
実績		1年を通して安定して給食を提供することができた。		1年を通して安定して給食を提供することができた。							
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。									
		100%		100%		%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)	1年を通して安定して給食を提供することができた。								
	進捗状況	R4(2022)	1年を通して安定して給食を提供することができた。また、施設・設備については、故障等について必要な修繕を行った。								
	今後の取組み方針等		安定した給食提供を目指すとともに、経年・塩害等で劣化した施設や機械類等の修理を行っていく。また、食器類や食器籠等についても、計画的な買替を行っていく。								

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						職業と家庭生活の両立支援	
事業年度	》	5	6	7	》		

事業名	学童保育事業
所管	こども未来課

事業の内容			
目的		児童福祉法(S22年法律第164号)第34条の8第1号の規定により、保護者が就労、病気その他の理由で下校後の児童を保育することができない場合における当該児童の健全な育成を図ることを目的とする。	
事業の概要		【対象者】 町内に住所を有し、小学校(1年生から6年生)に通学する児童で、放課後家庭で保育を受けることができない児童 【現在の開設場所】(全校に学童保育所を設置(H28年度より)) ・串本学童保育所 (旧)くしもとこども園 ・古座学童保育所 串本町子育て支援センター内 ・潮岬学童保育所 私有家屋借家 ・出雲学童保育所 出雲小学校内 ・錦富学童保育所 (旧)錦富小学校 【開設時間】 平日、下校時～午後7時00分迄 土曜日、春・夏・冬休みは、午前8時00分～午後7時00分迄	
成果目標		・小学校統廃合に併せ、学童保育所の再編も検討する必要がある。 ・待機児童を出さないため、引き続き環境整備に努める。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		64,339	71,860	63,072	63,072	63,072
財源見込	国・県支出金	33,076	28,596	29,729	29,729	29,729
	一般財源	25,889	37,788	27,689	27,689	27,689
	その他	5,374	5,476	5,654	5,654	5,654

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標						
実績						
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	待機児童を出すことなく、運営できた。			
	進捗状況	R4(2022)	待機児童を出すことなく、運営できた。 令和5年1月のくしもとこども園の新施設への移転に伴い空き施設となった旧つばき園舎の改修を行って、令和5年度当初から串本学童保育所で使用することとした。			
	今後の取組み方針等		小学校統廃合に併せ、学童保育所の再編、新築の検討を行っていく。			

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						職業と家庭生活の両立支援	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶		

事業名	一時預かり事業
所管	こども未来課

事業の内容				
目的		少子化や地域社会の変化に伴い、核家族や共働き家庭が増加する中で、突発的な事情や社会参加により一時的に家庭での保育が困難になる場合や、また育児の不安や悩みを持っている保護者の負担を軽減する為、子育て支援の立場から「一時預かり事業」を実施する。(継続事業)		
事業の概要		子育て支援センターにおいて、未就園児を対象とした一般型の一時預かり事業を行う。 また、こども園において、教育認定在園児の保育時間終了後や長期休暇中に、突発的な事情や社会参加、または保護者の育児負担軽減のための一時預かり事業(幼稚園型)を実施し、保護者の社会参画、保護者の育児の負担軽減のための支援を行う。(継続事業)		
成果目標		一時預かり事業延べ人数 ()内は実施日数 【幼稚園型】 ・くしもとこども園 R2年度 10人(10日) R3年度 10人(10日) R4年度 10人(10日) R5年度 10人(10日) R6年度 10人(10日) R7年度 10人(10日) ・潮岬こども園 R2年度 782人(249日) R3年度 60人(60日) R4年度 20人(200日) R5年度 20人(200日) R6年度 20人(200日) R7年度 20人(200日) 【一般型】 ・子育て支援センター R2年度 280人(230日) R3年度 280人(230日) R4年度 280人(230日) R5年度 280人(230日) R6年度 280人(230日) R7年度 280人(230日)		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		4,625	4,426	4,426	4,426	4,426
財源見込	国・県 支出金	2,942	2,902	2,902	2,902	2,902
	一般財源	1,474	1,452	1,452	1,452	1,452
	その他	209	72	72	72	72

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			くしもとこども園 10人(10日) 潮岬こども園 60人(60日) 子育て支援センター 280人(230日)	くしもとこども園 10人(10日) 潮岬こども園 20人(200日) 子育て支援センター 280人(230日)	くしもとこども園 10人(10日) 潮岬こども園 20人(200日) 子育て支援センター 280人(230日)	くしもとこども園 10人(10日) 潮岬こども園 20人(200日) 子育て支援センター 280人(230日)	くしもとこども園 10人(10日) 潮岬こども園 20人(200日) 子育て支援センター 280人(230日)
実績			くしもとこども園 2人(2日) 潮岬こども園 7人(211日) 子育て支援センター 341人(298日)	くしもとこども園 2人(7日) 潮岬こども園 9人(190日) 子育て支援センター 149人(262日)			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	一般型の一時預かり事業については、くしもとこども園「りぼん」と社会福祉法人杉の子会「にこにこひろば」で実施。 教育認定在園児の保育時間終了後や長期休暇中に、突発的な事情や社会参加、または保護者の育児負担軽減のための一時預かり事業(幼稚園型)については、くしもとこども園と潮岬こども園で実施。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	一般型の一時預かり事業については、くしもとこども園「りぼん」と社会福祉法人杉の子会「にこにこひろば」で実施。 教育認定在園児の保育時間終了後や長期休暇中に、突発的な事情や社会参加、または保護者の育児負担軽減のための一時預かり事業(幼稚園型)については、くしもとこども園と潮岬こども園で実施。				
	今後の 取組み方針等		一般型の一時預かり事業については、くしもとこども園「りぼん」と社会福祉法人杉の子会「にこにこひろば」で実施していく。 教育認定在園児の保育時間終了後や長期休暇中に、突発的な事情や社会参加、または保護者の育児負担軽減のための一時預かり事業(幼稚園型)については、くしもとこども園と潮岬こども園で実施していく。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						職業と家庭生活の両立支援	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶		

事業名	病児・病後児保育事業
所 管	こども未来課

事業の内容			
目 的		保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与するため、児童が病気の治療中又は回復期にあり、家庭や集団での保育が困難な場合において、当該児童を適切な処遇が確保される施設であるくしもと町立病院内の病児保育室において一時的に保育を行う	
事業の概要		・かかりつけ医による病児保育が利用可能である証明を受け、利用申請を行う。病児保育室に保育を担当する保育士、看護師を配置し、安心して過ごせる環境で一時的な保育を行う。 ○対象児童は串本町に住所を有していること。ただし、定員に空がある場合には、保護者が町内に勤務する町外の方も可とする。生後8ヶ月から小学校3年生までの者。 保護者の就労、傷病、冠婚葬祭等の理由により、家庭での保育が困難な状況である者。 ○対象となる病気は ・風邪、下痢などの腸炎等、日常的にかかる疾患 ・インフルエンザ、おたふくかぜ、水痘等の伝染性疾患（麻疹は除く） ・喘息などの慢性疾患 ・骨折、熱傷などの外傷性疾患 ※いずれも急性期は過ぎているが、こども園等での集団生活が困難な場合。 ○利用時間 午前8時から18時まで（土・日・国民の祝日、12月29日～1月3日は休みとする。） ○利用期間 原則として連続7日間を限度とする ○利用定員 1日4名	
成果目標		・保護者の子育てと就労の両立を支援すると共に安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上をはかる。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,272	1,500	1,500	1,500	1,500
財 源 見 込	国・県 支出金	776	906	906	906	906
	一般財源	389	454	454	454	454
	その他	107	140	140	140	140

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績			年間延べ人数60人	年間延べ人数 90人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与するため、児童が病気の治療中又は回復期にあり、家庭や集団での保育が困難な場合において、当該児童を適切な処遇が確保される施設であるくしもと町立病院内の病児保育室において実施。 年間延べ人数 60人				
	進捗状況	R4 (2022)	年間延べ人数 90人				
	今後の取組み方針等		保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与するため、児童が病気の治療中又は回復期にあり、家庭や集団での保育が困難な場合において、当該児童を適切な処遇が確保される施設であるくしもと町立病院内の病児保育室において実施。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						子育て環境支援	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	家庭内育児支援事業
所管	福祉課

事業の内容				
目的		保護者が、子どものことで気がかりや悩みが出てきた際の、気軽に相談できる場又は仲間づくりの場を提供し、孤立することなく今後の子育ての見通しが立てられるよう支援することを目的とする。		
事業の概要		・広報活動 子育てに関する部門が集まって一本化したパンフレットを作製・配布 ・子育て支援ネットワーク会議の開催を継続し、情報共有する。 ・赤ちゃん訪問や健診の場で保護者との関係づくり(保健師) ・各支援センターへの保健師訪問の実施		
成果目標		保護者が子育てに関する気がかりや悩みを相談できる場・人を利用することができ、不安を持ちながらも子育てを前向きに捉えられる保護者が増えること。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		210	175	216	216	216
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	210	175	216	216	216
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	子育て支援関係機関に問い合わせを行い、パンフレットの内容を更新・作製・配布。私立の運営する支援センターへの訪問は未実施。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	子育て支援関係機関に問い合わせを行い、パンフレットの内容を更新・作製・配布。公立支援センター協力のもと、妊娠期から気軽に相談できる場・仲間ができるような産前産後事業を展開。子育て支援ネットワーク会議で関係機関と子育てに関する学習の機会を設定。公立支援センターと親子について電話や親子教室の時に情報交換。私立の運営する支援センターへの訪問は未実施。				
	今後の 取組み方針等		子育て支援について問い合わせする際にわかりやすいパンフレットを作成・配布。ホームページや広報で最新の子育て支援に関する情報発信。子育て支援ネットワーク会議の開催で関係機関と知識・技術を共有。各支援センターと親子についての情報共有。赤ちゃん訪問・乳幼児健診・電話・来所相談等で保護者との関係づくりを実施。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						子育て環境支援	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	子育て支援センター事業
所管	こども未来課

事業の内容			
目 的		少子化や核家族化による地域社会の変化により、子どもや子育てを巡る環境が大きく変化し、家庭や地域での子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感・不安感といった多くの問題が生じている。 子育て支援センターを設置することにより、保育所、こども園等に通所前の、在宅で育児をしている親子の交流を促進し、育児に関する相談を受けることで、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することを目的とする。	
事業の概要		社会福祉法人杉の子会の子育て支援センター「にこにこ広場」及びくしもとこども園の子育て支援センター「りぼん」において、地域の子育て支援機能の充実を図っている。 (事業内容) ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ⑤保護者が一時的に家庭での保育が困難となった場合や育児疲れなどの負担軽減のため、未就園児の一時預かり保育事業を実施	
成果目標		【講演会の開催 年7回】 令和5年度は ベビーマッサージ講習会 年6回、保護者学習会 年1回 合計7回の講習会を開催する。 保護者交流会としてワークショップ 年4回 実施する。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)					
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
事業費		12,678	19,921	19,921	19,921
財源見込	国・県支出金	8,452	13,280	13,280	13,280
	一般財源	4,226	6,641	6,641	6,641
	その他				

進捗状況／今後の取組み方針					
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計 画	
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R7(2025)
目標			講習会の開催 年7回	講習会の開催 年7回 保護者交流会 年4回	講習会の開催 年7回 保護者交流会 年4回
実績	保護者1,439人 子ども1,758人		講習会 年7回開催 ベビーマッサージ講習会 6回 保護者学習会 1回		
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
		100%	100%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	子育て支援センターについては、くしもとこども園内の「りぼん」と、社会福祉法人杉の子会へ事業委託の2か所で実施。		
	進捗状況	R4(2022)	講習会として、ベビーマッサージ年6回、保護者学習会年1回、合計7回の講習会を実施した。		
	今後の取組み方針等		子育て支援センターについては、くしもとこども園内の「りぼん」と、社会福祉法人杉の子会へ事業委託の2か所で実施する。		

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						子育て環境支援	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨
------	---	---	---	---	---

事業名	第2子以降に係る保育料及び副食費助成制度
所管	こども未来課

事業の内容				
目 的		県の施策である紀州っ子いっぱいサポート事業として、第2子以降の保育料及び第3子以降の副食費の無料化が取り組まれている。串本町においても、多子世帯が安心して子育てができる支援体制を構築し、少子化対策の推進を行うことを目的とする。		
事業の概要		条例整備等を行い、町内のこども園、児童発達支援センター等に通園、通所する第2子以降の子どもの保育料及び第3子以降の副食費を無料とする。		
成果目標		国、県の制度に添った支援を継続し、子育て世帯に対する支援の取組により安心して産む育てることができる地域環境の構築を図る。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		10,960	7,140	5,922	5,922	5,922
財源見込	国・県 支出金	5,480	3,570	2,961	2,961	2,961
	一般財源	5,480	3,570	2,961	2,961	2,961
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	通年で実施				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	通年で実施				
	今後の 取組み方針等		国及び県の制度に沿った支援を継続していく。				

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						子育て環境支援	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	児童虐待等による相談業務の充実						
所管	こども未来課						

事業の内容							
目的		児童虐待等への早期対応、防止対策として、地域、関係機関との連絡・調整機関としての役割を推進し、児童の健全育成支援対策を進める。					
事業の概要		児童虐待に関する相談や通報に応じる。関係機関と連携して児童相談所、学校・教育委員会、こども園、保健センター（子育て世代包括支援センター）、医療機関等の関係機関との情報共有を行う。児童相談所と連携しながら、状況に応じて訪問や面談を行う。					
成果目標		地域における関係機関との連絡・調整機関としての役割を果たすことで、児童虐待等への早期対策を図り、児童の健全育成を行う。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		50	50	50	50	50
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	50	50	50	50	50
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目 標						
実 績						
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。			
			100%	100%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	関係機関と連携を図りながら対応を実施した。			
	進 捗 状 況	R4 (2022)	「子ども家庭総合支援拠点」の機能を子育て世代包括支援センターとこども未来課で実施できているので、R4.10付けで「子ども家庭総合支援拠点」設置となりました。			
	今後の 取組み方針等		努力義務となっている「こども家庭センター」設置に向けて関係課と協議をしていく。			

基本目標Ⅲ

郷土愛あふれる教育のまち

基本目標Ⅲ	1	学校教育の充実
	2	生涯学習・スポーツの推進
	3	青少年健全育成の推進
	4	文化交流の推進
	5	歴史・文化・芸術の振興

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
						教育環境の整備・充実	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	小中学校統廃合の検討推進事業
所管	教育課

事業の内容			
目的		児童生徒が活力ある教育環境の中で、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばせるよう、適正規模の学校づくりを目的とする。	
事業の概要		統廃合を進めるにあたっては、保護者及び就学前児童保護者に対する統廃合に関するアンケート調査や各地区において説明会等を開催し、地域住民の理解と同意を得ながら児童にとって最良な学校統廃合を慎重に推進する。	
成果目標		当面は、令和8年4月開校予定である統合小学校建設にむけた串本小、橋杭小の統合の準備をし、校舎完成時には、スムーズに学校運営が出来るよう準備を進める。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)					
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
事業費		—	—	—	—
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

進捗状況／今後の取組み方針					
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計画	
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目標					
実績					
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
		25%	25%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	出雲小学校保護者及び未就学児童の保護者に対し、統合小学校(R8年4月開校予定)についてアンケート調査及び建設説明会を実施したが、反対意見が多く理解が得られなかった。		
	進捗状況	R4(2022)	平成18年に教育環境整備審議会から出された答申をもとに進めてきたが、前回答申からかなり年月が経過していることから、令和4年度に新たに審議会を設置(委員10名)し、小中学校の統廃合について諮問を行い、令和5年3月に新たな答申書を提出いただいた。		
	今後の取組み方針等		小中学校の統廃合については、新たに教育環境整備審議会から出された答申書をもとに進めていきたい。(中長期的)		

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
						教育環境の整備・充実	
事業年度	»	5	6	7	»		

事業名	学校給食を通じた食育の推進						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		安全・安心な学校給食を提供するとともに、学校給食を通じて、児童生徒が体に必要な栄養素や健康的な食生活、また食文化や食材の旬、産地、生産者等について、理解と関心を深めることを目的とする。					
事業の概要		旬の食材や季節行事、地場産物、地域の歴史や文化に関連した食材や献立を学校給食に取り入れ、日本の食文化や串本町について学習するための生きた教材として活用する。また学校と連携し、教科に関連つけた指導ができるような献立や資料を提供する。					
成果目標		「給食だより」の発行については、年3回以上とする。					
総合戦略	数値目標	★	学校給食を通じた食育の推進		学校給食における地場産物活用割合 40％(和歌山県目標値40％) 「給食だより」年 3回以上発行(5年間累計 15回以上)		
	KPI	★					

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		地場産物活用割合 40％ 「給食だより」発行 3回 食育指導(各学校)1回	地場産物活用割合 40％ 「給食だより」発行 3回	地場産物活用割合 40％ 「給食だより」発行 3回	地場産物活用割合 40％ 「給食だより」発行 3回	地場産物活用割合 40％ 「給食だより」発行 3回
実績		地場産物活用割合 40.9％ 「給食だより」発行 1回 食育指導 13校中5校	地場産物活用割合 38.8％ 「給食だより」発行 3回			
達成度(％)		0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％……目標通り達成できた。				
		50%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	地場産物活用割合については、地元産の農水産物を多く納入してもらうことができ、目標を達成することができた。「給食だより」及び食育指導については、栄養教諭が年度半ばで産休・育休に入ったこともあり、達成できなかった(食育指導・5校)。			
	進捗状況	R4 (2022)	地場産物活用割合については、月によっては地元産の農水産物の納入が少なく、目標を1.2％%下回った。「給食だより」については達成できた。			
	今後の取組み方針等		食育指導については、自校で独自に行っていたり、栄養教諭による授業時間を確保できない学校があるため、全部の学校を訪問することが困難。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
						教育環境の整備・充実	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	串本古座高等学校との協力及び連携事業
所管	教育課・総務課

事業の内容				
目的		串本古座高等学校の魅力化及び活性化を図る。		
事業の概要		串本古座高等学校の魅力化及び活性化に向けて、H28年7月に地域協議会を設立、H29年度からの全国募集をサポートしている。串本古座高校地域協議会にコーディネーターを置き、行政との連携及び地域の多様な教育資源を活用したグローバルコースのカリキュラムの確立及び広報活動を行う。 公立学校として全国初となる「宇宙探求コース」や「地域探求コース」「文理探求コース」の設置に向けた支援・協力を行う。		
成果目標		全国募集を実施し、3年間（R2年度～4年度）で10名の入学希望者を目標とする。 全国募集を実施し、3年間（R5年度～7年度）で15名の入学希望者を目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		5,261	5,877	7,500	7,500	7,500
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	5,261	5,877	7,500	7,500	7,500
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			入学希望者 3名	入学希望者 4名	入学希望者 5名	入学希望者 5名	入学希望者 5名
実績			入学者 6名	入学者 12名			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	リモートでの説明にも慣れ、効果的にPRできたことで、目標3名に対して6名の希望者を募ることができた。(入学実績も同じく6名)				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	2018年に開設した校内塾「くろしお塾」を利用する生徒が増加したことにより、生徒個人の学力向上、進学実績に大きな成果をあげている。この取り組みが認知されてきたことで全体的に入学希望者が増えてきている。				
	今後の 取組み方針等		R4年度の入学者は12名と大幅増となったが、この状態が毎年続くとは考えにくく、更に、魅力ある高校生活のPRと受け入れ体制の充実を図っていかなければならない。そして受け入れ体制の充実や、希望者が増えることによる予算の増額等について、地域協議会において理解と協力を求めていく必要がある。				

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
						特色ある教育の推進	

事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》
------	---	---	---	---	---

事業名	小中学生ポップコンクール事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		学校教育において読む力、書く力の不足及び自己表現力の向上が課題となっていることから、自分が読んだ本のオススをポップとして表現し、そのコンクールを町内の小中学校全体で行うことにより、個々の表現力を高め町内の小中学校全体での読書推進を図ることを目的とする。		
事業の概要		町内の小学校4年生から中学校3年生までを対象として、ポップコンクールを実施する。各部門において優秀賞・最優秀賞を決定し、表彰を行い、結果を町内の各小中学校で共有する。		
成果目標		読書推進に繋げていくため、学校の協力を得て毎年の定例行事として定着していくことを目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		18	18	18	18	18
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	18	18	18	18	18
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目 標						
実 績			応募人数 小学生の部 151人 中学生の部 210人	応募人数 小学生の部 126人 中学生の部 210人		
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。			
			100%	100%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	参加率が100%の学校もあり定例行事として定着している。 応募人数 小学生の部 151人 中学生の部 210人			
	進 捗 状 況	R4 (2022)	参加率が100%の学校もあり定例行事として定着している。 応募人数 小学生の部 126人 中学生の部 210人			
	今後の 取組み方針等		引き続き学校を通じた周知・協力依頼を行う。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
						特色ある教育の推進	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨
------	---	---	---	---	---

事業名	中学生ビブリオバトル事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		学校教育において読む力、書く力の不足及び自己表現力の向上が課題となっていることから、自分が読んだ本のオスズメを自分の言葉で表現するコンテストを開催することにより、生徒が大衆の面前で自分の感想や意見をはっきりと主張できる力を養い、同時に読書推進に繋げていくことを目的とする。		
事業の概要		町内の各中学校で校内予選を行い、各中学校より選抜された生徒で町大会を行う。町大会では、チャンプ本(優勝者)・準チャンプ本(準優勝者)を決定し、チャンプ本に選出された者は和歌山県大会に出場する。		
成果目標		読書推進に繋げていくため、学校の協力を得て毎年の定例行事として定着していくことを目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)					
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
事業費		12	11	11	11
財源見込	国・県支出金				
	一般財源	12	11	11	11
	その他				

進捗状況／今後の取組み方針					
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計画	
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目標					
実績		参加人数 中学生 4人 高校生 1人	参加人数 中学生 6人 高校生 1人		
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
		100%	100%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	中学生の部で2年連続で県チャンプ本を獲得した生徒が高校生になり、高校生の部を開催。県大会高校生の部においてチャンプ本を獲得。		
	進捗状況	R4 (2022)	R3年度に続き高校生の部を開催。県大会高校生の部においてチャンプ本を獲得。県大会中学生の部でも決勝進出。		
	今後の取組み方針等		学校を通じた周知・協力依頼を行う。		

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
事業年度						特色ある教育の推進	

事業名	歴史・文化財の保存継承事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		郷土の貴重な財産である歴史的資料を次世代に保存継承する使命、責務がある。郷土の自然環境の保護、保存についての認識を深め、その活用を促進することを目的とする。		
事業の概要		郷土資源の認識を深める学習の場の提供と啓発に努める。文化財保護の意識高揚や笠島遺跡出土品の周知並びに活用、また、郷土資料収集に取り組む。		
成果目標		認識を深め、郷土の豊かな自然や文化に関心を持ってもらう。 収集した郷土資料を整理し、将来大切な教材として有効活用できる体制をつくる。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		380	380	380	380	380
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	380	380	380	380	380
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			郷土資料の収集・活用	郷土資料の収集・活用	郷土資料の収集・活用	郷土資料の収集・活用	郷土資料の収集・活用
実績			笠島遺跡出土品管理委託 郷土資料収集 8件 郷土資料貸出(展示) 3件	笠島遺跡出土品管理委託 郷土資料収集 3件 郷土資料貸出(展示) 2件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	笠島遺跡出土品については、例年通り応挙芦雪館に保管・公開を委託した。 郷土資料の収集については、ふご編み機や長持、ケンケンに関する資料などを収集した(8件)。 また、展示会等に郷土資料の貸し出しを行った(3件)。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	笠島遺跡出土品については、例年通り応挙芦雪館に保管・公開を委託した。 郷土資料の収集については、バイ籠みやサデ、土門拳に関する資料などを収集した(3件)。 また、展示会等に郷土資料の貸し出しを行った(2件)。				
	今後の 取組み方針等		郷土資料等の収集・保護に努める。 展示会への貸し出し等を行い、周知活用に努める。				

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						1	学校教育の充実
						教職員教育体制の充実	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	教職員研修
所管	教育課

事業の内容				
目的		ベテラン教員の定年退職と若手教員の大量採用に伴い、串本町においても各学校における若手教員の割合が高くなってきている。また、学習指導要領の改訂に伴って、プログラミング教育、キャリア教育、小学校における外国語教育と、新しい教育内容が増えてきている中、これからの教育に対応するため、教員の資質・能力を向上させるための研修を充実させていくことは、必要なことである。		
事業の概要		学力向上・生徒指導に係る研修はもとより、新しい学習指導要領に則った教育に対応するため、プログラミング教育、英語教育など和歌山県が主催する各種研修や串本町教育委員会が主催する研修に、各校から教員が積極的に参加するよう促す。出席した教員は、その研修内容を各校に持ち帰り、校内伝達研修を行い、若手教員が学ぶ機会を多く設ける。		
成果目標		・対象者全員が参加し、研修内容は自校に持ち帰って伝達、共有することを求める。 ・各校が実施するアンケート等で地域や子どもの実態に則した教育が行われているかを問う項目において、8割以上が肯定的な意見となることを目指す。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)					
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
事業費		—	—	—	—
財源見込	国・県支出金				
	一般財源				
	その他				

進捗状況／今後の取組み方針					
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計画	
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目標	10回		10回	10回	10回
実績	7回		10回		
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
		75%	100%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	計画時には10回実施する計画だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響や大雨警報発令による中止があり、回数を減らして実施した。ICT機器を活用したオンライン型での開催も実施することで、昨年度よりかは柔軟に実施することができた。参加した教員からは、R2年度同様に肯定的な意見が多く、研修内容の要望もあげられ、そのニーズに答えることもできた。		
	進捗状況	R4(2022)	計画した内容・日時で実施することができた。 若手教員の増加は、ここ数年継続して初任者を採用してきた結果で、採用5年未満の若手教員が町内どの学校にも1～5人程度いる現状で、指導力・授業力向上が急務となる中、教育委員会主導で研修を実施できたことはよかった。		
	今後の取組み方針等		引き続き、若手教員を中心に研修を実施し、授業力向上につなげていく。また、その研修で、中堅・ベテランの先生にもかかわっていただくことで、学校現場全体で研修を進めていく。また、ICT活用研修も実施し、GIGAスクール構想で配布された一人1台端末の有効活用をより一層進めていく。		

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち				
						2	生涯学習・スポーツの推進				
						生涯学習・趣味活動支援					
事業年度		⌵	⑤	⑥	⑦	⌵					
事業名		老人クラブ助成事業									
所 管		福祉課									
事業の内容											
目 的		仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして地域の各団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とする。									
事業の概要		【団体数】 44団体（R5年4月1日現在） 【会員資格】 60歳以上の高齢者 【会員数】 1,499名（R5年4月1日現在） ＜事業内容＞ ・老人クラブに関する調査研究（全国老人クラブ大会等への出席） ・老人クラブ指導者の育成（単位老人クラブ指導者研修会、女性リーダー研修会等への出席） ・老人健康増進と老人福祉の広報宣伝（グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、囲碁・将棋大会、レクリエーション大会の開催） ・その他目的達成に必要な事業									
成果目標		・地域高齢者の健康づくり、介護予防活動 ・在宅高齢者やその家族を支援する友愛活動 ・安全、安心の住みよいまちづくりを目指すボランティア活動 ・老人クラブの組織活動の強化 ・老人クラブ会員数 1,499名（R5） → 会員数維持（R7）									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算（単位：千円）											
		R3（2021）		R4（2022）		R5（2023）		R6（2024）		R7（2025）	
事業費		1,988		1,978		2,148		2,148		2,148	
財源見込	国・県支出金	1,164		1,158		1,158		1,158		1,158	
	一般財源	824		820		990		990		990	
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計 画					
		R3（2021）		R4（2022）		R5（2023）		R6（2024）		R7（2025）	
目標		会員数 1,882名		会員数 1,582名		会員数 1,499名		会員数 1,499名		会員数 1,499名	
実績		会員数 1,639名		会員数 1,499名							
達成度（％）		0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％…目標通り達成できた。									
		25%		25%		%		%		%	
説明	【済】	R3（2021）	新型コロナウイルス感染症の影響により、レクリエーション大会などを中止した。また、R2同様に各地区単位の老人クラブにおいても十分な活動は行えなかった。								
	進捗状況	R4（2022）	新型コロナウイルス感染症の影響により、レクリエーション大会などを中止した。また、R3同様に各地区単位の老人クラブにおいても十分な活動は行えなかった。								
	今後の取組み方針等		新型コロナウイルス感染症にかかる制限はなくなったものの、対象者が高齢者であるため、今後も必要な感染対策を行いつつ、老人クラブの活動を行っていくことで、会員数の維持を図る。								

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						2	生涯学習・スポーツの推進
						生涯学習・趣味活動支援	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	文化自主事業公演助成事業
所管	教育課

事業の内容			
目的		町民が普段触れることのできない質の高い芸術に親しむ機会を提供し、地域芸術文化の向上を目的とする。	
事業の概要		2年に一度、文化自主事業実行委員会により文化自主事業公演を実施。 公民館サークル活動を行っている各種団体等の代表者で構成した串本町文化自主事業実行委員会にて内容を検討し、質の高い芸術公演等を開催する。 自主財源の文化自主事業公演を実施しない年度に宝くじ公演を開催できるよう、県へ申請を行う。 宝くじ公演は県による抽選で決定されるため、空白の年度に毎回実施できるわけではない。	
成果目標		自主財源・宝くじ公演関わらず、公演を開催した場合は定員の9割を目標とする。(600席なら540席、感染症等を考慮して半分の300席を定員とした場合は270席)	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	127	—	2,000	—
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源		127		2,000	
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				公演来場者 270人		公演来場者 540人	
実績				チケット販売数:268枚 当日来場者:208名 (スタッフ除く)			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	コロナ禍のため、リスクのない宝くじ公演をR2に申請したが採択されなかった。				
	進捗状況	R4 (2022)	目標である270枚と遜色ない268枚のチケットを販売した。 令和5年度の宝くじ公演について、申請はしたが採択には至らなかった。				
	今後の取組み方針等		質の高い芸術に親しむ機会を提供する本事業は有意義であるため、町民が文化に触れる機会をコロナ前の水準に近づけるべく、計画に沿って公演を実施していきたい。 限られた町の財源を使用せずに公演が実施可能である宝くじ公演も、引き続き申請を継続する。				

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						2	生涯学習・スポーツの推進
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	生涯学習・趣味活動支援	

事業名	成人教育講座開設事業
所管	教育課

事業の内容			
目的		現代社会における問題や地域教育に関すること等の学習機会の拡大や人間の尊厳や基本的人権に係る学習の推進を図る。また、諸問題・課題に対する理解や解決に結びつけ、命の大切さ等再認し、幸福で有意義に過ごせる町づくりを目指す。	
事業の概要		町内公民館支館及び分館において、人権学習、平和学習、家庭教育、地域課題、社会問題、趣味、レクリエーションなど実施し、成人に対する学習機会を設定するとともに、現代社会における課題に対応した学習を図る。	
成果目標		R2年度8支館24講座 延べ500人 R3年度7支館21講座 延べ400人 R4年度8支館24講座 延べ450人 R5年度7支館21講座 延べ350人 R6年度8支館24講座 延べ450人 R7年度7支館21講座 延べ350人	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		60	240	210	240	210
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	60	240	210	240	210
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			21講座 延べ400人	24講座 延べ450人	21講座 延べ350人	24講座 延べ450人	21講座 延べ350人
実績			4講座 延べ385 人	14講座 延べ254人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止となった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止となった。 各支館に紹介していた地域包括支援センターからの派遣事業の活用事例があった。				
	今後の 取組み方針等		人権学習の推進を図り、成人の学習機会の提供に取り組む。 役場からの派遣事業の紹介なども継続していく。				

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						2	生涯学習・スポーツの推進
						生涯学習・趣味活動支援/スポーツ活動支援	

事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶
------	---	---	---	---	---

事業名	生涯教育・スポーツ・趣味活動支援
所管	教育課

事業の内容				
目 的		町民の多様な要望に応えるため、関係機関や団体との連携を図り、学習、鑑賞、創造活動を計画的かつ効果的に推進し、地域の暮らしに根づいた文化の創造発展に寄与する。また、各種大会を通じて、お互いの親睦と交流を深めると共に健康保持、体力増進、スポーツの普及振興に努める。		
事業の概要		生涯学習の取組として、公民館活動、各種教室、町民総合展、音楽祭等を開催。スポーツ活動では、歩こう会や各種スポーツ大会等を開催する。		
成果目標		生涯教育教室 10回／年、生涯スポーツ各種大会開催10回／年、町民大運動会1回／年、歩こう会 1回／年 高齢者スポーツ大会開催3回／年 本館講座等48回／年 支館講座等700回／年		
総合戦略	数値目標	生涯学習・スポーツ・趣味活動支援	公民館講座 12回／年以上(5年間累計 60回以上) 講演会・町民総合展・音楽祭・各種スポーツ大会 1回／年開催(5年間累計 延べ20回以上)	
	KPI			
	★			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		12,642	11,807	11,807	11,807	11,807
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	12,642	11,807	11,807	11,807	11,807
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度	評価・検証【済】		評価・検証	計 画		
	R3(2021)		R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標	公民館講座 12回 講演会 1回 町民総合展 1回 音楽祭 1回 各種スポーツ大会 1回		公民館講座 12回 町民総合展 1回 音楽祭 1回 各種スポーツ大会 1回	公民館講座 12回 町民総合展 1回 音楽祭 1回 各種スポーツ大会 1回	公民館講座 12回 町民総合展 1回 音楽祭 1回 各種スポーツ大会 1回	公民館講座 12回 町民総合展 1回 音楽祭 1回 各種スポーツ大会 1回
実績	公民館講座 12回 講演会 1回 町民総合展 1回 音楽祭 0回 各種スポーツ大会 1回		公民館講座 12回 町民総合展 1回 音楽祭 1回 各種スポーツ大会 1回			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	町民総合展はコロナ禍においてもイベントの性質上、感染対策の上で実施することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響で、町民音楽祭は中止。 講演会、講座、各種スポーツ大会は、状況を見ながら実施することができた。			
	進捗状況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染対策を実施しつつ、4年ぶりに町民音楽祭を開催した。 町民総合展は継続実施ができた。 講座、スポーツ大会等は状況を考慮しながら実施ができた。			
	今後の取組み方針等		R4年度より講演会は人権講演会へ集約。 住民が各事業により参加しやすい環境を考慮していく。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						2	生涯学習・スポーツの推進
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»	スポーツ活動支援	

事業名	町民大運動会事業						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		町民の多くが運動会に参加することにより、スポーツ、レクリエーションに親しむ機会を提供し、町民相互の親睦や健康意識を高めることを目的とする。					
事業の概要		串本町内全域から参加し、地区対抗種目や、防災に関する種目もあり、一般参加される方も楽しめる運動会を開催する。					
成果目標		運動会の実施 参加者数2,000人 参加地域数17地区					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	1,200	1,200	1,200
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源			1,200	1,200	1,200
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		2, 000人 17地区	2, 000人 17地区	1, 500人	1, 500人	1, 500人
実績		0人 0地区	0人 0地区			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	町民のみの参加ではあるが、2,000人以上が密集するイベントであるため新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、7月に中止を決定した。関係各所の準備や賞品の確保があるため、開催や中止の判断を8月以降にするのは難しい。			
	進捗状況	R4 (2022)	町民のみの参加ではあるが、2,000人以上が密集するイベントであるため新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、7月に中止を決定した。関係各所の準備や賞品の確保があるため、開催や中止の判断を8月以降にするのは難しい。			
	今後の取組み方針等		地域により参加の熱量も異なり、参加者の確保が年々難しくなっている。休日仕事の町民もいることに加えて、延期等になれば世話役や参加者の負担も増大する。 午前中でイベントを終える、延期日は設けない、地区の区分を変更するなど、方針転換が必要である。 関係者と協議を重ねて、方向性を決めたい。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						2	生涯学習・スポーツの推進
						スポーツ活動支援	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	総合運動公園等管理事業
所 管	教育課

事業の内容				
目 的		地域住民やキャンプ誘致活動における利用者が快くスポーツができる機会と場所を提供するため、社会教育施設・総合運動公園の整備充実を図るものとする。		
事業の概要		既存施設及び総合運動公園の天然芝の管理については、良好な状態を維持するため、整備充実に努める。なお、総合運動公園施設については、R2年度から指定管理者制度へ移行した。		
成果目標		【H30年度実績】 野球場5,857人、多目的グラウンド11,409人、テニスコート9,005人、雨天練習場2,249人 計28,520人 H30年度実績以上の利用者となることを目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		67,900	67,925	67,925	67,925	67,925
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	67,900	67,925	67,925	67,925	67,925
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		野球場 5,857人 多目的グラウンド 11,409人 テニスコート 9,005人 雨天練習場 2,249人	野球場 5,857人 多目的グラウンド 11,409人 テニスコート 9,005人 雨天練習場 2,249人	野球場 5,857人 多目的グラウンド 11,409人 テニスコート 9,005人 雨天練習場 2,249人	野球場 5,857人 多目的グラウンド 11,409人 テニスコート 9,005人 雨天練習場 2,249人	野球場 5,857人 多目的グラウンド 11,409人 テニスコート 9,005人 雨天練習場 2,249人
実績		野球場 2,522人 多目的グラウンド 5,850人 テニスコート 1,451人 雨天練習場 5,340人	野球場 6,557人 多目的グラウンド 7,810人 テニスコート 2,870人 雨天練習場 9,558人			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	新型コロナウイルス感染症によりイベント、スポーツ合宿のキャンセルが発生。利用者はH30の数値に届いていない。指定管理になり施設は丁寧に管理されている。			
	進捗状況	R4(2022)	目標合計28,520人に対し実績合計26,795人とほぼ目標を達成。指定管理になり施設は丁寧に管理されている。			
	今後の取組み方針等		利用者を増やすため南紀エリアスポーツ合宿推進協議会、スポーツクラブNAS株式会社、宿泊施設等と連携し誘致活動を行っていく。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						3	青少年健全育成の推進
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨	地域ぐるみの活動促進	

事業名	コミュニティスクール推進事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		地域住民及び保護者等の学校運営への参画と協働を進めることにより、学校、地域住民及び保護者等との連携を深め、地域に開かれ信頼される学校づくり並びに学校、家庭及び地域が一体となって、子どもの育ちや学びを支えるとともに、子どもも大人も共に育ち、育て合う「共育コミュニティ」の取組を推進していくことを目的とする。		
事業の概要		地域住民や保護者等が学校運営に参画するため「学校運営協議会」を設置し、学校運営の基本方針の承認や課題解決のための具体的な手立てを協議する。また、「共育コミュニティ」の取組として、学校運営協議会での協議を踏まえ、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を実施する。		
成果目標		共育コミュニティの取組を継承し、活動を継続するとともに、学校運営協議会の多様な活用を推進し、活動内容の充実を図る。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		872	1,507	1,579	1,579	1,579
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	872	1,507	1,579	1,579	1,579
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		開催 150件	学校運営協議会 20回	学校運営協議会 20回	学校運営協議会 20回	学校運営協議会 20回
実績		開催 36件	学校運営協議会 27回			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		25%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	コロナ禍の状況により、例年どおり活動できず、達成度が低くなった。			
	進捗状況	R4(2022)	目標を達成できた。			
	今後の取組み方針等		ふるさとを愛し、ふるさに誇りを持てる児童・生徒の育成に取り組んでいく。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						3	青少年健全育成の推進
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶	地域ぐるみの活動促進	

事業名	読み聞かせ会事業及び読書活動の推進						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		学校教育において読む力、書く力の不足が課題となっていることから、小中学生に対して本に興味を持ち、本を通して個々の表現力を高める活動を推進するとともに、幼少期より本に慣れ親しむ活動を推進することで、読書好きな子どもの育成はもとより、豊かな想像力、集中力、コミュニケーション能力等の向上を目指す。					
事業の概要		主に3歳以上の子供を対象として、串本町図書館において毎月1回(年間12回)、「ぶっくらぶ」による読み聞かせ会のほか、折紙や手遊び等を実施し、親子のコミュニケーションを図る機会を提供する。図書館から遠く離れた地域の方にもより多く自動車文庫による出張貸出を推進する。					
成果目標		読み聞かせ事業は少子化による児童の減少が課題であるが、串本町図書館が地域保健福祉センター内に仮移転する機会を捉え、広報活動を充実し、H30実績(40人)の維持を目指す。自動車文庫の配車場所を開拓する。(H30年度19箇所)					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		121	104	104	104	104
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	121	104	104	104	104
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		読み聞かせ会 40人 自動車文庫配車場所開拓 19箇所	読み聞かせ会 40人 自動車文庫配車場所開拓 19箇所	読み聞かせ会 40人 自動車文庫配車場所開拓 19箇所	読み聞かせ会 40人 自動車文庫配車場所開拓 19箇所	読み聞かせ会 40人 自動車文庫配車場所開拓 19箇所
実績		読み聞かせ会 54人 自動車文庫配車場所開拓 22箇所	読み聞かせ会 43人 自動車文庫配車場所開拓 22箇所			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	新型コロナウイルス感染症による中止(8月)があり全11回の開催となったが目標を達成。			
	進捗状況	R4(2022)	図書館改修工事のため2月3月の読み聞かせ会を中止。目標は達成。			
	今後の取組み方針等		よみきかせ会についてこども園等を通じた周知を行う。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						3	青少年健全育成の推進
						地域ぐるみの活動促進	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	子ども会・青少年育成事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		青少年に学習活動や社会参加を促し、自己の発見・生きがいを見つけ、豊かな心を育むための具体的な諸施策を講ずる。 また、町内各種団体の協力を得て各小学校区に子ども会を組織し、自然体験や社会体験などを通して生きる力を育み、子ども達の健やかな成長を促すことを目的とする。		
事業の概要		ジュニアリーダー研修会 年1回実施 対象 町内小学校4～6年生 子ども劇団等鑑賞事業 年1回実施 対象 町内小学生・園児(年により異なる) 青少年体験事業 年1回実施 対象 町内小学生 家庭教育講座 年2回実施		
成果目標		町内小学生が社会や自然の体験を通じて学習を行う事業を毎年実施する。また、保護者の子育て知識向上を目指す。 ・ジュニアリーダー研修会 県との合同開催で25名以上維持(R4は29名) ・子ども劇団等鑑賞事業 年1回実施 ・青少年体験事業 各年度参加者10名 ・家庭教育講座 年2回実施 各講座参加者20名		
総合戦略	数値目標	子ども会・青少年育成事業	ジュニアリーダー研修会 年1回実施(5年間累計5回) 子ども劇団等鑑賞事業 年1回実施(5年間累計5回) 青少年体験事業 年1回実施(5年間累計5回) 家庭教育講座 年2回実施(5年間累計10回)	
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,023	2,448	2,944	2,944	2,944
財源見込	国・県 支出金	45	0	50	50	50
	一般財源	1,978	2,448	2,894	2,894	2,894
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目 標			ジュニアリーダー研修会 1回 子ども劇団等鑑賞事業 1回 青少年体験事業 1回 家庭教育講座 2回	ジュニアリーダー研修会 1回 子ども劇団等鑑賞事業 1回 青少年体験事業 1回 家庭教育講座 2回	ジュニアリーダー研修会 1回 子ども劇団等鑑賞事業 1回 青少年体験事業 1回 家庭教育講座 2回	ジュニアリーダー研修会 1回 子ども劇団等鑑賞事業 1回 青少年体験事業 1回 家庭教育講座 2回
実 績			ジュニアリーダー研修会 0回 子ども劇団等鑑賞事業 1回 青少年体験事業 0回 家庭教育講座 0回	ジュニアリーダー研修会 1回 子ども劇団等鑑賞事業 1回 青少年体験事業 3回 家庭教育講座 0回		
達成度 (%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
			75%	100%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見つつ、適宜判断した。実施する場合は座席に余裕を持たせるなど、感染症対策を行った。			
	進 捗 状 況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見つつ、適宜実施した。 ジュニアリーダー養成キャンプは宿泊予定を日帰りに変更した。(冬に実施した際は泊まりで実施) 料理等に関するイベントは念のため自粛したが、科学実験教室や天体観望会等、楽しみながら自然や科学を学ぶ機会を支援した。			
	今後の 取組み方針等		同年代交流や家族以外の人との関わりは、子どもの健全な成長に必要な不可欠である。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながらも、事業は継続していきたい。子どもが減少しているので、町の事業で県や国と似たものがあれば、合同開催をするなど工夫をしたい。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち						
						4	文化交流の推進						
						国際・国内都市との交流活動							
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧							
事業名		本州四端交流事業											
所 管		企画課											
事業の内容													
目 的		本州の四方位の最端の地(岩手県宮古市、山口県下関市、和歌山県串本町、青森県大間町)の自治体が地域特性を活かした交流を通して地域活性化を図ることを目的とする。											
事業の概要		国内の友好市町との交流を深め、地域活性化につながるような様々な取組を展開する。											
成果目標		・「本州四端踏破ラリー」の実施 ・本州四端首長交流会議の実施 ・本州四端各市町のイベント時において協議会のPRを実施 ・本州四端協議会事務担当者会議の開催 ・本州四端連携によるクルーズ客船の誘致活動を実施 ・本州四端PRブース出展事業等の新規PR事業を実施											
総合戦略	数値目標		本州四端交流事業			本州四端首長交流会議開催 1回／年(5年間累計 5回)							
	KPI	★											
事業費概算(単位:千円)													
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)			
事業費		88		375		546		546		546			
財源見込	国・県支出金												
	一般財源	88		375		546		546		546			
	その他												
進捗状況／今後の取組み方針													
事業年度		評価・検証【済】			評価・検証			計 画					
		R3(2021)			R4(2022)			R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標		交流会議 1回			交流会議 1回			交流会議 1回		交流会議 1回		交流会議 1回	
実績		交流会議 0回			交流会議 1回								
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。											
		50%			100%			%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)		本州四端協議会事務担当者会議をWeb会議にて開催。本州四端首長交流会議は、串本町が開催地となるも新型コロナウイルス感染症の影響により中止。									
	進捗状況	R4(2022)		本州四端協議会事務担当者会議をWeb会議にて開催。本州四端首長交流会議を串本町で開催し、会議では今後の交流活動について活発な意見交換と本州最南端・潮岬の訪問及び町内施設の視察並びに本州最南端の火祭りへの参加を通して、交流事業を盛会裡に終了できた。									
	今後の取組み方針等		持ち回りにより開催される本州四端首長交流会議へ参加し、継続的な交流を行うとともに、本州四端協議会のPR活動を通じて、本州四端市町の魅力発信や地域活性化を図っていく。										

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						4	文化交流の推進
						国際・国内都市との交流活動	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	国際交流事業						
所管	総務課						

事業の内容							
目的		姉妹都市・友好都市に係る史実に関する教育や式典等の開催により、郷土愛や郷土への誇りを育む取組を推進する。					
事業の概要		トルコのほか、アメリカ、オーストラリア（木曜島）との国際交流を継続して行う。					
成果目標		R7年に日本トルコ友好135周年記念式典を開催。 町内小中学校において、トルコに関する学習の機会を持つ。 姉妹都市来客、大使館の来町に対応する。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,679	1,524	1,946	1,946	29,547
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	2,679	1,524	1,946	1,946	15,167
	その他					14,380

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		・エルトゥールル号追悼式の開催 ・町内小中学校において、トルコに関する学習の実施 ・姉妹都市来客、大使館の来町対応	・エルトゥールル号追悼式の開催 ・町内小中学校において、トルコに関する学習の実施 ・姉妹都市来客、大使館の来町対応	・エルトゥールル号追悼式の開催 ・町内小中学校において、トルコに関する学習の実施 ・姉妹都市来客、大使館の来町対応	・エルトゥールル号追悼式の開催 ・町内小中学校において、トルコに関する学習の実施 ・姉妹都市来客、大使館の来町対応	・日本トルコ友好135周年記念式典開催（事業費は、H27決算額） ・エルトゥールル号追悼式の開催 ・町内小中学校において、トルコに関する学習の実施 ・姉妹都市来客、大使館の来町対応
実績		・エルトゥールル号追悼式の開催（規模縮小）	・エルトゥールル号追悼式の開催（規模縮小）			
達成度（％）		0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％……目標通り達成できた。				
		75％	75％	％	％	％
説明	【済】	R3 (2021)	エルトゥールル号追悼式典の実施（新型コロナウイルス感染防止のため規模縮小）			
	進捗状況	R4 (2022)	エルトゥールル号追悼式典の実施（新型コロナウイルス感染防止のため規模縮小）			
	今後の取組み方針等		オンラインによる交流など、感染症対策を踏まえた国際交流事業を実施する。 町内小中学校において、トルコに関する学習の機会を持つ。 また、R7年に日本トルコ友好135周年記念式典を開催。			

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						5	歴史・文化・芸術の振興
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨	歴史文化財の保全活動	

事業名	町文化財等・文化活性化保存継承事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		町内の文化的貴重な財産である有形文化財・無形文化財及び歴史的資料を次世代に保存継承することを目的とし、調査研究を行うと共に住民が各種文化財等の認識を高める機会の創設及び保存、保護継承することを目的とする。		
事業の概要		計画的に文化財の保護、保全を行う。また、文化財保持者に対して補助や支援を行い、次世代へ保存継承をサポートする。 町内の指定・未指定文化財の精査・調査を行い、新規指定や指定解除、県・国指定への推薦など、文化財の適切な価値の再検討を行う。 住民へ文化財の周知及び理解を深めていただき、次世代への保存継承活動として活用する。		
成果目標		文化財保持者への補助・支援や文化財の適切な保護を行い、次世代へ文化財が保存継承されるよう努める。 継続的な文化財の調査により、町内文化財の価値の再検討に努める。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		227	421	1,675	1,675	1,675
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	227	421	1,675	1,675	1,675
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			文化財の調査 文化財保持者への支援	文化財の調査 文化財保持者への支援	文化財の調査 文化財保持者への支援	文化財の調査 文化財保持者への支援	文化財の調査 文化財保持者への支援
実績			文化財新規登録 国1件	国重要文化財存続活動支援 1件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	旧谷畑家住宅が新たに国登録有形文化財に登録された。 国重要文化財の河内祭りが中止となったため、保存会への活動補助は行わなかった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染症の影響により、組織だった文化財調査を行うことができなかった。 国重要文化財の河内祭り自体は中止となったが、伝統技能継承のため練習活動等に対する保存会への活動補助を行った。				
	今後の 取組み方針等		引き続き文化財の適切な保護保全に努め、文化財の価値の調査を行っていく。 また、文化財保持団体への支援も続ける。				

						基本目標Ⅲ	郷土愛あふれる教育のまち
						5	歴史・文化・芸術の振興
						歴史・文化・芸術に対する意識の醸成	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	歴史・文化・芸術活動の支援						
所管	教育課						

事業の内容						
目的		歴史・文化・芸術に触れ、それに関わる活動を行うことにより、町民の健康で文化的に豊かな生活を実現し、地域の暮らしに根付いた文化の創造発展に寄与することを目的とする。				
事業の概要		歴史・文化・芸術に接する機会の提供として、各種教室、文化講演会、展示会等を開催する。また、各関係機関や関係団体と連携を図り、必要な支援を行う。				
成果目標		主要な年間行事(町民音楽祭、文化講演、町展、県美術家協会展)の開催を維持しながら、参加団体(参加人数)を増やしていく。 R4年度 音楽祭 250人(2日延べ人数) H30年度 町展 1, 835人 出展 410点 R 1年度 県美展 621人 を維持。				
総合戦略	数値目標					
	KPI	★	歴史・文化・芸術活動の支援			町民音楽会2日延べ300人以上 町展 1, 500人以上 出展 500点以上 県美展 500人以上(2年に1度開催)

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		902	1,032	1,782	1,032	1,782
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	902	1,032	1,782	1,032	1,782
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		町民音楽会 380人 町展 1, 500人 出展 500点 県美展 500人	町民音楽会 380人 町展 1, 500人 出展 500点	町民音楽会 300人 町展 1, 500人 出展 500点 県美展 500人	町民音楽会 300人 町展 1, 500人 出展 500点	町民音楽会 300人 町展 1, 500人 出展 500点 県美展 500人
実績		町民音楽会 中止 町展 1,878人 出展 659点 県美展 278人	町民音楽会 250人 町展 2,497人 出展 586点			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	新型コロナウイルス感染症により町民音楽祭は中止。 町展は一度に来場する人数が限られていることから感染対策の上、実施し目標を達成。 県美展は開催したが来場者数が目標を下回った。			
	進捗状況	R4(2022)	町民音楽祭を実施。コロナ禍ということもあり、参加団体は器楽・合唱等の部 6団体、バンドの部 4団体と例年と比較して少なかった。 町展は一度に来場する人数が限られていることから感染対策の上、実施し目標を達成。			
	今後の取組み方針等		感染症等の状況により判断する。町展については感染対策の上、実施する。			

基本目標Ⅳ

いきいきと活力あふれるまち

基本目標Ⅳ	1	農林水産業の活性化
	2	商業・産業の活性化
	3	観光振興による地域経済活性化
	4	UIJターン串本暮らしの推進
	5	地域資源を活かした交流の推進
	6	若者の就職支援と後継者育成

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						1	農林水産業の活性化
						生産基盤・生産性の向上	

事業名	遊休農地活用支援事業
所管	産業課

事業の内容						
目 的		当町の農業は、大半が小規模農家によるものであり高齢化が進むとともに、後継者不足により耕作放棄地が増加している。このような農地の利用集積を進めるため、関係する農業団体であるJA紀南とJAみくまのとの協力連携を図りながら、耕作放棄地の解消に取り組んでいく。				
事業の概要		近年耕作者の高齢化により、遊休農地が増加傾向にあるため、地元で意欲を持って農業に取り組んでいる人たちが、利用権設定や購入により農地の利用集積を図ることを期待する。このためこの支援事業を利活用して遊休農地の解消を目指す。				
成果目標		毎年 0.3haの耕作放棄地の解消を目指す。				
総合戦略	数値目標					
	KPI					

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,642	589	600	600	600
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	1,642	589	600	600	600
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			耕作放棄地解消 1ha	耕作放棄地解消 0.3ha	耕作放棄地解消 0.3ha	耕作放棄地解消 0.3ha	耕作放棄地解消 0.3ha
実績			耕作放棄地解消 0.646ha	耕作放棄地解消 0.3ha			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	申請件数が多く補正予算で対応したが、一名が辞退したため、目標面積に到達しなかった。				
	進捗 状況	R4 (2022)	目標件数を達成済。				
	今後の 取組み方針等		予算額が60万円(30a分)であるため、目標面積についても予算に併せて0.3haに変更する。				

						<table><tr><td>基本目標Ⅳ</td><td>いきいきと活力あふれるまち</td></tr><tr><td>1</td><td>農林水産業の活性化</td></tr><tr><td colspan="2">生産基盤・生産性の向上</td></tr></table>	基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち	1	農林水産業の活性化	生産基盤・生産性の向上	
基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち											
1	農林水産業の活性化											
生産基盤・生産性の向上												
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶							
事業名		林道維持管理事業										
所管		産業課										
事業の内容												
目的		林道関係の適切な維持管理により森林施業の効率化を促進する。										
事業の概要		定期的な林道の巡回・林道の草刈・維持補修を実施する。										
成果目標		林道機能の維持管理を図り、森林整備による林業の活性化を推進する。										
総合戦略	数値目標											
	KPI											
事業費概算(単位:千円)												
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		
事業費		2,952		2,600		2,600		2,600		2,600		
財源見込	国・県支出金											
	一般財源	2,952		2,600		2,600		2,600		2,600		
	その他											
進捗状況／今後の取組み方針												
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画						
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		
目標												
実績												
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。										
		100%		100%		%		%		%		
説明	【済】	R3(2021)	林道の巡回・草刈り・維持補修を実施し、目標を達成できた。									
	進捗状況	R4(2022)	林道の巡回・草刈り・維持補修を実施し、目標を達成できた。									
	今後の取組み方針等		林道の適切な維持管理により森林施業の効率化を促進していく。									

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						1	農林水産業の活性化
						生産基盤・生産性の向上	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶		

事業名	種苗放流・磯根資源再生事業
所 管	産業課

事業の内容				
目 的		漁業従事者の高齢化やカツオ漁獲量の低迷などから、串本町の漁業の大きな流れとして、地先資源の充実を目指した取組にシフトしている。その中でイセエビやアワビ、トコブシ、有用海藻の増産を目指した各種施策をおこなう。		
事業の概要		・稚魚稚貝稚海老の放流を実施。同時に和歌山県水産試験場と追跡調査をおこない、事業の有効性を調査していく。 ・磯焼け対策として、磯清掃や藻類移植による藻場造成を地域の実情に沿って実施していく。		
成果目標		稚魚放流 13,000匹／年、イセエビ放流 40,000匹／年、稚貝放流 60,000匹／年		
総合戦略	数値目標	種苗放流・磯根資源再生事業	種苗放流 11.3万匹／年(5年間累計 56.5万匹)	
	KPI			
	★			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		9,513	8,188	10,850	10,850	10,850
財源見込	国・県支出金	1,783	1,583	1,583	1,583	1,583
	一般財源	3,867	3,167	3,167	3,167	3,167
	その他	3,863	3,438	6,100	6,100	6,100

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		種苗放流 11.3万匹	種苗放流 11.3万匹	種苗放流 11.3万匹	種苗放流 11.3万匹	種苗放流 11.3万匹
実績		種苗放流 3.8万匹	種苗放流 3.8万匹			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	稚魚(13,800)、イセエビ(3,300)、稚貝(20,500)の放流事業を実施。稚魚については、目標値を達成したものの、イセエビに関しては、R2と同じ要因での目標未達、稚貝は高水温をはじめ近年の海洋環境下での放流事業は難しいとの判断により、漁協各支所が事業を見送ったことで目標未達となった。磯焼け対策では、管内3箇所での磯掃除、藻類移植の藻場再生事業を実施した。			
	進捗状況	R4(2022)	稚魚(13,900)、イセエビ(1,600)、稚貝(22,000)の放流事業を実施。稚魚放流では、目標値を達成した。イセエビと稚貝は目標値を大きく下回った。磯焼け対策として、高水温適性株を使用した藻類移植のほか磯掃除を実施した。 目標未達の理由として、稚貝放流では未だ海況が良くないとの漁業者判断による事業見送り、イセエビは稚エビの確保が難しい(不漁)こともあるが、目標算定の際、算出方法に誤りがあったことが大きな要因である。			
	今後の取組み方針等		水産資源の維持、回復を図るため、引き続き、漁業者のニーズを踏まえた種苗放流を実施し、また漁協が行う放流事業の支援を行っていく。磯焼け対策についても、県・関係者と協力連携しながら、地域の状況に応じた効果的な事業を検討、実行していく。			

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						1	農林水産業の活性化
						生産基盤・生産性の向上	
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	
事業名		漁港施設の維持管理推進事業					
所管		産業課					
事業の内容							
目的		水産業を営む上で、その活動拠点となる漁港について既に策定した機能保全計画等に基づき適正な維持管理を行い、安全で効率的な漁業活動を推進する。					
事業の概要		各漁港ごとに策定した機能保全計画に沿って、A及びB判定をうけた施設の改修を行う。					
成果目標		野尻漁港機能保全事業（防波堤の修繕） R4年度完了予定。 船瀬漁港機能保全事業（防波堤の修繕） R4年度完了予定。 大島漁港機能保全事業（防波堤の修繕） R5年度完了予定。 動鳴気漁港機能保全事業（防波堤の修繕） R6年度着手予定。 動鳴気漁港機能保全事業（防波堤の修繕） R7年度完了予定。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						
事業費概算（単位：千円）							
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
事業費		—	31,205	4,995	5,710	9,100	
財源見込	国・県支出金		15,602	2,497	2,855	4,550	
	一般財源		15,603	2,498	2,855	4,550	
	その他						
進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画			
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
目標		漁港機能保全工事 2件	繰越工事2件の完了 漁港機能保全測量設計 1件	漁港機能保全工事 1件	漁港機能保全測量設計1件	漁港機能保全工事 1件	
実績		工事発注 済 工期延長し、翌年度に繰越	工事2件の完了 測量設計1件完了				
達成度（％）		0％……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25％……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50％……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75％……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100％……目標通り達成できた。					
		50％	100％	％	％	％	
説明	【済】	R3（2021）	野尻漁港機能保全事業における、測量・設計業務完了。 野尻漁港機能保全対象施設の改修工事を発注。				
	進捗状況	R4（2022）	野尻漁港機能保全工事及び船瀬漁港機能保全工事完了。				
	今後の取組み方針等		機能保全計画の定期的な見直しにより、効果的かつ効率的な維持管理・更新等を実施していき、施設の長寿命化や更新コストの縮減を図る。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						1	農林水産業の活性化
						生産基盤・生産性の向上	

事業名	鳥獣害対策の強化事業
所管	産業課

事業の内容							
目的		町内全域において、鳥獣害による農作物被害が頻発している。このため、農作物の鳥獣害による被害を減少させることにより、農業生産意欲の向上と担い手の確保により遊休農地の増加を抑制することを目的とする。					
事業の概要		・農業者による侵入防止柵の設置を支援する。 ・有害鳥獣捕獲等を支援し個体数を減少させる。 ・有害鳥獣捕獲従事者数を確保するため新規狩猟免許取得支援を実施する。					
成果目標		串本町鳥獣被害防止計画に従い、有害鳥獣の捕獲、侵入防止柵の設置、新規有害鳥獣捕獲従事者の確保等の対策を実施し、有害鳥獣による農作物被害を計画記載の目標値まで減少させる。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		11,422	9,870	16,556	16,556	16,556
財源見込	国・県支出金	8,490	7,872	12,628	12,628	12,628
	一般財源	2,932	1,998	3,928	3,928	3,928
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			【鳥獣被害防止計画に基づくR2～R4の達成目標値】 被害額:249.2万円 被害面積:1.87ha			【鳥獣被害防止計画に基づくR5～R7の達成目標値】 被害額:96.0万円 被害面積:1.08ha
実績			被害額:163.2万円 被害面積:1.22ha			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	串本町鳥獣被害防止計画に掲げる被害の軽減目標について、被害軽減のための各種施策の実施等により目標値は達成できている。鳥獣被害対策実施隊については結成に至っていない。			
	進捗状況	R4(2022)	串本町鳥獣被害防止計画に掲げる被害の軽減目標について、被害軽減のための各種施策の実施等により目標値は達成できている。鳥獣被害対策実施隊については結成に至っていない。			
	今後の取組み方針等		農作物等の鳥獣被害を減少させるため、串本町鳥獣被害防止計画に基づき、防護柵等の設置補助、狩猟免許取得支援による新規有害鳥獣捕獲従事者の確保、有害鳥獣の捕獲、地域による追い払い活動の支援、鳥獣被害対策実施隊結成の検討等について継続して取り組む。			

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち				
						1	農林水産業の活性化				
						生産基盤・生産性の向上					
事業年度		⌘	⑤	⑥	⑦	⌘					
事業名		森林経営管理事業									
所 管		産業課									
事業の内容											
目 的		森林所有者が経営する意欲がなく、現状で引き受け手がない手入れ不足の育成林(人工林等)について、市町村が仲介役となり、健全な状態に整備していく。									
事業の概要		森林所有者への意向調査を行い、所有者自らが森林管理できない場合において、必要かつ適当と認められる場合は町で森林管理の委託を受ける。林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者へ再委託され、林業経営に適さない森林等について、町で間伐等の管理を行っていく。									
成果目標		R2:意向調査 500件／年間 R3:意向調査 500件／年間 森林管理権集積計画策定 10件／年間 R4:意向調査 100件／年間 森林管理権集積計画策定 1件／年間(実態に合わせて下方修正) R5:意向調査 100件／年間 森林管理権集積計画策定 1件／年間 R6:意向調査 100件／年間 森林管理権集積計画策定 1件／年間 R7:意向調査 100件／年間 森林管理権集積計画策定 1件／年間									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		19,775		24,874		24,874		30,527		30,527	
財源見込	国・県支出金	19,775		24,874		24,874		30,527		30,527	
	一般財源										
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計 画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標		意向調査 500件 計画策定 10件		意向調査 100件 計画策定 1件		意向調査 100件 計画策定 1件		意向調査 100件 計画策定 1件		意向調査 100件 計画策定 1件	
実績		意向調査 35件 計画策定 0件		意向調査 56件 計画策定 2件							
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。									
		75%		100%		%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)	前年度に引き続き意向調査を実施。事前に固定資産課税データとの照合を実施することにより送付対象者を絞ることができた。森林経営管理権集積計画は作成中で、公表には至らなかった。								
	進捗状況	R4(2022)	意向調査については、引き続き実施する。 森林経営管理権集積計画については、里川地区で2件の計画を策定し、公表を行った。								
	今後の取組み方針等		意向調査は15年間で町内全域に実施予定。 集積計画については、年間1箇所以上の作成を目指す。								

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						1	農林水産業の活性化
						ブランド化・販売力強化促進	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	紀州材利用定住促進住宅等建設費補助金事業						
所管	産業課						

事業の内容							
目的		地元林産業者及び地元建築業者の活性化を促進するため、地域の産品である紀州材を利用して住宅を建築する住民や転入予定者に対して補助を行い定住を促進する。					
事業の概要		補助の対象者は、串本町の住民基本台帳に記載のある方、または串本町に転入予定若しくは居住地の移転予定の方で5年以上の在町を確約できる方。かつ、自ら居住するために紀州材の使用により、地元製材所及び地元建築業者により建築しようとする方。となっており、使用した材積に応じて補助を行う。					
成果目標		年間10棟の新築を計画している。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		3,200	6,100	6,000	6,000	6,000
財源見込	国・県支出金					
	一般財源					
	その他	3,200	6,100	6,000	6,000	6,000

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		10棟	10棟	10棟	10棟	10棟
実績		4棟	8棟			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	4棟(80万円×4棟) 木材価格の高騰及び資材不足等により件数が減ったと思われる。			
	進捗状況	R4(2022)	8棟(80万円×6棟、65万円×2棟) 件数は目標に届かなかったが、当初予算(600万円)を超える補助金の交付を行った。			
	今後の取組み方針等		継続して実施。			

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						1	農林水産業の活性化
事業年度	»	⑤	6	7	»	ブランド化・販売力強化促進	

事業名	浜の活力再生プラン推進事業						
所管	産業課						

事業の内容							
目的		地域の主要水産物であるイセエビの漁獲量を増大させ、漁業者の所得向上を図るため、築いそ(投石)による漁場の造成を行う。					
事業の概要		R1年度から5年間、町内14ヵ所において計20,300㎡の築いそ整備を実施する。 ・R1 2ヶ所 2,900㎡ ・R2 3ヶ所 4,350㎡ ・R3 3ヶ所 4,350㎡ ・R4 3ヶ所 4,350㎡ ・R5 3ヶ所 4,350㎡					
成果目標		R5年度完成。町内14ヵ所、計20,300㎡。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—		
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			3ヶ所 4,350㎡	3ヶ所 4,350㎡	3ヶ所 4,350㎡		
実績			0ヶ所 0㎡	0ヶ所 0㎡			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			25%	25%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	財源(交付金)が確保できなかったため未実施。				
	進捗 状況	R4 (2022)	工事に係る資材等の急騰によって、当初の計画事業費を大幅に上回ったため実施できなかった。(事業費:計画時の約3倍)				
	今後の 取組み方針等		R1年度から5年間の計画で事業に取り組んでいるが、R3は財源を確保できず未実施、R4は資材高騰等により実施困難となり国費申請を取り下げた。R4に申請を取り下げたことで、翌年の申請もできなくなった。現在の資材価格では、金額面をはじめ申請に係る費用便益分析(B/C)の算定も行えないことから、今後の事業化は困難であるとする。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						2	商業・産業の活性化
						商工業活動の支援	

事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》
------	---	---	---	---	---

事業名	小規模利子補給事業
所管	産業課

事業の内容				
目的		(株)日本政策金融公庫からの経営改善融資(マル経融資)を受ける場合、利子の約1%を町が補助することで、小規模事業者を支援する。		
事業の概要		・窓口は串本町商工会で、(株)日本政策金融公庫からの経営改善融資(マル経融資)を受ける場合、利子の約1%を町が補助する。 ・小規模事業者のセーフティネットの1つとしての機能を有する。 ・串本町商工会から、事業継続の強い希望がある。 ・串本町税等に滞納がある場合は、本事業を利用できない。		
成果目標		具体的な目標数値設定は困難であり、制度を利用する小企業者の経営改善を目標とする。 毎年の利用実績を注視しつつ、(株)日本政策金融公庫からの経営改善融資(マル経融資)に対する需要が低くなった場合には、利子補給制度についても見直しを行う。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,645	1,645	1,645	1,645	1,645
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	1,645	1,645	1,645	1,645	1,645
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			1,500,000円	1,500,000円	1,500,000円	1,500,000円	1,500,000円
実績			1,415,295円	1,280,548円			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	44名分交付				
	進捗 状況	R4 (2022)	40名分交付				
	今後の 取組み方針等		商業者支援として引き続き事業を行う。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						2	商業・産業の活性化
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》	商工業活動の支援	

事業名	商工会等団体活動の支援						
所管	産業課						

事業の内容							
目的		町内業者の直接の経営支援団体である商工会の運営資金を補助することにより、町内商工業の振興・経営安定を図る。					
事業の概要		・町内商工業者の経営指導。 ・町内商工業者の振興事業の実施。 ・創業支援の実施。 ・キャッシュレス対応など直近の国や県の推進事業の町内商工業者への周知。					
成果目標		補助金の交付件数 年2件					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		8,950	8,950	8,950	8,950	8,950
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	8,950	8,950	8,950	8,950	8,950
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			補助金交付 2件	補助金交付 2件	補助金交付 2件	補助金交付 2件	補助金交付 2件
実績			補助金交付 2件	補助金交付 2件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	例年通り交付することで町内商工業の振興・経営安定を図ることができた。				
	進捗 状況	R4 (2022)	例年通り交付することで町内商工業の振興・経営安定を図ることができた。				
	今後の 取組み方針等		引き続き町内商工業の振興・経営安定を図ることを目的として交付していく。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						2	商業・産業の活性化
事業年度	⑧	⑤	⑥	7	⑨	商工業活動の支援	

事業名	大型共同作業所撤去及び改修事業
所 管	産業課

事業の内容				
目 的		高速道路インターチェンジの建設に伴い和深地区にある大型共同作業所がその用地にかかるため、撤去が必要となる。また、潮岬地区にある大型共同作業所(菌床工場)の空調設備が老朽化しその改修が求められているため、計画期間において撤去及び改修を行う。 大型共同作業所(菌床工場)の事業安定。		
事業の概要		大型共同作業所和深第2倉庫 重量鉄骨造石綿スレート波板葺 678.91㎡ 撤去 済み 菌床製造栽培大型共同作業所 鉄骨造平屋建て 4,096㎡ 空調設備改修 済み 菌床工場の事業安定に供する施設・設備の改修(老朽化対策)		
成果目標		計画期間中に撤去、改修を行う。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		10,677	164,999	4,081	5,500	
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	10,677	164,999	4,081	5,500	
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画	
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
目標			大型共同作業所(菌床工場)の空調設備の改修工事の完了	大型共同作業所(菌床工場)の空調設備の改修工事の完了(継続)	結露対策に伴う循環ファン10基設置。 LED電気33基の取り換え。	高圧ケーブル取り換え工事3ヶ所
実績			予定通りに工事設計を完了し工事を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により部品の調達が遅れ翌年度に繰越した。	契約工期限内に工事が完成した。		
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。			
			75%	100%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	大型共同作業所(菌床工場)の空調設備の改修工事について、工事設計を完了させ工事を開始したが、半導体不足の影響で機器類の入荷が遅れ年度内の完成には至らなかった。			
	進捗 状況	R4 (2022)	機器類が入荷し、工期限内に工事が完成した。			
	今後の 取組み方針等		施設の長寿命化を図るため運営管理者と適切な維持管理に努める。			

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						2	商業・産業の活性化
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	新たな事業の創出支援	

事業名	起業チャレンジ支援事業
所管	産業課

事業の内容				
目的		串本町の特性を活かし、活力ある観光の町づくりを推進する為、町内での起業を促進することでさらなる地域産業の活性化や新たな雇用創出を引き出すことを目的とする。		
事業の概要		・町内の空き店舗等で新たに起業する者に対し、予算の範囲内で「串本町チャレンジ起業支援事業補助金」を交付する。 ・店舗家賃の1/2を補助。限度額5万円／月、最長12ヵ月まで。		
成果目標		補助金を活用した起業(2件／年 累計6件)		
総合戦略	数値目標			
	KPI	★	起業チャレンジ支援事業	補助金を活用した起業 2件／年(5年間累計 10件)

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,200	1,200	1,800	1,800	1,800
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	1,200	1,200	1,800	1,800	1,800
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			補助金活用の起業 2件	補助金活用の起業 2件	補助金活用の起業 2件	補助金活用の起業 2件	補助金活用の起業 2件
実績			補助金活用の起業 9件	補助金活用の起業 2件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新規創業9件に補助金を交付し、地域の活性化および雇用の創出に寄与した。				
	進捗 状況	R4 (2022)	新規創業2件に補助金を交付し、地域の活性化および雇用の創出に寄与した。				
	今後の 取組み方針等		引き続き創業者を支援することで、地域の活性化や雇用の創出を図る。				

										<table><tr><td>基本目標Ⅳ</td><td>いきいきと活力あふれるまち</td></tr><tr><td>2</td><td>商業・産業の活性化</td></tr><tr><td colspan="2">誘致活動による活性化</td></tr></table>	基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち	2	商業・産業の活性化	誘致活動による活性化	
基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち															
2	商業・産業の活性化															
誘致活動による活性化																
事業年度		⌵	⑤	⑥	⑦	⌶										
事業名		宿泊施設を中心とした観光産業の立地推進														
所管		産業課														
事業の内容																
目的		町内への観光産業の立地推進を図り、雇用の拡大や人口流出の防止につなげることで、地域の活性化を目的とする。														
事業の概要		収集した立地データ等の情報を発信する。														
成果目標		企業誘致 1件														
総合戦略	数値目標															
	KPI															
事業費概算(単位:千円)																
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)						
事業費		16		16		16		16		16						
財源見込	国・県支出金															
	一般財源	16		16		16		16		16						
	その他															
進捗状況／今後の取組み方針																
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画										
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)						
目標		企業誘致 1件		企業誘致 1件		企業誘致 1件		企業誘致 1件		企業誘致 1件						
実績		企業誘致 0件		企業誘致 0件												
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。														
		50%		50%		%		%		%						
説明	【済】	R3(2021)	関心を示す企業はあったが、誘致には至らなかった。													
	進捗状況	R4(2022)	関心を示す企業はあったが、誘致には至らなかった。													
	今後の取組み方針等		引き続き誘致に努める。													

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち				
						3	観光振興による地域経済活性化				
						地域資源を活かした観光振興					
事業年度		⑧	⑤	⑥	⑦	⑧					
事業名		ロケット推進事業									
所管		企画課									
事業の内容											
目的		国内で民間初となる小型ロケット発射場「スペースポート紀伊」に係るロケット推進事業を通じ、直接投資効果や雇用創出効果に加え、新たな観光資源として地域経済活性化を進めていくことを目的とする。									
事業の概要		地域住民の生活への影響が懸念される交通渋滞緩和対策等については、県・関係機関・近隣市町村が一体となって取り組む一方で、見学場の設置やロケット関連商品の開発の推進等で地域経済活性化を進め、また子供たちの教育への活用や宇宙・人工衛星などの関係者との交流等、串本町でしか出来ない事業を長期的に継続していく。									
成果目標		R5年度の最初のロケット発射に全ての焦点を合わせに行くのではなく、中長期的な観点で、地域住民の生活に悪影響を与えることなく、県・関係機関・近隣市町村と協力し合いながら、ロケット推進事業を通じて地域活性化を進めていく。									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		137,277		127,905		185,043		30,800		30,800	
財源見込	国・県支出金	80,532		74,863		59,132					
	一般財源	56,745		53,042		115,911		20,800		20,800	
	その他					10,000		10,000		10,000	
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標											
実績											
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。									
		50%		50%		%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)	小中学生、高校生、一般向けのワークショップを実施し、町民の機運醸成を図った。(2回実施) サテライトオフィスの整備 映画『宇宙兄弟#0』の上映会開催								
	進捗状況	R4(2022)	3階臨場感シアターの整備 小中学生、高校生、一般向けのワークショップを実施(6回) イベント「宇宙ウィーク」の開催(参加者615名) モデルロケットライセンス講習会及び打ち上げ体験の実施(3回) 一般町民向けセミナー及び商工会・観光協会向けセミナー(6回) イベント「南紀串本ロケットウィーク」の開催(6日間) ツーリズムEXPO2022でブース出展しスペースタウン串本をPR								
	今後の取組み方針等		町民、事業者の更なる機運醸成を図り、地域活性化に繋げる。 初号機発射に向けて、渋滞対策や見学客の受入れ等の対策を進める。 古座分庁舎をリノベーションし、展示・図書スペースを整備。完成後は、指定管理を進め、修学旅行や視察等の受入れ体制を整える。								

						基本目標Ⅳ 基本目標Ⅴ	いきいきと活力あふれるまち 自然と共生やさしいまち				
						3 2	観光振興による地域経済活性化 環境保全対策の推進				
事業年度						域資源を活かした観光振興/環境保全活動の推進					
事業年度		⌘	⑤	⑥	⑦	⌘					
事業名		南紀熊野ジオパークと連携した観光推進(観光周遊バス)									
所管		産業課									
事業の内容											
目的		H31年に日本ジオパークに再認定されたことにより、南紀熊野ジオパークはユネスコ世界ジオパークに登録されるための取組を実施することになり、その活動の一環としてジオパークの受入拠点である南紀熊野ジオパークセンターの誘客促進を図るため、町内主要ジオサイト(橋杭岩、潮岬、桎野崎)を巡る観光周遊バスを和歌山県及び関連事業者と運営する。									
事業の概要		和歌山県(事務局)、串本町、JR西日本、ホテル＆リゾート和歌山 串本、大江戸温泉物語南紀串本、熊野観光開発(道の駅くしもと橋杭岩指定管理者、潮岬観光タワー経営)、南紀串本観光協会で、串本観光周遊バス推進協議会を立ち上げバス事業を行う。バスの運行は串本タクシーに委託する。R1年7月運行開始。									
成果目標		観光周遊バスの利用者を年間6,500人にする。									
総合戦略	数値目標	★	総観光客数			165万人／年(5年間累計 825万人)					
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		3,338		3,358		3,385		3,398		3,398	
財源見込	国・県支出金										
	一般財源	3,338		3,358		3,385		3,398		3,398	
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標		総観光客数 165万人 バス利用者 6,500人		総観光客数 165万人 バス利用者 6,500人		総観光客数 165万人 バス利用者 6,500人		総観光客数 165万人 バス利用者 6,500人		総観光客数 165万人 バス利用者 6,500人	
実績		総観光客数 116万人 バス利用者 1,595人		総観光客数 157万人 バス利用者 2,301人							
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。									
		50%		50%		%		%		%	
説明	【済】	R3 (2021)	前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標の達成には至らなかった。しかし、年間実績は前年度を上回っただけでなく、情勢が一時的に落ち着いていた秋季には一か月あたりの実績が過去最高を記録するなど、これまでの周知活動の効果が出てきているものと考えられる。								
	進捗状況	R4 (2022)	前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標の達成には至らなかった。バス利用実績については、依然として目標値を大きく下回る状況であるが、JRと連動した広告の展開やPR活動の成果もあり実績は年々増加している。								
	今後の取組み方針等		新型コロナウイルス感染症の情勢も収束に向かいつつあり、観光客の増加が見込まれることから、これまで以上に当バスの周知に努める。しかし、これまではコロナ禍の影響を大きく受けたとはいえ、目標の半分に届いていないのが現状であることから、運行内容や運行自体の是非についても周遊バス運行事務局である和歌山県立南紀熊野ジオパークセンターと協議しながら進めていく。								

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						3	観光振興による地域経済活性化
						地域資源を活かした観光振興／新たな魅力の発信	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨
------	---	---	---	---	---

事業名	古民家活用事業
所管	産業課

事業の内容				
目的		町内の古民家の有効活用により観光需要を創出し、観光客の増加と地域活性化を行うことを目的とする。		
事業の概要		串本町古民家活用協議会に参画し、町は以下の事業を実施する。 ・物件の仲介及び交渉の補佐 ・各種宣伝活動 ・観光事業の協働		
成果目標		稼働物件数：7件 ※R5.4時点で5件 毎年1件を目標とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			20	20	20	20
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源		20	20	20	20
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				1件	1件	1件	1件
実績				1件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
				100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)					
	進捗 状況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染症の影響により、運営事業者においては厳しい状況が続いていた中ではあるが、目標を達成できた。				
	今後の 取組み方針等		新型コロナウイルス感染症の情勢も収束に向かいつつあり、インバウンド客の増加も予想される状況であり、日本古来の風情や文化に触れることができる古民家とこれを活用した取組の需要が高まると想定されるため、運営事業者等と連携しながら観光の誘客に努めたい。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						3	観光振興による地域経済活性化
						新たな魅力の発信	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	道の駅「くしもと橋杭岩」管理事業						
所 管	産業課						

事業の内容							
目 的		串本町の顔となっている国の名勝・天然記念物に指定されている橋杭岩に設置されている道の駅「くしもと橋杭岩」。観光客の立ち寄り場所としては、串本町のメインの場所であり、インバウンド観光客も含め、利用満足度を一層高めることを目的とする					
事業の概要		橋杭岩は最近多様なメディアに取り上げられ、また道の駅に隣接してホテルが建設されるなど今後も道の駅利用者は増加すると予想される。このため地元産品の販売促進、多言語化対応などを進めることにより、さらなる串本町の魅力の底上げを図る。					
成果目標		道の駅利用客数 年間11.2万人。売上140百万円 R4年度以降は 道の駅利用客数 年間10.3万人。売上140百万円に下方修正。（総合戦略KPIと同一とする。）					
総合戦略	数値目標		道の駅「くしもと橋杭岩」管理事業		道の駅利用客数 10.3万人／年(5年間累計 51.5万人)		
	KPI	★					

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,629	1,915	1,429	1,500	1,500
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	1,629	1,915	1,429	1,500	1,500
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		利用客数 10.3万人 売上 140百万円	利用客数 10.3万人 売上 140百万円	利用客数 10.3万人 売上 140百万円	利用客数 10.3万人 売上 140百万円	利用客数 10.3万人 売上 140百万円
実績		利用客数 5.7万人 売上 92百万円	利用客数 7.4万人 売上 128百万円			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		50%	50%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標の達成には至らなかった。しかし、情勢が一時的に落ち着いたこともあり、年間実績は前年度を上回った。			
	進捗状況	R4(2022)	今年度は年間を通して情勢が落ち着いてたこともあり、前年度の年間実績を大幅に上回った。コロナ前(令和元年度137百万円)と比べると93%に上り景気が戻りつつあるが、目標達成には至らなかった。			
	今後の取組み方針等		実施できていない多言語化対応を進め、串本の水やロケットサイダーなどの地元産品の販売促進などに努める。			

						基本目標Ⅳ	生き生きと活力あふれるまち
						3	観光振興による地域経済活性化
						新たな魅力の発信	
事業年度	»	5	6	7	»		

事業名	串本IC付近地域活性化施設整備事業
所管	建設課

事業の内容				
目的		串本IC付近(役場前)の串本町有地において民間のノウハウを生かした地域活性化施設の整備を促進し、串本町内の観光地への足掛となる存在を目指す。		
事業の概要		官民連携による休憩施設、物販販売、飲食施設の整備。 児童公園を見据えた都市公園の整備。		
成果目標		R7年度にすさみ串本道路が開通することから、限りなくそのスケジュールに追従して早期開設を図る。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			14,500	10,000	20,000	200,000
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源		14,500	10,000	20,000	200,000
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				参画意欲のある民間事業者に対して現地説明会を開催し、年内中を目途に公募を行う。	公募により事業者が選出された場合は契約締結、着手までの調整を行う。選出されなかった場合は公募内容の再考、その他可能性を探る。	R5に事業者が選出された場合は官民連携事業の事業着手、選出されなかった場合は事業手法を確定し、再公募を行う。	施設整備、道路整備・公園整備を行い早期開設を図る。
実績				現地説明会を開催し、年内に公募を行った。年度末に事業提案書の募集を締め切った。			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)					
	進捗状況	R4 (2022)					
	今後の取組み方針等		選定委員会による提案書の審査を行い事業者が選出された場合は契約締結に向けた交渉の実施、事業着手に向けた調整を行う。選出されなかった場合は公募内容の再考や、その他事業手法の可能性を探る。				

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨	基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						4	UIJターン串本暮らしの推進
						移住定住事業の強化/情報発信・交流の強化	

事業名	移住交流促進事業
所管	産業課

事業の内容				
目的		人口が減少する中、地域に溶け込み地域の担い手となる方を串本町に定住させるべく、移住・交流推進協議会を中心として移住・交流活動を促進する。		
事業の概要		移住希望者の相談業務や和歌山県等が開催するセミナー・現地体験会等でのPRを行う。 空き家利活用の推進事業と連携し、移住による地域の活性化を図る。 串本町の資源を活用した体験活動の拡充を図り関係機関・団体等と協力・連携しながら支援する。 HPの充実により、移住・定住施策や先輩移住者の体験談等の様々な情報を掲載し魅力的な移住情報を発信する。		
成果目標		移住・就職セミナー等への参加 2回／年 新規就業支援 12件／3年間		
総合戦略	数値目標	移住交流促進事業	移住件数 6件／年(5年間累計 30件)	
	KPI			
	★			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		300	150	150	150	150
財源見込	国・県 支出金	150				
	一般財源	150	150	150	150	150
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		移住件数 6件 セミナー参加 2回 新規就業支援 4件	移住件数 6件 セミナー参加 2回 新規就業支援 4件	移住件数 6件 セミナー参加 2回 新規就業支援 4件	移住件数 6件 セミナー参加 2回 新規就業支援 4件	移住件数 6件 セミナー参加 2回 新規就業支援 4件
実績		移住件数 6件 セミナー参加 1回 新規就業支援 8件	移住件数 5件 セミナー参加 1回 新規就業支援 3件			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)	目標件数には概ね到達したが、セミナー参加のみ新型コロナウイルス感染症の影響により1回のみの参加となった。			
	進捗状況	R4(2022)	目標件数には概ね到達したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりセミナー参加は1回のみの参加となり、新規就業支援や移住件数もそれぞれ目標達成には至らなかった。			
	今後の取組み方針等		移住件数及び就業支援については昨年同様、達成するように努め、セミナー参加については情勢を見ながら目標達成に向け努める。			

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						5	地域資源を活かした交流の推進
						交流活動の推進	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧		

事業名	教育旅行推進事業
所管	産業課

事業の内容			
目 的		体験型観光(教育旅行)の推進により、学生の団体を定期的・長期的に確保する。 学生の旅行(教育旅行・合宿)は一般観光の閑散期にあたり、さらに平日に行われるため、平日の宿泊客数の増加を目的とする。	
事業の概要		H19年より取り組んでいる体験型観光推進事業は現在南紀串本観光協会主体で行っており、南紀串本観光協会と密に連携して学生の受入を行う。 営業については、和歌山県主催の県外セールスに参加し、新規校獲得を目指す。	
成果目標		15校(1, 800泊)／年 R4年度以降 20校(3,000泊)／年に修正(総合戦略のKPIと同一とする。)	
総合戦略	数値目標	教育旅行推進事業	教育旅行 20校(総宿泊 3, 000泊)／年(5年間累計 100校(15,000泊))
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			20校(3,000泊)	20校(3,000泊)	20校(3,000泊)	20校(3,000泊)	20校(3,000泊)
実績			73校(2,496泊)	58校(2,545泊)			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実績を伸ばすことができたが、宿泊数は目標値を下回る結果となった。要因としては、これまで当町の目玉であった一般家庭への民泊を休止しホテル泊のみとなったことや、町内に大型の宿泊施設が少なく町外に流出したこと等が挙げられる。				
	進捗 状況	R4 (2022)	和歌山県内の学校など、新型コロナウイルス感染症の情勢を勘案し旅行先を紀南地方に変更していた学校が元の旅行先に戻りつつあり、来校数については前年度実績を下回る結果となった。				
	今後の 取組み方針等		令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により予期せぬ形で注目を浴びることとなったが、この情勢が収束に向かっており、引き続き来訪いただけるよう積極的なPRと受入メニューの更なる充実が必要である。また、新規の学校の誘致に向けた取組も展開していきたい。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						5	地域資源を活かした交流の推進
						交流活動の推進	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	体験型観光客誘致事業						
所 管	産業課						

事業の内容							
目 的		団体旅行だけでなく個人旅行やグループ旅行など旅行形態が多様化するなかで、体験型観光を推進することによって幅広い層の観光客の獲得や、町内での滞在時間の長期化を図る。					
事業の概要		教育旅行誘致や広域観光連携推進事業と併せて、観光説明会等での周知またはイベント出展による広報などの誘致活動を行う。					
成果目標		6,000人／年 (和歌山県「ほんまもん体験」の受入実績) ※R3より県動態調査に吸収					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			6,000人	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人
実績			3,898人	10,719人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症という外的要因により、観光客自体が大幅に減少し、目標値は達成できなかった。				
	進捗 状況	R4 (2022)	新型コロナウイルス感染症に係る行動制限や自粛要請等が無く、全国的な旅行支援策も展開され観光需要が高まったことにより目標を達成できた。				
	今後の 取組み方針等		自然を活かしたアクティビティは当町の大きなセールスポイントであるため、教育旅行の誘致と併せて引き続き実施する。 また、ロケットに関連する新規メニューの造成が課題である。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						5	地域資源を活かした交流の推進
						交流活動の推進	
事業年度	»	5	6	7	»		

事業名	スポーツ合宿誘致						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		県外のチームの誘致を推進し、総合運動公園をはじめとして町有施設の効果的な運用を図ることにより、宿泊施設や飲食店などへの経済波及効果を高め、地域活性化へ繋げることを目的とする。また同時に町の観光資源をPRし地元のスポーツ振興を目的とする。					
事業の概要		従来の合宿チームや新たな団体に利用いただけるようPRを図っていく。また、H29年度より南紀スポーツエリアスポーツ合宿誘致協議会に加入したことにより近隣市町村と連携し合宿誘致を促進する。					
成果目標		合宿延べ宿泊数 10,500泊／年					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,832	6,040	6,000	6,000	6,000
財源見込	国・県 支出金	1,708	6,037			
	一般財源	124	3	6,000	6,000	6,000
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			延べ 10,500泊	延べ 10,500泊	延べ 10,500泊	延べ 10,500泊	延べ 10,500泊
実績			延べ 6,111泊	延べ 8,916泊			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症によるキャンセルが多く発生(6,581泊)。全体の数字は伸びている。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	コロナウイルス感染症によるキャンセル、参加者の減少があった。実績数は昨年度より2,805泊増加。				
	今後の 取組み方針等		利用者を増やすため南紀エリアスポーツ合宿推進協議会、スポーツクラブNAS株式会社、宿泊施設等と連携し誘致活動を行っていく。				

						基本目標Ⅳ	いきいきと活力あふれるまち
						6	若者の就職支援と後継者育成
						次世代後継者育成	
事業年度	⌵	⑤	⑥	⑦	⌶		

事業名	農業・林業・漁業働き手の確保支援
所 管	産業課

事業の内容				
目 的		UIJターン希望者や移住者に対する就職支援・就業支援を積極的に行うとともに、当町の伝統的な産業を守るための支援を進め、高齢化する産業の担い手の後継者を育てる取組を推進する。		
事業の概要		伝統産業である漁業・農林業・観光業等あるゆる産業で高齢化が進み、後継者が不足している状況の中、UIJターン希望者等への職業体験・生活体験や学生向け職業体験の拡充に努め、後継者育成を推進する。		
成果目標		新規就業支援 12件／3年間 短期滞在型住宅利用件数 15件／年		
総合戦略	数値目標	農業・林業・漁業働き手の確保支援	新規就業支援 4件／年(5年間累計 20件)	
	KPI			
	★			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		5,211	5,268	7,858	7,858	7,108
財 源 見 込	国・県 支出金	4,961	5,268	7,608	7,608	6,858
	一般財源	250		250	250	250
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			新規就業支援 4件 短期滞在型住宅利用 15件	新規就業支援 4件 短期滞在型住宅利用 15件	新規就業支援 4件 短期滞在型住宅利用 15件	新規就業支援 4件 短期滞在型住宅利用 15件	新規就業支援 4件 短期滞在型住宅利用 15件
実績			新規就業支援 8件 短期滞在型住宅利用11件	新規就業支援 3件 短期滞在型住宅利用 17件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	新型コロナウイルス感染症の影響や、短期滞在施設の利用停止等により目標件数を達成できなかった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	目標件数には概ね到達したが新規就業支援については新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、3件のみとなった。				
	今後の 取組み方針等		移住件数及び就業支援については昨年同様に支援を行い、セミナー参加については情勢を見ながら積極的に参加していきたい。 漁業就業者の減少と高齢化が進行する中、新規就業者の確保・支援が重要となっていることから、引き続き漁業担い手育成支援事業に取り組んでいく。				

基本目標Ⅴ

自然と共生やさしいまち

基本目標Ⅴ	1	循環型社会の形成促進
	2	環境保全対策の推進

						基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
						1	循環型社会の形成促進
						自然環境に配慮した施設計画	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	火葬場新設事業(高台移転)
所管	住民課

事業の内容				
目的		S28年竣工の現串本火葬場については、全体的な施設の老朽化に伴い、数十年以内に発生するとされる東海・東南海・南海3連動や南海トラフ巨大地震による津波、震災等に対応できる場所へ移転(新設)する。		
事業の概要		延床面積450㎡、火葬炉数2基 施設設備の老朽化、災害時の耐震性や安全性の問題、火葬を安定的に継続できるか等、現火葬場が抱えている問題を改善しなければならない。		
成果目標		早期の新設を目指し、R4年度より建設基本計画の策定、建設地の選定等を検討する。 災害時も火葬業務を止めることなく安定的に実施できるよう、高台への移転を行う。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			—	2,420	—	—
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源			2,420		
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			・建設候補地の検討 ・串本火葬場の現況把握	・火葬場建設基本計画の策定	・都市計画決定手続き	・串本火葬場建築基本設計
実績			建設候補地の検討を行った。 候補地の決定については、関係各課と協議を重ね、令和5年度に決定を行う。			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3(2021)				
	進捗状況	R4(2022)	建設候補地の検討を庁内で複数回行い、候補地を5ヶ所。候補地の決定については、関係各課と協議を重ね、令和5年度に決定を行う。 串本火葬場の現状と今後の方針を整理し、資料を作成した。			
	今後の取組み方針等		令和5年度以降、建設基本計画策定や関係各課との協議を重ね、建設に向けて取組を進めていく。			

						基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
						1	循環型社会の形成促進
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»	循環型社会の推進	

事業名	浄化槽設置整備補助事業
所管	住民課

事業の内容				
目 的		合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。		
事業の概要		合併処理浄化槽の設置又は改修をするものに対し、その費用の一部を助成する。 (補助金額) ・設置:5人槽:332,000円、6～7人槽:414,000円、8～50人槽:548,000円 ・転換に伴う既存単独処理浄化槽の撤去:上限120,000円(R5年度より増額) ・くみ取り便槽の撤去又は既存単独処理浄化槽を雨水貯留槽として再利用:上限90,000円 ・転換に伴う配管設備に係る費用:上限300,000円(事業費の2分の1) ※転換に伴うくみ取り便槽の撤去及び既存単独処理浄化槽を雨水貯留槽としての再利用分についてはR4年度から対象となる。 (補助対象者) 専ら自らの居住の用に供する建物又は延べ床面積の概ね2分の1以上を自らの居住の用に供する建物に、処理能力人数が50人以下の浄化槽を設置しようとする者		
成果目標		紀南広域地域計画において、H28年度からR2年度の5年間を第2期計画として、合計340基、事業費139,270千円、単年度では、78基、事業費27,854千円と策定している。 R3年度からR7年度の5年間の推進地域計画については町において策定済みで、R7年度の汚水処理人口普及率(公共下水道＋合併処理浄化槽等)は56.8%を目標とし、浄化槽設置整備補助事業を5年間で合計340基、単年度では68基と計画していたが、R3・4年度の実績より計画を下方修正し、普及率を49.3%、単年度を45基の数値目標として設定する。		
総合戦略	数値目標	★	浄化槽設置整備補助事業	汚水処理人口普及率 44.3%(R1(2019)→49.1%(R7(2025)))
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		13,077	18,093	21,714	21,714	21,714
財 源 見 込	国・県 支出金	8,431	12,061	14,476	14,476	14,476
	一般財源	4,646	6,032	7,238	7,238	7,238
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			汚水処理人口普及率 44.3%	汚水処理人口普及率 48.7%	汚水処理人口普及率 48.6%	汚水処理人口普及率 49.0%	汚水処理人口普及率 49.3%
実績			汚水処理人口普及率 46.0%	汚水処理人口普及率 48.4%			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	・設置:32基(5人槽:32基) ・転換に伴う撤去:3基(5人槽:3基) ・転換に伴う配管:11基(単独処理浄化槽→合併処理浄化槽:3基、汲取り便槽→合併処理浄化槽:8基)				
	進捗状況	R4 (2022)	・設置:39基(5人槽:35基、7人槽4基) ・転換に伴う撤去:5基(5人槽:5基) ・転換に伴う配管:21基(単独処理浄化槽→合併処理浄化槽:5基、汲取り便槽→合併処理浄化槽:16基)				
	今後の取組み方針等		合併処理浄化槽設置の必要性を広報誌やホームページで啓発を行い、補助金を活用した合併処理浄化槽の設置を進めることで、汚水処理人口普及率の向上に努める。				

						基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
						2	環境保全対策の推進
						環境保全活動の推進	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	熊野参詣道大辺路管理事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録された国史跡の熊野参詣道大辺路について、来場された人々が安心・安全に通れるよう整備保全する。		
事業の概要		熊野参詣道大辺路の定期的なパトロールや臨時パトロールを実施する。 修繕が必要な箇所が発見された場合は関係機関と連絡をとり、対策を実施する。		
成果目標		定期的なパトロールや、災害後の臨時パトロールの継続実施。 速やかな修繕対応により、熊野参詣道が適切に保全されるよう努める。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,223	939	1,204	424	424
財源見込	国・県 支出金	578	409	129	129	129
	一般財源	645	530	1,075	295	295
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		パトロールの実施 適切な保全・保護	パトロールの実施 適切な保全・保護	パトロールの実施 適切な保全・保護	パトロールの実施 適切な保全・保護	パトロールの実施 適切な保全・保護
実績		パトロール業務を委託 パトロール実施 13回 小規模修繕対応 1回 飛渡谷道階段修繕	パトロール業務を委託 パトロール実施 13回 小規模修繕対応 1回 新田平見道木橋修繕 飛渡谷道木橋修繕			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	熊野古道パトロール業務を大辺路刈り開き隊に委託し、毎月の定期的なパトロールを実施した(13回)。 災害後に臨時パトロールを1回実施し、その時に発見した土砂流失箇所の修繕を行った(小規模修繕対応)。 また、飛渡谷道の木製階段が腐敗していたため、取り替え工事を行った。			
	進捗状況	R4 (2022)	熊野古道パトロール業務を大辺路刈り開き隊に委託し、毎月の定期的なパトロールを実施した(12回)。 台風後に臨時パトロールを1回実施し、その時に発見した倒木の助教等の修繕を行った(小規模修繕対応)。 また、新田平見道、飛渡谷道の木橋が腐敗していたため、取り替え工事を行った(新田平見道の一部R5年度に繰り越し)。			
	今後の取組み方針等		引き続きパトロール業務を委託し、異常個所の早期発見、熊野古道の適切な保全に努める。			

						基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
						2	環境保全対策の推進
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	景観の保全促進	

事業名	観光資源の保護活動
所管	産業課

事業の内容				
目的		串本町内において、観光資源の保護活動を実施し、本町の観光資源を次世代に遺していく。		
事業の概要		沿岸海域の保全活動、熊野古道大辺路の保全活動、潮岬望楼の芝の維持管理、重畳山園地公園の維持管理などの観光資源保護活動に対し、協力、支援をおこなう。 ・ラムサール海域自然保護活動事業委託料 350千円 ・潮岬望楼の芝管理運営委員会補助金 1,800千円 ・重畳山スポーツ公園植樹会場跡管理業務 180千円		
成果目標		保護活動支援数 5件／年		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		2,630	2,530	2,330	2,330	2,330
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	2,630	2,530	2,330	2,330	2,330
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			保護活動支援 5件	保護活動支援 5件	保護活動支援 5件	保護活動支援 5件	保護活動支援 5件
実績			保護活動支援 4件	保護活動支援 4件			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	・沿岸海域では漂着ゴミの撤去を実施。熊野古道大辺路は地元団体による保全活動を実施。 ・潮岬望楼の芝と重畳山園地公園は地域団体による定期的な草刈りや清掃を実施。 ・ラムサール海域での活動についてはコロナ禍により実施できなかった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	・沿岸海域では漂着ゴミの撤去を実施。熊野古道大辺路は地元団体による保全活動を実施。 ・潮岬望楼の芝と重畳山園地公園は地域団体による定期的な草刈りや清掃を実施。 ・ラムサール海域での活動についてはコロナ禍により実施できなかった。				
	今後の 取組み方針等		今後も引き続き当町の観光資源を次世代に遺していくためにも観光資源の保護活動を実施していく。				

						基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
						2	環境保全対策の推進
						景観の保全促進	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	都市公園・緑地の整備促進事業						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		串本町総合運動公園の環境整備を継続して行い、来場された人々が安心・安全、また、気持ちよく利用していただき、串本町に来て良かったと思われるよう、整備を行う。					
事業の概要		運動公園周辺の美化活動を推進する。(B&Gプール等を含めてR2年度より指定管理者制度へ移行している)					
成果目標		指定管理委託し、施設周辺の環境整備を行っていく。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	R2年度からB＆Gプールと総合運動公園をまとめて指定管理委託しており、施設周辺の環境整備についても併せて実施している。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	R2年度からB＆Gプールと総合運動公園をまとめて指定管理委託しており、施設周辺の環境整備についても併せて実施している。				
	今後の 取組み方針等		引き続き指定管理委託し環境整備を行う。				

						基本目標Ⅴ	自然と共生やさしいまち
						2	環境保全対策の推進
						環境美化意識の高揚	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧
------	---	---	---	---	---

事業名	不法投棄防止に係わる事業
所管	住民課

事業の内容				
目的		町民が一体となってゴミの散乱等の防止を努めるとともに、地域の環境美化の促進を図り、環境に対する意識の向上と美しい町作りに寄与することを目的とする。		
事業の概要		自然環境に恵まれた素晴らしいふるさとを散乱ゴミから守るには、町民一人一人の環境美化に対する意識の高揚が不可欠であるとの見地から、一斉清掃活動による実践を通じ、また啓発事業を積極的に展開することにより、町民への周知徹底を図る。		
成果目標		一斉清掃活動 2回実施／年 不法投棄巡回パトロール 広報・チラシによる啓発活動		
総合戦略	数値目標	不法投棄防止に係わる事業		一斉清掃活動 2回実施／年(5年間累計 10回実施)
	KPI			
		★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		500	500	500	500	500
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	500	500	500	500	500
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			一斉清掃活動 2回	一斉清掃活動 2回	一斉清掃活動 2回	一斉清掃活動 2回	一斉清掃活動 2回
実 績			一斉清掃活動 2回	一斉清掃活動 1回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	一斉清掃活動 2回実施 監視カメラ6ヶ月設置 広報掲載 5回				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	一斉清掃活動 1回実施(夏季については、コロナウイルス感染症拡大により一部地区にて実施) 監視カメラ6ヶ月設置 広報掲載 5回				
	今後の 取組み方針等		継続して、啓発活動を行っていく。				

基本目標Ⅵ

手をとりあい共に歩むまち

基本目標Ⅵ	1	町民協働のまちづくり推進
	2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
	3	時代に合った効率的な行政運営

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						1	町民協働のまちづくり推進
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	情報発信・情報交換活動の推進	

事業名	広報広聴事業
所管	企画課

事業の内容				
目的		町行政を町民に正しく理解してもらうことは行政の円滑な運営に当たって非常に重要であることから、各部署からの情報を収集し、町の状況や取組などを広く周知する。		
事業の概要		毎月広報くしもとを作成し、町の取組や各種団体からのお知らせなど町民にとって関心が高く、必要な情報を掲載する。ホームページを随時更新し、内容の充実に努める		
成果目標		町民にとって関心の高い情報を掲載する一方、町民が登場する機会を増やすなど、親しまれる広報誌作りを目指す。 ホームページについては各部署から幅広く情報を収集するとともに古い情報を削除し、最新の情報を掲載して内容の充実を図る。また、利用者にとってわかりやすい情報掲載になるよう工夫し、活用しやすいページ作りに努める。 また、広報誌への有料広告掲載を毎月7件以上確保して安定した歳入を得られるようにし、ホームページのバナー広告掲載による歳入の確保にも努める。		
総合戦略	数値目標		広報広聴活動	「広報くしもと」を月1回(12回／年)発行(5年間累計60回発行)
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		4,168	4,413	4,523	4,523	4,523
財源見込	国・県 支出金	22	22	22	22	22
	一般財源	3,570	3,821	3,931	3,931	3,931
	その他	576	570	570	570	570

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			広報発行 12回	広報発行 12回	広報発行 12回	広報発行 12回	広報発行 12回
実績			広報発行 12回	広報発行 12回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	広報を毎月発行し目標は達成。レイアウト等を工夫するとともに、新庁舎移転に伴う情報等必要な情報を掲載することができた。 ホームページにおいても、ロケット関連ページ作成など、最新情報の掲載に努めることができた。 有料広告については、毎月10件の掲載を確保することができ、目標を達成できた。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	広報を毎月発行し目標は達成。レイアウト等を工夫するとともに、ロケット関連情報やフレイル予防情報などを掲載した。 ホームページにおいても、最新情報の掲載に努めることができた。 有料広告については、毎月10件ほどの掲載を行い、目標を達成できた。				
	今後の 取組み方針等		広報を月1回(年12回)発行。町民にとって関心の高い情報やロケット関連情報などを掲載するとともに、町民が登場する機会などを設ける。 ホームページについては、各課と調整を行いながら、最新の情報を更新する。またレイアウトや情報の整理等に努め、利用しやすい ホームページづくりを行う。広報誌への有料広告掲載やホームページのバナー広告掲載を確保するため、ホームページなどで周知する。				

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						1	町民協働のまちづくり推進
						情報発信・情報交換活動の推進	

事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨
------	---	---	---	---	---

事業名	まちづくり応援事業
所管	企画課

事業の内容				
目的		串本町の地域性や独創性によるふるさとづくりへの取組を活性化するため、町内各団体又はグループが計画する個性的で地域をアピールするイベント等を支援していくとともに、新たな団体の育成に努める。		
事業の概要		町内の各団体によるまちづくり活動を活性化するため、各事業に対し、最低10万円、最高30万円の補助金を交付する。必要に応じて、事業に関係する各課への連絡や施設の貸し出し等の案内を行う。		
成果目標		年度内の補助金交付団体数の目標を1団体とする。当補助制度を広報誌やホームページ等で周知する。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	396	300	300	300
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他		396	300	300	300

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			補助金交付団体 2団体	補助金交付団体 2団体	補助金交付団体 1団体	補助金交付団体 1団体	補助金交付団体 1団体
実績			補助金交付団体 0団体	補助金交付団体 2団体			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			25%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	当補助制度を広報誌やホームページで広報し募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベント等の実施も依然として困難であり、申請には及ばなかった。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	当補助制度を広報誌やホームページで広報し募集を行った。 3件の申請のうち、2件が事業を実施し、目標を達成することができた。				
	今後の 取組み方針等		当補助制度を広報誌やホームページ等で周知するとともに、相談等に積極的に対応する。 またイベント等の開催や取組について、必要であれば関係機関と連携を取りアドバイス等を行える体制整備に努める。				

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						1	町民協働のまちづくり推進
						情報発信・情報交換活動の推進	
事業年度	»	5	6	7	»		

事業名	地区懇談会等の実施 (教育懇談会の開催)						
所 管	教育課						

事業の内容							
目 的		各学校の保護者代表と教育委員会がそれぞれの学校における課題や問題点を共有化し、その対策を講じることにより、教育環境の充実及び児童生徒の安全確保等を図ることを目的とする。					
事業の概要		毎年1回、各小中学校の保護者代表者及びその学校の管理職が一同に会し、課題や問題点に対する要望を教育委員会で受け、関係各課と共に要望に対してその対策に取り組む。					
成果目標		対応可能な要望に対しては迅速に行うとともに、対応が困難な要望に関しては十分な説明を行うことで、年度を跨る要望が要望全体の1割となることを目標に取り組む。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	—	—	—	—
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源					
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績			1回	0回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			25%	25%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	要望が多岐にわたり、全学校の要望に応じることが困難な状況である。				
	進捗 状況	R4 (2022)	コロナ禍により開催は見送られたが、文書にて回答。要望が多岐にわたり、全学校の要望に応じることが困難な状況である。				
	今後の 取組み方針等		対応可能な要望に対しては迅速に行うとともに、対応が困難な要望に関しては十分な説明を行っていく。				

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》	男女共同参画への意識の醸成	

事業名	男女共同参画社会啓発事業
所管	企画課

事業の内容				
目的		串本町における男女共同参画推進に当たり、男女共同参画社会基本法(H11年法律第78号)及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(H27年法律第64号)に基づく男女共同参画社会の形成に関する総合的かつ計画的な推進を図る。		
事業の概要		性別による固定的な役割分担意識を払拭し、男女がともに社会のあらゆる分野に参画する機会が確保され、利益を等しく享受し、共に責任を分かち合うことができる社会の実現を目指し、全ての人が充実した家庭・社会生活を営めるよう、啓発活動を実施する。		
成果目標		町HP、町広報誌を利用した啓発活動を行う。(毎年) 男女共同参画に焦点を当てた講演会を開催する。(1回／2年)		
総合戦略	数値目標	★	男女共同参画社会啓発事業	町HP、町広報誌を利用した啓発活動を行う。 男女共同参画に焦点を当てた講演会を開催する。(5年で3回)
	KPI	★		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		19	—	822	97	822
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	19		822	97	822
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			啓発活動 1回 講演会 1回	啓発活動 1回	啓発活動 1回 講演会 1回	啓発活動 1回	啓発活動 1回 講演会 1回
実 績			啓発活動 1回 講演会 1回	啓発活動 1回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	住民課の人権講演会に男女共同参画関係の講師を呼んだので、企画課単独では開催せず。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	男女共同参画社会について町広報に掲載した。				
	今後の 取組み方針等		引き続き男女共同参画社会についての啓発活動を行っていく。				

						基本目標Ⅵ	手を取りあい共に歩むまち
						2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
						人権教育・啓発活動の推進	

事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»
------	---	---	---	---	---

事業名	保護者学級開設事業
所管	教育課

事業の内容				
目的		多くの保護者が参加し、多種多様化する人権問題に対する理解と認識を深め、自らの課題としてその解決に向けた自覚を促す。		
事業の概要		小学校に在籍する児童の保護者を対象として、同和問題、女性、子ども、高齢者及び障害のある人などの人権に関わる問題についての学習を年間6時間程度実施する。		
成果目標		保護者学級への保護者の参加について、700人程度を維持する。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		210	270	270	270	270
財源見込	国・県 支出金	105	108	135	135	135
	一般財源	105	162	135	135	135
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標			参加保護者数 716人	参加保護者数 700人	参加保護者数 700人	参加保護者数 700人	参加保護者数 700人
実績			参加保護者数 709人	参加保護者数 1,109人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	概ね達成できた。				
	進捗 状況	R4 (2022)	目標を達成できた。				
	今後の 取組み方針等		保護者の方々の人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうため、引き続き、保護者学級を実施する。				

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
						人権教育・啓発活動の推進	
事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»		

事業名	平和学習推進事業
所管	教育課

事業の内容				
目 的		終戦から半世紀以上が経過した現在、戦争を知らない世代が増加し、悲惨な歴史が忘れられ風化してしまわぬよう次世代に引き継ぎ、語り継ぎ、平和について正しい理解と認識を深めることを目的とする。		
事業の概要		町内各地にある戦争史跡（H31冊子作成）を題材に、その歴史を次世代へと語り継ぐ。子ども会活動・コミュニティスクール活動等のカリキュラムに取り入れた学習会を実施する。第五福竜丸が串本町で建造され、ビキニ沖で被ばくしたことや終戦（第二次世界大戦）から数えた節目の年に特別展等を開催する。		
成果目標		第五福竜丸の被爆や建造、終戦から節目の年に記念展等を実施し延べ200人以上の来場を目標とする。町内に設置戦争史跡標柱の周知を行い、平和についての正しい理解と認識を更に深めることを目的とする。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		—	400	—	400	650
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源		400		400	650
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				第五福竜丸建造展等来場者 延べ 200人		第五福竜丸被爆展来場者 延べ 200人	終戦80年平和展 延べ 200人
実績				第五福竜丸建造展等来場者 延べ 200人			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	節目の年ではなかったので、記念展等は実施していない。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	第五福竜丸建造75年平和の歴史展を開催し、福竜丸建造の歴史や福竜丸以外の被爆船、核兵器禁止条約等の内容や、広島の高校生が被爆体験者の証言をもとに描いた「原爆の絵」を展示するとともに、「平和のつどい」として、演奏会や記念講演・対談等を実施した。 また、第五福竜丸の歴史をまとめた冊子を作成し、歴史を語り継ぐために各学校や希望者へ配布した。				
	今後の 取組み方針等		引き続き、節目の年に記念展等を実施し、平和について正しい理解と認識を深める。				

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
						人権教育・啓発活動の推進	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	人権に関する各種広報紙の発行 啓発新聞「わがらのまち」発行事業						
所管	教育課						

事業の内容							
目的		串本町における人権問題に対する理解を促進し、町民の人権意識の高揚を図る。					
事業の概要		年1回(年度末)、大人の人権啓発作文(3作)及び町内小・中学校の児童・生徒による人権作文(各校1作)を掲載した啓発新聞を作成し、町内全戸配布する。					
成果目標		人権啓発新聞を町内全戸配布することにより、家庭における人権意識の高揚を図り、全ての人権が尊重されるまちづくりを目指す。					
総合戦略	数値目標						
	KPI						

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		204	310	310	310	310
財源見込	国・県支出金	100	90	100	100	100
	一般財源	104	220	210	210	210
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		9000部作製・全戸配布	9000部作製・全戸配布	9000部作製・全戸配布	9000部作製・全戸配布	9000部作製・全戸配布
実績		9000部作製・全戸配布	9000部作製・全戸配布			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	目標を達成。 啓発新聞9,000部作製・全戸配付			
	進捗状況	R4 (2022)	目標を達成。 啓発新聞9,000部作製・全戸配付			
	今後の取組み方針等		人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうため、引き続き、啓発新聞「わがらのまち」を年1回作成し、町内全戸に配布する。			

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						2	人権尊重・男女共同参画社会の形成
						人権教育・啓発活動の推進	
事業年度	⑧	⑤	⑥	⑦	⑨		

事業名	人権啓発・相談事業
所管	住民課

事業の内容			
目的		町民の人権意識の高揚を図るとともに、相談・支援体制を充実させることで、人権尊重のまちづくりを推進する。	
事業の概要		①人権新聞「じんけん広場」 年2回発行 ②人権啓発冊子「新むすびあう心」 年1回発行 ③小中学生「人権文集」 年1回発行 ④人権講演会の開催及び事業所啓発、街頭啓発 人権を考える強調月間(11月11日～12月10日)及び同和運動推進月間(11月1日～11月30日)の期間に実施 ⑤人権相談所、行政相談所 それぞれ月1回、年12回開設 ⑥人権に係る相談、支援体制の整備 人権に係る基本計画等で計画している相談、支援体制の整備	
成果目標		定期的に事業を実施することにより、町民の人権意識の高揚を図るとともに、行政における相談・支援体制を充実させることで、人権尊重のまちづくりを推進する。 ①人権新聞「じんけん広場」の発行 年2回発行。全戸配布。9月1日及び3月31日 ②人権啓発冊子「新むすびあう心」の発行 年1回発行。全戸配布。アンケート回収数100通 ③小中学生「人権文集」発行 年1回発行。3月の卒業式までに町立小中学校の児童生徒等に配付 ④人権講演会 参加者300名。街頭啓発 啓発物資配布1,000個 事業所啓発 啓発事業所100事業所 ⑤定例相談所及び巡回相談所 それぞれ月1回、年12回開催 ⑥人権に関わる計画における相談、支援体制の整備及び検証6計画(「串本町男女共同参画基本計画」、「串本町子ども・子育て支援事業計画」、「串本町学校教育方針」、「串本町地域福祉計画」、「串本町高齢者福祉計画」及び「障害を理由とする差別の解消を推進するための串本町職員対応要領」)	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費			1,980	1,648	1,638	1,638
財 源 見 込	国・県 支出金		807	807	797	797
	一般財源		1,173	841	841	841
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標				①～⑤上記成果目標のとおり ⑥相談・支援体制の整備	①～⑤上記成果目標のとおり ⑥実施状況の把握	①～⑤上記成果目標のとおり ⑥実施状況の把握	①～⑤上記成果目標のとおり ⑥実施状況の把握
実績				当初予定していなかった映画「破壊」上映会にも取り組み、目標の通り実施することができた。			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
				%	75%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)					
	進 捗 状 況	R4 (2022)	コロナ禍の中であったが状況を見ながら活動を行った。人権講演会については、11月に予定していましたが、1月に延期して実施することができた。				
	今後の 取組み方針等		差別のない住みやすい町づくりのため、地道に、長期的に取り組む必要がある。				

						基本目標Ⅵ	手をとりあい共に歩むまち
						3	時代に合った効率的な行政運営
						健全な財政運営	
事業年度	》	⑤	⑥	⑦	》		

事業名	安定財源確保への取組み事業(町税・使用料等)						
所管	税務課						

事業の内容						
目的		一般会計の歳入に占める町税の割合は13%です。自主財源である町税及び使用料の徴収率向上に取り組み、安定財源の確保に努めます。				
事業の概要		1.町税の徴収率の向上 2.町営住宅使用料の徴収率の向上				
成果目標		1.町税の徴収率 県平均に向けて取り組む ※H30年度県平均96.9% 当町93.7%(▲3.2%) 2.町営住宅使用料の徴収率 現年度99.5% 滞納分20% ※H30年度 現年度99.12% 滞納分13.81%				
総合戦略	数値目標	安定財源確保への取組み事業(町税・使用料等)			町税の徴収率(県平均に向けて取り組む) (R3(2021) 97.8%、R4(2022) 98.1%、R5(2023) 98.3%、R6(2024) 98.5%、R7(2025) 98.6%) 町営住宅使用料の徴収率 (R3(2021) 62.1%、R4(2022) 64.5%、R5(2023) 66.8%、R6(2024) 68.3%、R7(2025) 70.0%)	
	KPI					

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		19,320	34,663	22,000	22,000	30,000
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	19,320	34,663	22,000	22,000	30,000
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針						
事業年度		評価・検証【済】	評価・検証	計画		
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標		町税 97.8% 町営住宅使用料 62.1%	町税 98.1% 町営住宅使用料 64.5%	町税 98.3% 町営住宅使用料 66.8%	町税 98.5% 町営住宅使用料 68.3%	町税 98.6% 町営住宅使用料 70.0%
実績		町税 95.94% 町営住宅使用料 65.93%	町税 96.66% 町営住宅使用料 70.44%			
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
		75%	75%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	1.町税の徴収率 県平均に向けて取り組む ※R3年度県平均97.6% 当町95.9%(▲1.7%) 2.町営住宅使用料の徴収率 現年度98.99% 滞納分16.10% ※R2年度 現年度99.36% 滞納分14.81%			
	進捗状況	R4 (2022)	1.町税の徴収率 県平均に向けて取り組む ※R4年度県平均97.7% 当町96.7%(▲1.0%) 2.町営住宅使用料の徴収率 現年度99.07% 滞納分15.84% ※R3年度 現年度98.99% 滞納分16.10%			
	今後の取組み方針等		今後についても、自主財源(町税・町営住宅使用料)の徴収率向上に取り組み、安定財源の確保に努めます。			

						基本目標Ⅵ	手をとりあいともに歩むまち				
						3	時代に合った効率的な行政運営				
事業年度						⑧	⑤	⑥	⑦	⑧	人材の育成
事業名		職員研修事業									
所管		総務課									
事業の内容											
目的		地域の実情に応じた施策を実施するため人材育成を図る。									
事業の概要		和歌山県市町村職員研修協議会による研修への出席促進、町単独研修の実施により人材育成を図る。									
成果目標		和歌山県市町村職員研修協議会による研修出席者の割合を全職員の25%以上とする。 人事評価研修を町単独で実施し、人材育成を図るとともに効率的な事業実施につなげる。									
総合戦略	数値目標										
	KPI										
事業費概算(単位:千円)											
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
事業費		1,681		1,310		1,470		1,470		1,470	
財源見込	国・県支出金										
	一般財源	1,681		1,310		1,470		1,470		1,470	
	その他										
進捗状況／今後の取組み方針											
事業年度		評価・検証【済】		評価・検証		計画					
		R3(2021)		R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)	
目標		研修出席者割合 25%		研修出席者割合 25%		研修出席者割合 25%		研修出席者割合 25%		研修出席者割合 25%	
実績		研修出席者割合 20.3%		研修出席者割合 22.0%							
達成度(%)		0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。									
		75%		75%		%		%		%	
説明	【済】	R3(2021)	研修への参加について、周知等を行ったが、新型コロナウイルス感染症による参加者数制限があったため、目標値を下回る20.3パーセントとなった。								
	進捗状況	R4(2022)	令和4年度の研修出席者の割合は、昨年度と比較して1.7%上昇したが、目標値は下回った。人事評価研修を町単独にて開催した。								
	今後の取組み方針等		引き続き、職員の研修への参加を促し、人材育成を図っていく。								

						基本目標Ⅵ	手を取りあい共に歩むまち
						3	時代に合った効率的な行政運営
						情報公開の推進	

事業年度	»	⑤	⑥	⑦	»
------	---	---	---	---	---

事業名	透明性の高い行政運営
所管	教育課

事業の内容				
目的		教育行政に係る情報を積極的に発信することで、町民と情報の共有化を図り、信頼関係のもと協働のまちづくりを進めることを目的とする。		
事業の概要		公民館報及び教育委員会ホームページにより、教育委員会の事務事業に関する情報を発信する。		
成果目標		公民館報は年6回発行。ホームページは随時確認し、最新の情報提供を行う。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		785	844	850	850	850
財源見込	国・県 支出金					
	一般財源	785	844	850	850	850
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			公民館報発行 6回	公民館報発行 6回	公民館報発行 6回	公民館報発行 6回	公民館報発行 6回
実績			公民館報発行 6回	公民館報発行 6回			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	目標を達成。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	目標を達成。				
	今後の 取組み方針等		公民館報およびホームページにて最新の情報提供を行い透明性を高めていく。				

各課別事業一覽

担当課	教育課
合計事業数	30

No.	事業名	長計の項目	頁
1	(仮称)串本町立串本統合小学校新設事業	基本目標Ⅰ-1	9
2	教育施設の老朽化PC・ソフトウェアの更新	基本目標Ⅰ-6	36
3	ICT講習会等知識・能力習得支援事業	基本目標Ⅰ-6	37
4	各種高齢者スポーツ大会事業	基本目標Ⅱ-2/Ⅲ-2	59
5	学校給食実施事業の維持・拡充	基本目標Ⅱ-4	71
6	小中学校統廃合の検討推進事業	基本目標Ⅲ-1	81
7	学校給食を通じた食育の推進	基本目標Ⅲ-1	82
8	串本古座高等学校との協力及び連携事業	基本目標Ⅲ-1	83
9	小中学生ポップコンクール事業	基本目標Ⅲ-1	84
10	中学生ビブリオバトル事業	基本目標Ⅲ-1	85
11	歴史・文化財の保存継承事業	基本目標Ⅲ-1	86
12	教職員研修	基本目標Ⅲ-1	87
13	文化自主事業公演助成事業	基本目標Ⅲ-2	89
14	成人教育講座開設事業	基本目標Ⅲ-2	90
15	生涯教育・スポーツ・趣味活動支援	基本目標Ⅲ-2	91
16	町民大運動会事業	基本目標Ⅲ-2	92
17	総合運動公園等管理事業	基本目標Ⅲ-2	93
18	コミュニティスクール推進事業	基本目標Ⅲ-3	94
19	読み聞かせ会事業及び読書活動の推進	基本目標Ⅲ-3	95
20	子ども会・青少年育成事業	基本目標Ⅲ-3	96
21	町文化財等・文化活性化保存継承事業	基本目標Ⅲ-5	99
22	歴史・文化・芸術活動の支援	基本目標Ⅲ-5	100
23	スポーツ合宿誘致	基本目標Ⅳ-5	124
24	熊野参詣道大辺路管理事業	基本目標Ⅴ-2	131
25	都市公園・緑地の整備促進事業	基本目標Ⅴ-2	133
26	地区懇談会等の実施(教育懇談会の開催)	基本目標Ⅵ-1	139
27	保護者学級開設事業	基本目標Ⅵ-2	141
28	平和学習推進事業	基本目標Ⅵ-2	142
29	人権に関する各種広報紙の発行 啓発新聞「わがらのまち」発行事業	基本目標Ⅵ-2	143
30	透明性の高い行政運営	基本目標Ⅵ-3	147

実施済事業

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						1	災害に強いまちづくりの推進
事業年度	⌕	5	6	7	»	防災対策ハード面の充実	

事業名	公共施設(庁舎)高台移転
所管	総務課

事業の内容			
目的		自然災害対策として、ハード(施設)面の対策を行い、災害発生時の中枢機能を果たす防災拠点を整備する。	
事業の概要		現役場庁舎における施設・設備の老朽化、分庁方式による行財政運営での非効率面、そして耐震性・安全面の問題、さらに津波による浸水や倒壊の危険性等、現庁舎が抱える様々な問題を改善しなければならない。 また、合併協議における庁舎建設に係る方針に示されている地震・津波など災害発生時の中枢管理機能を果たす拠点として、その後の復旧・復興の拠点となるべく耐震性・安全性に優れ、防災設備及び防災対策の体制が充実した新庁舎を建設する。	
成果目標		庁舎建設基本構想を基に、津波被害を受けない安全な高台への移転を行う。 R2年度 竣工を目標とする。 R2年度 建築工事竣工 R3年度 新庁舎への移転、現本庁舎の取り壊し R4年度 本庁舎解体工事損害調査	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		831,997	7,480			
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	42,670	7,480			
	その他	789,327				

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標			新庁舎への移転、現本庁舎の取り壊し	本庁舎解体工事損害調査			
実 績			5月10日 新庁舎竣工 7月26日 新庁舎へ移転 3月31日 現本庁舎取壊完了	5月9日 損害調査業務契約 9月26日 業務完了			
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%……目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	・竣工は遅れたが、竣工後に目標とした7月の連休を利用した移転と3月末の現本庁舎取り壊しを目標通り完了した。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	・本庁舎解体工事損害調査結果(R4)で、工事要因と推案される損傷が1件発生したが施工業者が対応し、業務が完了できた。				
	今後の 取組み方針等						

						基本目標Ⅰ 基本目標Ⅱ	安全・安心のまち 健やかで笑顔あふれるまち
						1 4	災害に強いまちづくりの推進 出産・子育て支援
事業年度	⌕	5	6	7	»	防災ハード面の充実/子育て環境支援	

事業名	くしもとこども園新設事業
所管	こども未来課

事業の内容				
目的		現在の園舎は近い将来発生が予測される東海・東南海・南海地震の津波により甚大な被害が予測される地域に立地しており、園児の安全確保のため高台への移転が必要となっている。併せて近年の多様な保育の要望に対応する為の保育環境の整備も求められているため、くしもとこども園の新築移転を目的とする。		
事業の概要		H29年度に串本保育所、串本幼稚園を統合し、くしもとこども園を開園。 H31、R2年度、基本設計・実施設計を行い、R2年度用地購入・造成工事、R3年度に建築工事を行いR4度中の開園を目指し関係機関との調整を行い進めていく。		
成果目標		H31、R2年度、基本設計・実施設計を行い、R2年度用地購入・造成工事、R3・R4年度に建築工事を行いR4年度中の開園を目指す。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		400,796	518,791			
財 源 見 込	国・県 支出金	5,634	7,328			
	一般財源	395,162	511,463			
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	計画通り進捗している。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	令和4年11月竣工、令和5年1月開園				
	今後の 取組み方針等		計画通り進捗 令和4年度中(令和5年1月)に開園				

						基本目標Ⅰ	安全・安心のまち
						4	地域交通網の充実
事業年度	⌕	5	6	7	»	道路網の整備促進	

事業名	高速道路推進事業
所管	建設課

事業の内容				
目的		近畿自動車道紀南高速事務所、紀南河川国道事務所と連携をとり、早期完成を目指す。		
事業の概要		高速道路事業に係る用地交渉及び買収		
成果目標		高速道路については、通常、完成は事業化から10年といわれているが、町としても県と合わせて近畿自動車道紀南高速事務所と連携し、用地買収を行っていく。		
総合戦略	数値目標			
	KPI			

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		7,848	12,622			
財 源 見 込	国・県 支出金					
	一般財源	7,848	12,622			
	その他					

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目 標							
実 績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説 明	【済】	R3 (2021)	近畿自動車道紀南高速事務所と連携をし計画通りに用地買収を行えた。				
	進 捗 状 況	R4 (2022)	近畿自動車道紀南高速事務所と連携をし計画通りに用地買収を行えた。				
	今後の 取組み方針等						

						基本目標Ⅱ	健やかで笑顔あふれるまち
						4	出産・子育て支援
						出産支援体制の充実	
事業年度	⌕	5	6	7	»		

事業名	一般不妊・不育治療費助成事業
所管	福祉課

事業の内容			
目的		○一般不妊治療費助成事業 不妊や不育に悩む夫婦に対し、体外受精及び顕微授精を除く不妊治療及び不育治療（一般不妊治療）に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、もって一般不妊治療を受けやすい環境づくりに資することを目的とする。 ○未熟児養育医療 生後速やかに適切な処置を講ずることが必要な未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ることを目的とする。 ○特定不妊治療費助成（H29年度より新規実施）・・・「基本計画」に記載されていない事業 不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精についての治療費の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図ることを目的とする。	
事業の概要		○一般不妊治療費助成 【対象治療】医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療及び不育治療 【対象経費】一般不妊治療に要する費用の自己負担分 【助成額】上限30,000円 ○未熟児養育医療費助成 養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行い、又はこれに代えて養育医療に要する費用を支給する。当該措置を受けた者は、徴収金を支払う。 ○特定不妊治療費助成 【対象治療】医療保険各法に規定する療養の給付が適用となる不妊治療及び不育治療 【対象経費】特定不妊治療に要する費用の自己負担分 【助成額】上限100,000円（初回50,000円）	
成果目標		本人の身体的、精神的負担の軽減や、より安心、安全な妊娠、出産に資するという観点から、今後も引き続き支援が必要である。	
総合戦略	数値目標		
	KPI		

事業費概算(単位:千円)						
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
事業費		1,112	69			
財 源 見 込	国・県 支出金	829	30			
	一般財源	182	39			
	その他	101				

進捗状況／今後の取組み方針							
事業年度			評価・検証【済】	評価・検証	計 画		
			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
目標							
実績							
達成度(%)			0%……目標達成に向けた検討を行うことができなかった。 25%……目標達成に向けた検討は行ったが、具体的な取組みに至らなかった。 50%……目標達成に向け、一部、具体的な取組みを行った。 75%……目標達成に向け具体的な取組みを行い、概ね目標を達成したが、諸条件により一部については達成できなかった。 100%…目標通り達成できた。				
			100%	100%	%	%	%
説明	【済】	R3 (2021)	県の要綱が改正したときには要綱の改正をその都度行った。変更したところに関しては、広報・ホームページを通して情報を周知した。保健所と連携し、対象者が助成することができるように町の助成事業についても周知してもらっている。 R4年度をもって県の特定不妊治療が終了することに伴い、他府県の事業内容を把握し、事業内容について検討した。				
	進捗状況	R4 (2022)	令和4年度より特定不妊治療が保険適応となり特定不妊治療助成事業が終了となったが、保険適応外の不妊治療もあることから和歌山県が令和5年度より生殖補助医療費先進医療助成事業を制定することとなった。それに伴い町でも県の上乗せとして助成ができるように事業実施に向けて取り組んでいる。				
	今後の取組み方針等		一般不妊治療助成事業、新たに制定予定の生殖補助医療先進医療費助成事業の周知を行い、経済的負担が軽減され、不妊治療が受けやすい環境となるように取り組む。 令和4年度より特定時不妊治療助成事業は終了となり、新たに生殖補助医療先進医療費助成事業を制定。				

